ANNUAL REPORT

2020

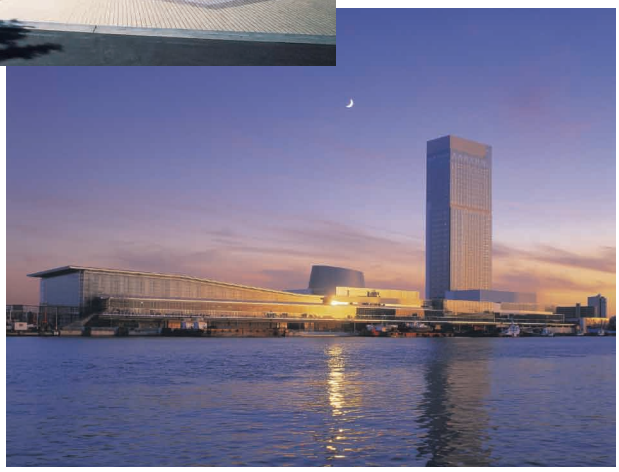
THE NIIGATA PREFECTURAL MUSEUM OF MODERN ART

新潟県立近代美術館

新潟県立万代島美術館

The Niigata **Bandaijima** Art Museum

年報



目　次

令和２年度の流れ　近代美術館 ❸
万代島美術館 ❹

事業報告
展覧会　近代美術館　常設展（コレクション展） ❻
第１期　バード・サンクチュアリ ―鳥たちの造形― ❼
第２期　近代美術館の名品 ❾
第３期　生誕110年 佐藤哲三と蒲原の画家達 ⓫
第４期　名画　世界一周 ⓭
企画展　サンダーソンアーカイブ　ウィリアム・モリスと英国の壁紙展 ⓯
三沢厚彦 ANIMALS IN NAGAOKA（中止） ㉑
Viva Video! 久保田成子展 ㉒
共催展　第75回新潟県美術展覧会長岡展（中止） ㉗
第51回新潟県ジュニア美術展覧会長岡展 ㉗
万代島美術館　企画展　THE ドラえもん展 NIIGATA 2020 ㉘
デザインあ展 in NIIGATA（中止） ㉜
ルート・ブリュック　蝶の軌跡 ㉝
岡本太郎展　太陽の塔への道 ㊵
芳年　激動の時代を生きた鬼才浮世絵師 ㊺

教育普及　近代美術館　イベント ㊸
館外活動・地域との連携 ㊹
刊行物・鑑賞資料 ㊺
作品解説会 ㊻
団体の受入れ ㊻
学校教育との連携 ㊼
観覧料免除 ㊽
博物館実習 ㊾
万代島美術館　イベント ㊿
刊行物 ㊿
作品解説会 ㊿
団体の受入れ 61
学校教育との連携 62
観覧料免除 63
サポートメンバー 64
博物館実習 64

調査・研究　近代美術館 65
万代島美術館 67

収集・保存　美術品の収集 68
美術品の修復 68
美術品の燻蒸 69
美術品の貸出 70

管理・運営
開館及び入館状況　近代美術館 72
万代島美術館 73
施設の貸出　近代美術館 74
アンケート集計　近代美術館 75
万代島美術館 77
組織及び業務 80
職員 80

施設　近代美術館 81
万代島美術館 83

審議会等　美術館協議会 85
美術品収集委員会 89
新潟県立美術館友の会 90

沿革 91

令和２年度の流れ（新潟県立近代美術館）

4月	1日㈬	コレクション展第1期開会 ※3月26日㈭開会予定、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3月2日㈪～3月31日㈫臨時休館
	4日㈯	企画展「サンダーソンアーカイブ　ウィリアム・モリスと英国の壁紙展」開会
	18日㈯	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館 ［コレクション展：5月10日㈰まで／企画展：5月14日㈭まで］
	30日㈭	カフェが閉店
5月	12日㈫	コレクション展第1期再開
	13日㈬	ミュージアムショップが閉店
	15日㈮	企画展「サンダーソンアーカイブ　ウィリアム・モリスと英国の壁紙展」再開
	31日㈰	企画展「サンダーソンアーカイブ　ウィリアム・モリスと英国の壁紙展」閉会
6月		※共催展「新潟県美術展覧会長岡展」［予定の会期：6月10日㈬～6月14日㈰］は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
	14日㈰	コレクション展第1期閉会
	23日㈫	コレクション展第2期開会
7月		※企画展「三沢厚彦　ANIMALS IN NAGAOKA」［予定の会期：7月4日㈯～9月6日㈰］は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
9月	3日㈭	博物館実習⑴初日
	5日㈯	美術鑑賞講座「ウィリアム・モリスを知っていますか?」 ※5月23日㈯から期日変更
	11日㈮	博物館実習⑴最終日
	13日㈰	「木版画ワークショップ―多色で摺り体験！」 ※5月17日㈰から期日変更
	24日㈭	博物館実習⑵初日
10月	2日㈮	博物館実習⑵最終日
	4日㈰	コレクション展第2期閉会
	13日㈫	コレクション展第3期開会
	17日㈯	美術鑑賞講座「生誕110年　佐藤哲三」 ※6月13日㈯から期日変更
	24日㈯	映画鑑賞会「雨月物語」
12月	19日㈯	映画鑑賞会「若草物語」
	20日㈰	コレクション展第3期閉会
	21日㈪	
1月	～	年末年始の休館
	4日㈪	
	5日㈫	コレクション展第4期開会
	6日㈬	共催展「新潟県ジュニア美術展覧会」開会
	14日㈭	共催展「新潟県ジュニア美術展覧会」閉会
	16日㈯	美術鑑賞講座「ナビ派VS浮世絵」
	23日㈯	映画鑑賞会「ローマの休日」
2月	6日㈯	美術鑑賞講座「《ヴェネツィア鳥瞰図》―500年前のヴェネツィアを空から眺める」
	20日㈯	映画鑑賞会「にいがた偉人伝　竹谷富士雄／阿部展也／三浦小平二」
	27日㈯	美術鑑賞講座「“対話”から読み解く―橋本龍美のおぢぞうさん―」
3月	19日㈮	企画展「Viva Video! 久保田成子展」内覧会
	20日㈯･㈷	企画展「Viva Video! 久保田成子展」開会

令和２年度の流れ（新潟県立万代島美術館）

4月	1日(水)	企画展「THE ドラえもん展 NIIGATA 2020」 開会 ※新型コロナウイルス感染症拡大による臨時休館により、当初の会期［3月20日(金･祝)～5月17日(日)］を変更し延長［4月1日(水)～6月7日(日)］
	18日(土)	
5月	～	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、臨時休館
	10日(日)	
	12日(火)	企画展「THE ドラえもん展 NIIGATA 2020」 再開
	28日(木)	新型コロナウイルス感染症拡大防止から企画展「デザインあ展 in NIIGATA」［7月11日(土)～9月22日(火･祝)］を中止し、 企画展「THE ドラえもん展 NIIGATA 2020」を8月23日(日)まで延長することを決定し通知
8月	23日(日)	企画展「THE ドラえもん展 NIIGATA 2020」 閉会
	24日(月)	
10月	～	展示替えの休館
	9日(金)	企画展「ルート・ブリュック　蝶の軌跡」 内覧会
	10日(土)	企画展「ルート・ブリュック　蝶の軌跡」 開会
	24日(土)	ルート・ブリュック展関連イベント 学芸員によるギャラリートーク
11月	1日(日)	ルート・ブリュック展関連イベント 学芸員によるギャラリートーク
	8日(日)	ルート・ブリュック展関連イベント 学芸員によるギャラリートーク
	21日(土)	ルート・ブリュック展関連イベント 学芸員によるギャラリートーク
	29日(日)	ルート・ブリュック展関連イベント 学芸員によるギャラリートーク
12月	6日(日)	企画展「ルート・ブリュック　蝶の軌跡」 閉会
	7日(月)	
	～	展示替えの休館
	18日(金)	企画展「岡本太郎展　太陽の塔への道」 内覧会
	19日(土)	企画展「岡本太郎展　太陽の塔への道」 開会
	28日(月)	
1月	～	年末年始の休館
	4日(月)	
3月	7日(日)	企画展「岡本太郎展　太陽の塔への道」 閉会
	8日(月)	ミュージアムショップが閉店
	～	展示替えの休館
	19日(金)	企画展「芳年　激動の時代を生きた鬼才浮世絵師」 内覧会
	20日(土･祝)	企画展「芳年　激動の時代を生きた鬼才浮世絵師」 開会
	27日(土)	芳年展関連イベント 芳年展を10倍楽しむ　10分間ミニトーク

事 業 報 告

常設展（コレクション展）

【趣　旨】

当館の所蔵品による展示。

例年どおり、４期にわたり三つの展示室ごとにテーマを設けて所蔵品を展示紹介した。「生誕110年 佐藤哲三と蒲原の画家達」（第３期）や当館初代館長前川誠郎の生誕100年・没後10年を記念する「ルネサンスの版画」（第４期）など、周年を意識した展示に取り組んだほか、各期に「近代美術館の名品」として当館所蔵の代表作品を紹介する展示室を設けた。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、第１期会期中（4/18～5/10）に臨時休館の措置をとった。ツイッターでの所蔵品紹介を本期から始め、同様に展示室内の動画の公表も検討したが、著作権の関係等で断念した。

また第２期については企画展の中止に伴い予定内容を変更して開催した。

当館では従来、企画展観覧券で同時期の常設展も観覧可としてきたが、本年度より別料金化となった。

【観覧料】

一般……430円（340円）
大学・高校生……200円（160円）
中学生以下無料
※（　）内は有料20名以上の団体料金

第１期　2020年４月１日㈬～６月14日㈰（66日間）

※実質45日間。4/18～5/10は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館。（5/11は月曜休館のため5/12再開）

前期：４月１日㈬～５月10日㈰
後期：５月12日㈫～６月14日㈰

展示室１　近代美術館の名品
展示室２　バード・サンクチュアリ ―鳥たちの造形―
展示室３　静謐 ―蕪木研爾の世界―

バード・サンクチュアリ ー鳥たちの造形ー

【趣　旨】

古今東西、鳥は芸術家や美術品コレクターに好まれ、絵画や彫刻、工芸の主題あるいはモチーフとしてとりあげられてきた。野生の生態が描かれることもあり、飼い鳥が描かれることもあり、装飾的なパターンとして表されるなど、幅広い造形表現を生み出してきた。

鳥と他の動物を分ける魅力的な特徴は、多種多様な外見をしていることに加えて、彼らの多くが空を飛び、境界を越えていく自由をもった生き物である点であろう。美しい歌声をもち、芸術を象徴する生き物として尊ばれ、愛でられる存在でもあった。今回の特集では、美術館の展示空間を鳥たちの聖域と見立てて、ジャンルを越えた様々な作品を紹介する機会とした。

【総　括】

●評価すべき点

・「鳥」というモチーフを選んだことによって、日本画、洋画、工芸、デザインなど多様な技法による作品を一堂に展示することができ、変化に富む空間構成を実現することができた。

・鳥に魅了された作家たち―加山又造、脇田和、柳原義達、亀倉雄策など―の言葉を解説キャプションとして掲示し、作品の鑑賞を深める工夫としたことで、当館所蔵品の新たな一面を引き出すことができた。

●検討課題

・なぜ「鳥」が造形芸術の主題として他の動物にも増して発展したのか、日本で特にそうである理由があるのか、様々な分析と考察が可能なテーマであり、今回はその貴重な機会だった。講座やワークショップなどのイベントを通して実際に実証を試みなかった点が課題として残った。

担当　平石昌子

静謐 ー蕪木研爾の世界

【趣　旨】

新潟県十日町市に生まれた蕪木研爾は、25歳の時に東京都中央区銀座に自身のフォトスタジオ、〈カブラギスタジオ〉を創設すると、ファッション写真分野でめきめきと実力を発揮、わずか20年足らずの間に社員100名を超える、トップクラスのフォトスタジオの１つへと育てあげた。しかし、それは写真家ではなく経営者になることと同義語であり、蕪木、57歳の時、代表取締役社長から引退を決意、再び写真家へと戻っていった。本展では静かでかつ心の平和を意味する「静謐」をキーワードに、いちアマチュアカメラマンに回帰し、極寒の大自然や池田満寿夫の陶芸を主題とした連作を、写真史を踏まえながら紹介した。また、蕪木20代の頃のカメラ雑誌により、蕪木が注目されることになった掲載作品も併せて展示した。

【総　括】

●評価すべき点

・蕪木の連作を系統だてて紹介するだけではなく、蕪木が作品表現で使用したテクニックを写真史の潮流の中に配置し、解説を加えることで、個展でありながら写真史も把握できるよう構成することができた。

●検討課題

・《連作交差点》など、蕪木研爾が評価されることになるきっかけを作った20代の頃の作品が全て雑誌媒体でしか紹介できない上、当時の蕪木によるコマーシャル・フォトも特定が困難である。

担当　藤田裕彦

【出品リスト】

展示室１　近代美術館の名品

作家名	作品名	制作年
細野　實	雲の標	2002
麻田　鷹司	那智	1960
菱田　春草	放鶴	1904
鏑木　清方	桜姫	1923
川合　玉堂	春苑	1919
小林　古径	紫苑	1933
広川　操一	御髪上	1972
岩田　正巳	鏡	1953
浅井　忠	農人	1890
小山　正太郎	仙台の桜	1881
坂本　繁二郎	牛	1915
岸田　劉生	冬枯れの道路（原宿附近写生）	1916
中村　彝	洲崎義郎氏の肖像	1919
里見　勝蔵	赤と緑の静物	1928
佐伯　祐三	広告塔	1927
藤田　嗣治	私の夢	1947
A.フォンタネージ	ブジェイ高原	1858-60頃
C.トロワイヨン	りんごの取り入れ	1840頃
M.ドニ	ベンガル虎・バッカス祭	1920
G.クールベ	エトルタ海岸、夕日	1869
C.モネ	コロンブの平原、霜	1873
C.ピサロ	ルヴシエンヌの画家の家、雪	1871＊
G.ルオー	晩秋　No.3	1948-52
R.デュフィ	美しき夏	1941
R.デュフィ	オーケストラ	1949＊

ロビー

安宅　安五郎	群蝶	1926
竹田　康宏	Under the leaves 98 AU “Let’s stay right here”	1998

回廊

竹田　康宏	Under the leaves	1994

展示室2　バード･サンクチュアリ ー鳥たちの造形ー

作家名	作品名	制作年
16世紀 フランドルの工房	サヴェージ・ガーデン （オウデナルデのタペストリー）	1580頃
M.エルンスト	鳥＝人頭	1934-35 （1992鋳造）
柳原　義達	風の中の鴉	1982＊＊
柳原　義達	道標　鳩	1974＊
柳原　義達	鳩	1973
柳原　義達	鳩	1973
柳原　義達	鳩	1973
永井　一正	Life	1999
永井　一正	Life	1999
永井　一正	Life	1999
永井　一正	Life	1999
永井　一正	Life	1999
永井　一正	Life	1999
亀倉　雄策 （写真:田中　徳太郎）	瀕死の白鷺	1987
亀倉　雄策 （イラストレーション: 横山　明）	アムネスティ	1987
F.オランドル	『四足の胎生生物と 鳥類の博物誌概説（三巻）』	1790刊行
R.P.レッソン	『フウチョウの自然誌』	1835
	デコイ	
岩田　正巳	群飛	1974
S.ビング	『芸術の日本』（合本・第三巻）	1890-91
平塚　運一	机上小禽（『版画』より）	1933
下村　良之介	翼	1980
糸園　和三郎	鳩	1958
三輪　晃勢	朱いトキ	1977
三輪　晃勢	トキ	1963
岩田　正巳	夢	1982
野間　仁根	花園の友人	1936
脇田　和	鳥を呼ぶ人	1958
細野　稔人	鳥と少女	1976
山本　自炉	鋳銅鷺香炉	1940
佐々木　象堂	鋳銅色絵鸚哥置物	1940
亀倉　蒲舟	黄銅鷺文飾箱	1937
	李朝民画　草虫図	20世紀初頭
	李朝民画　蓮華図	19世紀
加山　又造	白菜と小鳥	1961
加山　又造	鳥	1961頃
大島　哲以	鳥の少女	1962
難波田　史男	鳥	1961
南　桂子	平和の木	1958
品川　工	飛ぶ鳥	1950
脇田　和	鳥	制作年不明
泉　茂	鳩	制作年不明
	作品（題不詳）	1958
【前期】 F.ブラックモン	ブラックモンによる6枚の腐食銅版画	1887
	表紙	
	雷雨	
	かもめ	
	葦と小鴨	
【後期】 F.ブラックモン	ブラックモンによる6枚の腐食銅版画	1887
	つばめ	
	驚いた鴨	
	朝霧	
F.ビュオ	断崖：サン・マロの入江	1886-90

展示室３　静謐 ― 蕪木研爾の世界

作家名	作品名	制作年
蕪木　研爾	流氷〈オホーツク〉作品1979	1979
蕪木　研爾	流氷〈オホーツク〉作品1979	1979
蕪木　研爾	流氷〈オホーツク〉作品1979-Ⅰ	1979
蕪木　研爾	流氷〈オホーツク〉作品1979-Ⅱ	1979
蕪木　研爾	流氷〈オホーツク〉作品1980-Ⅰ	1980
蕪木　研爾	流氷〈オホーツク〉作品1980-Ⅱ	1980
蕪木　研爾	樹氷〈奥飛騨〉作品1985	1985
蕪木　研爾	樹氷〈奥飛騨〉作品1985	1985
蕪木　研爾	樹氷〈奥飛騨〉作品1985	1985
蕪木　研爾	樹氷〈奥飛騨〉作品1986-Ⅱ	1986
蕪木　研爾	樹氷〈奥飛騨〉作品1988	1988
蕪木　研爾	樹氷〈奥飛騨〉作品1985	1985
蕪木　研爾	樹氷〈奥飛騨〉作品1985-Ⅱ	1985
蕪木　研爾	樹氷〈奥飛騨〉作品1986-Ⅰ	1986
蕪木　研爾	樹氷〈奥飛騨〉作品1986-Ⅰ ver.2	1986
蕪木　研爾	樹氷〈奥飛騨〉作品1986-Ⅰ ver.3	1986
蕪木　研爾	炎城　石廊崎	1991
蕪木　研爾	炎城　野焼き	1991
蕪木　研爾	炎城　野焼き	1991
蕪木　研爾	炎城　陶	1991
蕪木　研爾	池田満寿夫《般若心経》無	1995
蕪木　研爾	池田満寿夫《般若心経》色	1995
蕪木　研爾	池田満寿夫《般若心経》空	1995
蕪木　研爾	池田満寿夫《般若心経》無	1995
蕪木　研爾	池田満寿夫《般若心経》色	1995
蕪木　研爾	池田満寿夫《般若心経》無（碑）	1995
蕪木　研爾	池田満寿夫《般若心経》無（陶壺）	1995
蕪木　研爾	池田満寿夫《般若心経》無	1995
蕪木　研爾	池田満寿夫《般若心経》無	1995
蕪木　研爾	池田満寿夫《般若心経》色（仏塔）	1995
蕪木　研爾	池田満寿夫《般若心経》色（陶壺）	1995
蕪木　研爾	池田満寿夫《般若心経》無（野焼陶壺）	1995
蕪木　研爾	池田満寿夫《般若心経》無（裸形）	1995
蕪木　研爾	池田満寿夫《般若心経》無	1995
蕪木　研爾	池田満寿夫《般若心経》無	1995
蕪木　研爾	池田満寿夫《般若心経》無	1995
蕪木　研爾	池田満寿夫《般若心経》無（仏塔）	1995

＊は寄託作品
＊＊は個人蔵

第２期　2020年６月23日㈫～10月４日㈰（91日間）

前期：６月23日㈫～８月16日㈰
後期：８月18日㈫～10月４日㈰

展示室１～３　近代美術館の名品

近代美術館の名品

【趣　旨】

新型コロナウイルス感染症流行の影響により、当館も例に漏れず臨時休館となった。コレクション展第２期の期間も、予定されていた三沢厚彦展が中止となり、これと連動する予定であった三沢氏所蔵作品と当館コレクションとのコラボレーションも見直さざるを得なくなった。加えて予定されていた展示室３の「田畑あきら子　火だるまのなかの白い道」もコロナの影響による準備不足で開催できなくなった。そこで、本期は３室すべてを使って当館の名品を展示することになった。展示室１は日本画、展示室２は洋画、展示室３は版画と、分野毎の展示とした。

展示室１では日本画と工芸を扱い、日本画は、江戸時代の作品から現代の作品までを一堂に展示、工芸では、新潟県が生んだ二人の人間国宝の作品を展示した。

展示室２では油彩画と彫刻を扱い、日本洋画の黎明期に影響を与えた19世紀の西洋の作家、日本に洋画を広めた地元出身の画家、また戦後の新潟県出身作家まで幅広く展示紹介した。

展示室３では「リヴィエールを中心に　ジャポニスムを探して」と題して、版画の名品であるリヴィエール《エッフェル塔36景》と広重《東海道五十三次》を中心に展示した。

【総　括】

●評価すべき点

・展示室１では、江戸時代に活躍した新潟県の画家 五十嵐浚明の《中国武将図屏風》で、これまで不明だった出典が明らかになり、これと物語の内容を紹介することができた。展示室２で展示した柏崎市の初代市長を務めた人物を描いた中村彝《洲崎義郎氏の肖像》に加えて、展示室外のアプローチにその次女を描いた國領經郎《女医さん》を展示したこと、また展示室３では、浮世絵とジャポニスムの西洋版画を比較展示という方法で県民にいくつもの話題を提供することができた。

・展示室３の浮世絵の比較展示や展示室２の親子二代の展示をテレビや新聞でとりあげてもらったことで話題を呼び、新型コロナウイルス感染症流行の中でありながら、美術館に足を運ぶ人が増えた。

・新型コロナウイルス感染症流行の影響などの理由で本年度は企画展が開催できない時期が大幅に増えてしまったが、これを機会に、コレクション展単独プレスリリースの作成をこの第２期から行い、コレクション展をこれまでより強力にアピールすることにつながった。雑誌等にも掲載され、コレクション展の存在を周知できただけでなく、内部の職員の自覚にもつながった。

・コロナ禍を機に、本期からホームページの内容をより充実させ、「美術館をもっと楽しむ」のコーナーを創設し、館外からも、より興味を持って楽しめるよう工夫するようになり、よりよいアピールができるようになった。

●検討課題

・展示室によって異なる職員が担当したことにより、イメージの統一ができなかった。

・コレクション展は通常チラシやポスターを作成しておらず、また広報の手段も限られており、今後周知のためのさらなる工夫が必要である。

【関連記事】

●新聞

柏新時報（7/23）
長岡新聞（7/28）

●テレビ

NHK新潟ニュース「おはよう日本」ほか（8/27）

担当　宮下東子（展示室１・２）
　　藤田裕彦（展示室３）

【出品リスト】

展示室1　近代美術館の名品（日本画・工芸）

作家名	作品名	制作年
日本画の名品		
麻田　鷹司	東尋坊	1962
東山　魁夷	森の静寂	1964
大矢　紀	信仰の島	1979
三輪　晃久	おおぞら	1979
山崎　隆夫	砂丘晩夏	1985
千住　博	ノアの朝	1988頃＊
玉川　宣夫	木目金花瓶	2009
三浦　小平二	青磁茜豆彩大皿「ラジャスタン」	2003
【前期】		
岩田　正巳	浜名を渡る源九郎義経	1936
五十嵐　浚明	中国武将図	江戸後期
土田　麦僊	清暑	1905
小野　竹喬	黍熟るる島	1917
竹内　蘆風	武陵桃源之図	1928
尾竹　国観	巴	1930
奥村　土牛	少女図	1926
三浦　文治	佐渡のイカ干し	1938
【後期】		
速水　御舟	浦津	1911
長谷川　嵐渓	仙山楼閣図	江戸後期
行田　魁庵	鷺の図	江戸末期
瀧　和亭	着色牡丹孔雀之図	1857
小杉　未醒	風神雷神図	1917
中村　岳陵	嵐山朝陽・東山夕照	1926
郷倉　千靱	豊饒群雀	1928
岩田　正巳	春日垂迹	1927
鏑木　清方	梅王	1943
鏑木　清方	お嬢吉三	1943
鏑木　清方	毛剃	1943
鏑木　清方	鏡獅子	1943頃

展示室2　近代美術館の名品（油彩画・彫刻）

作家名	作品名	制作年
西洋絵画の名品		
A.フォンタネージ	ブジェイ高原	1858-60
T.ルソー	ボートに乗る人のいる夏の風景	1845頃
C.コロー	ビブリ	1874-75
C.モネ	コロンブの平原、霜	1873
F.ボテロ	頭像	1989
日本洋画の名品		
小山　正太郎	仙台の桜	1881
青木　繁	妙義山	1902
坂本　繁二郎	牛	1915
岸田　劉生	冬枯れの道路（原宿附近写生）	1916
中村　彝	洲崎義郎氏の肖像	1919
満谷　国四郎	裸婦	1923
北村　四海	空想に耽り居る女	1916
千野　茂	F嬢	1970
坂田　一男	椅子による裸婦	1924
里見　勝蔵	赤と緑の静物	1928
小出　楢重	ソファの裸体	1930
牧野　虎雄	サンルーム	1929
峰村　リツ子	桜井浜江像	1930
安宅　安五郎	姉弟	1931
藤田　嗣治	私の夢	1947
安井　曾太郎	読書	1942
梅原　龍三郎	紫禁城	1942
明田川　孝	村の娘	1950
須田　国太郎	三輪附近	1934
脇田　和	双鳥	1953
鳥海　青児	二重橋	1956
児島　善三郎	森と聚落	1958
岡　鹿之助	朝の城	1970
三芳　悌吉	海へ騎りゆく	1981
田中　道久	カラコレス	1975
関屋　俊彦	或るひとときA	1982
菅井　汲	ナショナルルート №12	1964

展示室3　近代美術館の名品　リヴィエールと広重を中心にジャポニスムを探して

作家名	作品名	制作年
アンリ・リヴィエール《エッフェル塔36景》		
【前期】		
H.リヴィエール	エッフェル塔36景	1902
	エッフェル塔の工事現場	
	ベートーベン通り	
	サン・ペール橋	
	コンフェランス河岸より	
	ノートル=ダム	
	クリシー大通り	
	パッシィ河岸	
	パリ祭	
	夜明け	
	ラマルク通り	
	遊覧船	
	グルネル河岸	
【後期】		
H.リヴィエール	エッフェル塔36景	1902
	イル・ド・シーニュ	
	塔の中の鉛管工	
	塔の中の塗装工	
	エッフェル塔の中で	
	ロシュシュアール通り	
	ブローニュの森	
	オステルリッツ橋	
	パッシィ=シャルボニエール河岸	
	バ・ムードンの駅	
	防柵	
	トロカデロ公園、秋	
	川船	
「ジャポニスム」を探して		
【前期】		
H.リヴィエール	エッフェル塔36景 エッフェル塔の上で	1902
歌川　広重	東海道五十三次　吉田・豊川橋	1833頃
H.リヴィエール	エッフェル塔36景 建築中のエッフェル塔、トロカデロからの眺め	1902
歌川　広重	東海道五十三次　蒲原・夜之雪	1833頃
H.リヴィエール	時の仙境シリーズ　薄暮	1901
歌川　広重	東海道五十三次　品川・日之出	1833頃
H.リヴィエール	エッフェル塔36景　アベス通り	1902
歌川　広重	東海道五十三次　舞坂・今切真景	1833頃
H.リヴィエール	エッフェル塔36景 グルネルの野菜畑	1902
歌川　広重	東海道五十三次　川崎・六郷渡舟	1833頃
H.リヴィエール	パリ生活の諸相　大通り	1895-99
歌川　広重	東海道五十三次　草津・名物立場	1833頃
H.リヴィエール	エッフェル塔36景 パッシィ河岸、雨	1902
葛飾　北斎	冨嶽三十六景　遠江山中	1831-33
【後期】		
H.リヴィエール	「エッフェル塔36景」 ジャヴェル河岸（鉄道の転轍手の小屋）	1902
歌川　広重	「東海道五十三次」 二川・猿ケ馬場	1833頃
H.リヴィエール	「エッフェル塔36景」 屋根の上で	1902
歌川　広重	「東海道五十三次」 吉原・左富士	1833頃
H.リヴィエール	「時の仙境シリーズ」 満月	1901
歌川　広重	「東海道五十三次」 沼津・黄昏図	1833頃
H.リヴィエール	「エッフェル塔36景」 バ・ムードン、古い共同洗濯場	1902
歌川　広重	「東海道五十三次」 関・本陣早立	1833頃
H.リヴィエール	「エッフェル塔36景」 コンコルド広場	1902
歌川　広重	「東海道五十三次」 由井・薩埵嶺	1833頃
H.リヴィエール	「パリ生活の諸相」 街路、夕暮れ、雨	1895-99
歌川　広重	「東海道五十三次」 赤坂・旅舎招婦ノ図	1833頃
H.リヴィエール	「エッフェル塔36景」 フルミエの鹿の隘から（トロカデロ）	1902
歌川　広重	「東海道五十三次」 土山・春之雨	1833頃
歌川広重《東海道五十三次》		
【前期】		
歌川　広重	東海道五十三次	1833頃
	日本橋・朝之景	
	神奈川・臺之景	
	保土ケ谷・新町橋	
	戸塚・元町別道	
	藤沢・遊行寺	
	大磯・虎ケ雨	
	箱根・湖水図	
	三島・朝霧	
	原・朝之富士	
	興津・興津川	
	江尻・三保遠望	
	府中・安部川	
	鞠子・名物茶屋	
	嶋田・大井川駿岸	
【後期】		
歌川　広重	東海道五十三次	1833頃
	掛川・秋葉山遠望	
	荒井・渡舟ノ図	
	白須賀・汐見阪図	
	御油・旅人留女	
	藤川・棒鼻ノ図	
	池鯉鮒・首夏馬市	
	宮・熱田神事	
	桑名・七里渡口	
	四日市・三重川	
	石薬師・石薬師寺	
	庄野・白雨	
	亀山・雪晴	
	阪之下・筆捨嶺	
	京師・三條大橋	

ロビー

國領　經郎	女医さん	1947
竹田　康宏	Under the leaves 98 AU “Let’s stay right here”	1998

回廊

竹田　康宏	Under the leaves	1994

＊は寄託作品

第３期　2020年10月13日㈫～12月20日㈰（60日間）

前期：10月13日㈫～11月15日㈰
後期：11月17日㈫～12月20日㈰

展示室１　近代美術館の名品 ―新収蔵品を中心に―
展示室２　生誕110年　佐藤哲三と蒲原の画家達
展示室３　中村忠二　詩情と激情

生誕110年
佐藤哲三と蒲原の画家達

【趣　旨】

佐藤哲三の生誕110年を記念して「生誕110年　佐藤哲三と蒲原の画家達」を開催した。

哲三は、1910年、長岡で生まれるが、翌年、父の生家のある新発田に移り、以降、この地を中心とした北蒲原を生活の場として終生過ごした。

1927年大調和展への出品を契機に梅原龍三郎と出会い、1930年の第５回国展で国画奨学賞、翌年の第６回展でも《郵便脚夫宮下君》（当館蔵）を連続受賞、さらに翌第７回展でO氏賞を受賞し、国画会会友となるなど、梅原からその前途を嘱望された。

しかし、哲三は、上京して学ぶことをせず、郷土蒲原に留まり、農村社会とそこに生きる人間をテーマにして描き続けた。

本展は、当館の所蔵する哲三全作品を展示し、郷土を愛し、風土と人を描き続けた姿を浮かび上がらせると共に、仲間の蒲原の画家達の作品を紹介した。

【総　括】

●評価すべき点

・本県の主要画家として収蔵をしている画家の生涯に亘る作品を再確認することができた。
・美術館のこれまでの収集活動の成果を披露することができた。

●検討課題

・生誕110年の記念年でもあったので、当初企画段階では、県内で所蔵されている作品を加え、常設展示室一室での小規模な個人展を計画していた。しかしながら経費的な理由により、断念せざるを得ず、広く本県の画家、佐藤哲三の全体像を再認識していただく機会が薄れた。

【関連記事】

●新聞

10月10日㈯　新潟日報
「展覧会へようこそ　生誕110年佐藤哲三と蒲原の画家達」／松矢国憲（当館専門学芸員）

担当　松矢国憲

中村忠二　詩情と激情

【趣　旨】

2005年に実業家・相沢直人氏より、当館に一括寄贈されたコレクションの中に、異色の画家である中村忠二の作品が、およそ50点含まれていた。

中村忠二は現在の兵庫県姫路市に生まれ、1915年、大阪で電信通信手としての職を得たものの、この頃より美術に興味を持ち、1919年、20歳の時に上京し、日本美術学校に入学する。しかし、学費が払えず翌年退学、以降、各地を転々としながら、水彩連盟や光風会、国画会に出品を続け、美術作家として独自の地位を確立した画家である。

そんな忠二の代表的な仕事にモノタイプがある。知己の画家・水波博から教わったもので、ガラスや金属板に直接着色しそれを紙に転写する版画技法のひとつであるが、ここでも忠二は独学で研究を続け、作家個人の境遇が反映されたような、味わい深い作品を次々と生みだしていった。

今回の展示では「詩情と激情」と題して、激しい筆致ながらも叙情性豊かに表現された、忠二の独特な世界を水彩、モノタイプ、誌画作品で紹介した。なお本展開催には練馬区立美術館よりご協力を頂いた。

【総　括】

●評価すべき点

・中村忠二作品を水彩、モノタイプ、誌画作品の３分野で展示した。その中でも、当館で　最も所蔵の多いモノタイプ作品についてはそれぞれの作品傾向にあわせて展示構成し、また誌画作品では忠二の文章もキャプションとして掲示することで、独特な忠二の作品　世界を系統立てて紹介することができた。

●検討課題

・中村忠二は初期には油彩作品も制作、また、生涯の作品数では誌画作品が圧倒的に多いが、もともと寄贈作品であるため、所蔵分野に量的な差が多かった。点数的には十分に紹介できたと思えるが、作家の全貌を伝えるまでには至らなかった。

担当　藤田裕彦

【出品リスト】

展示室１　近代美術館の名品 ―新収蔵品を中心に―

作家名	作品名	制作年
津田　信夫	丹山彩鳳	1934
下村　観山	普賢文殊	1909頃***
寺崎　廣業	白牡丹	1905-6頃***
板谷　波山	青磁竹節香炉	大正末-昭和初期***
山元　春挙	峡谷清流図・深山風雪図	1932***
木村　武山	巣立	1933頃***
佐伯　祐三	広告塔	1927
吉原　治良	静物	1929
安井　曾太郎	読書	1942
脇田　和	あらそい	1955
M.ドニ	夕映えの中のマルト	1892
C-F.ドービニー	オワーズ河、イル・ド・ヴォーの夜明け	1869
J-E.ミレイ	アリス・グレイの肖像	1859
二代（眞葛）宮川　香山	八幡古瓦	1920頃***
掛井　五郎	受胎告知	1957*
堀口　大學	小林ドンゲ宛て書簡、他９点	***
	秋の歌	1954
	富士山高くつゝましく	不明
	長谷川潔宛添え状	不明
	長谷部欣宏・小林ドンゲ宛書簡	1960
	小林ドンゲ宛書簡	1960
	長谷部欣宏・小林ドンゲ宛書簡	1961
	長谷部欣宏・小林ドンゲ宛書簡	1962
	長谷部欣宏・小林ドンゲ宛書簡	1963
	長谷部欣宏・小林ドンゲ宛書簡	不明
堀口　大學	詩集『夕の虹』限定版	1957
小林　ドンゲ	堀口大學詩集『夕の虹』所収　版画	1957***
	堀口大學像（試作）	
	堀口大學像	
	マスク	
	くも	
	月	
	花	
小林　ドンゲ	堀口大學詩集『夕の虹』銅版原版	1957***
	堀口大學像	
	マスク	
	くも	
	月	
	花	
堀口　大學	森谷均宛てはがき	1957***
堀口　大學	詩集『沖に立つ虹』特別装幀本	1974***
小林　ドンゲ	スケッチブック（『沖に立つ虹』下絵）	1974***
小林　ドンゲ	堀口大學詩集『沖に立つ虹』銅版原版	1974***
	１　試作	
	１	
	２	
	３	
	４	
	５	
小林　ドンゲ	銅版画集『雨月物語』	1970***
	扉	
	死は見つめる　浅茅が宿	
	よみがえる花　浅茅が宿	
	餌の香ばしきに眛む　夢応の鯉魚	
	風のようにそれはやってくる　吉備津の釜	
	蛇性の婬	
	いとしいお前よ　さあー緒にいこう　青頭巾	
	奥付	
小林　ドンゲ	エドガー・アラン・ポーより　モレラ	1970頃**
小林　ドンゲ	銅版画集『小林ドンゲ蔵書票作品集』（49点）	1979***
小林　ドンゲ	スケッチブック（『小林ドンゲ蔵書票作品集』（下絵）	1979***
堀口　大學	詩文集『秋黄昏』	
小林　ドンゲ	堀口大學詩文集『秋黄昏』表紙原画	1980頃***
小林　ドンゲ	泣いている私	1955頃**
鈴木　力	中世の街（カンポ広場シエナ）※追悼展示	1989
【前期】		
橋本　雅邦	秋景山水図	1892
竹内　栖鳳	秋陽	1926
【後期】		
川合　玉堂	渓山晩秋	1930頃
竹内　栖鳳	睡郷	1930

展示室２　生誕110年 佐藤哲三と蒲原の画家達

作家名	作品名	制作年
佐藤　哲三	習作（『土塊』創刊号より）	1927
佐藤　哲三	虫（『土塊』第２号より）	1928
佐藤　哲三	静物（『土塊』第３号より）	1928
佐藤　哲三	瓦焼場風景	1928
佐藤　哲三	郵便脚夫宮下君	1931
佐藤　哲三	柿を持つ女	1934
佐藤　哲三	農村託児所	1934
佐藤　哲三	柿	1934
佐藤　哲三	越後の晩秋（鴻沼村を望む）	1935
佐藤　哲三	越後の秋	1937
佐藤　哲三	針仕事	1940
佐藤　哲三	農婦	1940
佐藤　哲三	稲	1941
佐藤　哲三	自転車屋の職人の肖像	1940
佐藤　哲三	農婦	1937
佐藤　哲三	残雪	1952
佐藤　哲三	風景	1953頃
佐藤　哲三	帰路	1954
佐藤　哲三	裸婦	1953
佐藤　哲三	柿	1953頃
佐藤　哲三	桃	不明
佐藤　哲三	鳩	1954
佐藤　哲三	小鳥	不明
佐藤　十蟻（重義）	壁紙図案単位（『土塊』創刊号より）	1927
佐藤　十蟻（重義）	柘榴（『土塊』第２号より）	1928
佐藤　十蟻（重義）	年賀状（『土塊』第２号より）	1928
富樫　寅平	年賀状（『土塊』第２号より）	1928
佐藤　十蟻（重義）	『土塊』第３号表紙（印刷）	1928
富樫　寅平	街	1930年代前半
富樫　寅平	農家	1943
佐藤　三郎	パリ郊外	1927-28
佐藤　三郎	パリ郊外	1927-28
佐藤　三郎	フォントノワ	1929
末松　正樹	自画像	1930年代
末松　正樹	大工高野氏の像	1932頃
末松　正樹	作品	1951
末松　正樹	自画像（1944.9.17）	1944
末松　正樹	作品（1944.12.17）	1944
末松　正樹	作品（1945.2.26）	1945
末松　正樹	作品（1945.7.24）	1945
【前期】		
富樫　寅平	光を仰ぐ（『土塊』創刊号より）	1927
富樫　寅平	静物（『土塊』第２号より）	1928
富樫　寅平	果実の図（『土塊』第３号より）	1928
富樫　寅平	習作（『土塊』第４号より）	1928
長谷川　武雄	風景（『土塊』第２号より）	1928
長谷川　武雄	赤倉風景（『土塊』第３号より）	1928
齋藤　二虫	習作（『土塊』創刊号より）	1927
齋藤　二虫	装飾図案（『土塊』第２号より）	1928
齋藤　二虫	センダンの実（『土塊』第３号より）	1928
【後期】		
大崎　周英	自然と人生（『土塊』創刊号より）	1927
神田　百豕	図案（いちご）（『土塊』第３号より）	1928
山口　政治	裸婦（『土塊』第７号より）	1929
長　さとみ	静物（『土塊』第７号より）	1929
長谷川　武雄	風景（『土塊』第４号より）	1928
齋藤　二虫	もくれん（『土塊』第４号より）	1928
齋藤　二虫	構想（『土塊』第６号より）	1928
齋藤　二虫	新発田警察署（『土塊』第７号より）	1929

展示室３　中村忠二 詩情と激情

作家名	作品名	制作年
１．水墨画を描く		
中村　忠二	ハニワ	1951
中村　忠二	花と古壺	不明
中村　忠二	運河(1)	1956
中村　忠二	運河(2)	1956
中村　忠二	江東地区	不明
中村　忠二	港	1956
中村　忠二	魚二題	1957
中村　忠二	ほうぼう	不明
２．モノタイプへの挑戦		
中村　忠二	新橋並木道	1959
中村　忠二	木造船	1959
中村　忠二	昼の昆虫	1959
中村　忠二	冬	1960
中村　忠二	雨	1960
中村　忠二	魚のいる風景	1960
中村　忠二	悲しい争い	1960
中村　忠二	春が来る	1961
中村　忠二	穴	1965
中村　忠二	シリーズの内「夜の廃船」	1965
中村　忠二	漁シリーズ「海草海にかえる」	1965
中村　忠二	シリーズの内「歩く海草」	1965
中村　忠二	夜雨	1965
中村　忠二	夜雨	1965
中村　忠二	黄の中の黒	1965
中村　忠二	黒(1)	1965
中村　忠二	黒(2)	1965
中村　忠二	崖シリーズNo. 5「死」	1966
中村　忠二	崖シリーズNo.13「カラス」	1966
中村　忠二	崖シリーズ「カラス」	1966
中村　忠二	崖シリーズ「三ツノ空間」	1966
中村　忠二	メシ	1967
中村　忠二	透明体	1967
中村　忠二	行商びと	1967
中村　忠二	寒月と矢C	1968
中村　忠二	孤独なる紅B	1968
中村　忠二	誕生日	1968
中村　忠二	早春B	1968
中村　忠二	コヨミA	1968
中村　忠二	３階の人	1968
中村　忠二	秒刻	1968
中村　忠二	秒刻	1968
中村　忠二	冬のひと	1968
中村　忠二	冬シリーズ「黒」	1968
中村　忠二	冬シリーズ「夜雨」	1968
中村　忠二	冬シリーズ「冬夢」	1968
中村　忠二	無数の穴	1968
中村　忠二	冬草	1969
３．詩画の世界		
中村　忠二	冬日太陽	1970
中村　忠二	たばこ	1970
中村　忠二	ウェスキー	1971
中村　忠二	別れだなぁ	1971
中村　忠二	おちぶれ者	1971
中村　忠二	かんざしの花	1972
中村　忠二	ホタル蛾、飛ブ	1968
中村　忠二	打ち上げられし「コンブ」	1965
中村　忠二	四ッの黒	1968

ロビー

北川民次	大地	1939
竹田　康宏	Under the leaves 98 AU “Let’s stay right here”	1998

回廊

竹田　康宏	Under the leaves	1994

＊は寄託作品
＊＊は個人蔵
＊＊＊は新収蔵品

第４期　2021年１月５日㈫～４月４日㈰（78日間）

前期：１月５日㈫～２月14日㈰
後期：２月16日㈫～４月４日㈰

展示室１　近代美術館の名品
展示室２　名画　世界一周
展示室３　前期：ルネサンスの版画　　後期：水彩画の世界

名画　世界一周

【趣　旨】

世界各国の地名や世界遺産にまつわる作品など、異国情緒にあふれる作品に焦点をあて、当館所蔵品を選出した。「作家の感性と共にめぐる、世界一周の旅」が疑似体験できるよう、全34作品を東京・日本橋から、アジア、アフリカ、ヨーロッパ、アメリカ、日本の順番で展示し、紹介した。

【総　括】

●評価すべき点

・世界一周というテーマが分かりやすかったためか、アンケートや感想コーナーの記述から、概ね好評だったことがうかがえた。

担当　山本未知雄

ルネサンスの版画

【趣　旨】

2020年は、初代館長前川誠郎の生誕100年、没後10年にあたる。これを記念し、デューラーの研究者であった前川館長のもと当館に集められた「ルネサンスの版画」――デューラーの版画作品およびヤーコポ・デ・バルバリの大作《ヴェネツィア鳥瞰図》を一堂に展示紹介した。

【総　括】

●評価すべき点

・《アムステルダム鳥瞰図》（個人蔵）の特別出品により、当館で繰り返されてきたテーマを発展させて紹介することができた。

・これまでの教育普及活動の蓄積をもとに、短い準備期間の中でも普及部が鑑賞資料の作成、体験コーナーを設置したことで、多角的な作品紹介が実現できた。

●検討課題

・時代背景を含め難解な作品が多く、わかりやすいキャプションの作成については検討の余地が残った。

・作品の額装、マット装に経年劣化が確認された。開館当時に収蔵されたものには20年以上前から一度も手を加えられたことがないものも多く、保存環境の更新も今後の課題である。

担当　松本奈穂子

水彩画の世界

【趣　旨】

幕末から明治期にかけ、日本にもたらされた水彩画は、画家たちに親しまれ、明治末頃に一大ブームとなって波及、水彩画を専門とする画家も現れるようになった。後に学校教育にも取り入れられ、水彩は身近な絵画技法となっていった。水彩画の普及に関わった作家たちを中心に当館所蔵作品を展示、水彩画の魅力を紹介する。

【総　括】

●評価すべき点

・当館所蔵の水彩作品を一堂に紹介するのは、2013年度コレクション展第１期「水彩画の魅力」（後期）以来。相澤コレクションや、寄託作品からも出品、多様な作品を紹介することができた。

・作品のまとまりごとにコラムを設けるなど、展示の工夫を行った。

●検討課題

・一部の作品･作家について調査が進めることができた一方、情報不足で検証が十分にできない作品もあった。引き続き調査をし、展示に反映していきたい。

担当　伊澤朋美

【出品リスト】

展示室１　近代美術館の名品

作家名	作品名	制作年
原　直樹	鋳銅壺銘花苑	1965
工藤　甲人	夜	1963
山崎　隆夫	新雪	1980
萬　鐵五郎	雪の景（土沢）	1915
岸田　劉生	冬枯れの道路（原宿附近写生）	1916
有元　利夫	無題	1984
牧野　虎雄	サンルーム	1929
富岡　惣一郎	作品	1962
阿部　展也	SCRITTURA IN ROSSO	1963
堂本　尚郎	黒い太陽―W	1973
小野　末	一峯	1970
原　雅幸	霧と残雪	1985
J-E.ミレイ	アリス・グレイの肖像	1859
C.モネ	コロンブの平原、霜	1873
J.デュプレ	羊飼い	1883頃
M.ドニ	夕映えの中のマルト	1892
【前期】		
伊東　深水	羽子の禿	1943
番場　春雄	雪に遊ぶ	1935
三輪　晃勢	蓬莱山	不明
土田　麦僊	芥子	1926
山本　丘人	湖上嶺	1951
小林　古径	紅梅	1927頃
【後期】		
横山　大観	早春	1924
下村　観山	菅公幼児	大正中期＊
鏑木　清方	春の夜のうらみ	1922
橋本　龍美	風之唄	1981
尾竹　竹坡	梧桐	1911

ロビー

高橋　秀	春	1970
竹田　康宏	Under the leaves 98 AU “Let’s stay right here”	1998

回廊

竹田　康宏	Under the leaves	1994

展示室２　名画 世界一周

作家名	作品名	制作年
赤穴　宏	日本橋の赤レンガ	1985
中澤　茂	墾壌到巒	1974
佐藤　哲三郎	中国風景	1942-43
三浦　小平二	青磁絵皿シルクロード	1978
八田　哲	夏のカシュガル	1988
三輪　晃勢	ボンベイの女	1967
本間　ケイ	ナーガの旅	1996
市橋　敏雄	吹分オベリスク　南冥の鎮魂碑	1995
三浦　小平二	焼きしめ花瓶「マサイ」	1970
吉田　志麻	夜空-マサイマラ	1997
田中　道久	メクネスの城塞（モロッコ）	1976
桑原　実	ラクダの馭者（チュニジア）	1978
大矢　紀	信仰の島	1979
淀井　敏夫	エピダウロス・追想	1984
平松　礼二	ノルマンディー　夢の季	1998
竹谷　富士雄	モンマルトル・昼下り	1978
丸山　正三	小さなひろば（ｃｈ-ミッシェル）	1977
佐伯　祐三	パンテオン寺院	1928
新保　兵次郎	エッフェル塔	1955
佐藤　三郎	パリ郊外	1927-28
高村　真夫	ラパクール村	1915頃
相馬　其一	フランス郊外	1931
平賀　亀祐	カイゼルベルグ廃墟と美術館	不明
東山　魁夷	森の静寂	1964
C.ズベール	V.I.P.	1993
木津　一夫	未来への遺産Ⅱ	1987
鈴木　力	聖者の街 ’89（アッシジ）	1989
大野　五郎	６月の風　トレド風景	1971
椿　悦至	古都展望・トレド	1975
八田　哲	夜のカテドラル	1989
矢部　友衛	アメリカの農村	1940
八田　哲	タスコ白日	1991
中澤　茂	グァテマラの女たち	1969
田崎　広助	箱根の富士	不明

展示室３　〈前期〉ルネサンスの版画

作家名	作品名	制作年
A.デューラー	メレンコリアⅠ	1514
W.ホラー	デューラー 26歳の自画像	1645
A.デューラー	大受難伝	
	第3葉　オリーブ山上のキリスト	1497-1500（1511刊行）
	第４葉　キリスト捕縛	1510（1511刊行）
A.デューラー	ウルリッヒ・ファルンビューラーの肖像	1522（1620頃の刷り）
A.デューラー	黙示録	1498（1511の刷り）
	扉絵　聖母子を仰ぎ見るヨハネ	
	初版扉絵　ヨハネの殉教	
	第1図　七つの燭台を見るヨハネ	
	第2図　神の玉座を囲む二十四人の長老	
	第3図　四人の騎者	
	第4図　第五および第六の封印を切る	
	第5図　風を止める四位の天使	
	第6図　喇叭を吹く七位の天使	
	第7図　エウフラテス河畔の四位の天使	
	第8図　書物を食べるヨハネ	
	第9図　太陽の女性と七頭の竜	
	第10図　聖ミカエル、竜を倒す	
	第11図　海から上る獣と仔羊の角をもつ獣	
	第12図　仔羊の前の選ばれし者たち	
	第13図　バビロンの娼婦	
	第14図　深淵の鍵を持つ天使と新しきエルサレム	
A.デューラー	６つの組紐文　第６葉 ７つの網目文様のある組紐文	1505-07
J.D.バルバリ	ヴェネツィア鳥瞰図（第３版）	1500（16世紀後半の刷り）
C.アントニスゾーン	アムステルダム鳥瞰図	1544＊＊
前川　誠郎	デューラアと伊太利旅行	1947
前川　誠郎	Zwei Dürerprobleme	1984
前川　誠郎	Blick nach Western: Die Aufsätze und Vorträge in deutscher Sprache	1990
	ファクシミリによるセーヘルス版画展	2001
	芸術新潮2003年５月号	2003
A.デューラー（前川誠郎翻訳）	ネーデルラント旅日記：1520-1521	1996
A.デューラー（前川誠郎翻訳）	デューラーの手紙	1999
A.デューラー（前川誠郎翻訳監修）	「人体均衡論四書」注解	1995

展示室３　〈後期〉水彩画の世界

作家名	作品名	制作年
C.ワーグマン	新潟の家	1870
浅井　忠	岩礁のある海	不明
田中　本吉	飛騨国中山七里ノ中	1921＊
田中　本吉	伊豆修善寺	不明＊
田中　本吉	画帳	1919-33頃＊
安井　曾太郎	さるすべり	不明
安井　曾太郎	花	不明
安井　曾太郎	つばき	不明
石井　柏亭	鳥屋野潟冬景色	1955
鶴田　吾郎	風景	1960
鶴田　吾郎	与板風景	不明
古賀　春江	初秋の水辺	不明
野間　仁根	風景	不明
野間　仁根	舞踊する男女	1965
中西　利雄	高原風景	不明
小山　良修	曲	1937
小山　良修	布上	1943
小山　良修	五月の花	1947
小山　良修	柿	1970
荒谷　直之介	婦人像	1940
小堀　進	山麓	1952
五十嵐　二朗	越後海景	1986
三芳　悌吉	柿・花梨	不明
三芳　悌吉	種と実A	不明
三芳　悌吉	種と実B	不明
三芳　悌吉	秋を飾る（やまごぼう）	不明
阿部　展也	BEOGRAD於	1957
阿部　展也	SV.JOVAN KANEO	1957
阿部　展也	ヨーロッパ風景より（光と雲）#51	1958
阿部　展也	「夜曲なめくじ」より	1949
阿部　展也	なめくじ夜曲	1947
難波田　史男	少年と海の神話	1967
難波田　史男	無題	1968
難波田　史男	無題	1969
難波田　史男	彩色画	1970
難波田　史男	無題	1972
難波田　史男	無題	1974

＊は寄託作品
＊＊は個人蔵

企　画　展

サンダーソンアーカイブ
ウィリアム・モリスと英国の壁紙展

【趣　旨】

近代デザインの先駆者として知られるウィリアム・モリス（1834-96）。身近な自然の草花をモティーフにしたパターンデザインは、彼が提唱した「生活の中に美を」という考え方を体現し、今でも人々を魅了する居心地の良い生活空間を演出している。本展は、多岐にわたるモリスの仕事の中から、特に「壁紙デザイン」に注目して紹介する展覧会。英国有数の壁紙会社サンダーソン社に保管されている貴重な壁紙と版木約130点により、モリスの壁紙を中心に英国壁紙デザインの変遷を辿った。

【総　括】

●評価すべき点

・新型コロナウイルスで先の見えない状況下、県民に人気があり、親しみやすいウィリアム・モリスの作品を紹介し、当館所蔵品にもつながる19世紀英国の美術に親しむ機会を提供することができた。特に臨時休館後の来館者が全体来館者の８割を超えており、対策を講じた上での再開が適ったことで、展覧会を楽しみにしていた県民の鑑賞機会を確保することにつながった。

・モリスの多彩な活動を紹介した鑑賞資料、県内図書館での関連展示により、展覧会で紹介しきれなかった作家の全体像を示すことが出来た。

●検討課題

・代替として実施した図録のオンライン販売は好調だった。展覧会関連グッズを求める声は多く、ショップの運営方法は今後模索する必要があるだろう。

【開催日・その他】

=2020年４月４日㈯～５月31日㈰（予定51日間、実質27日間）=

［臨時休館］４月18日㈯～５月14日㈭

休館日：４月６日㈪、４月13日㈪、４月20日㈪、４月27日㈪、５月11日㈪、５月18日㈪、５月25日㈪

主　催：新潟県立近代美術館、UX新潟テレビ21、ウィリアム・モリスと英国の壁紙展新潟実行委員会、朝日新聞社

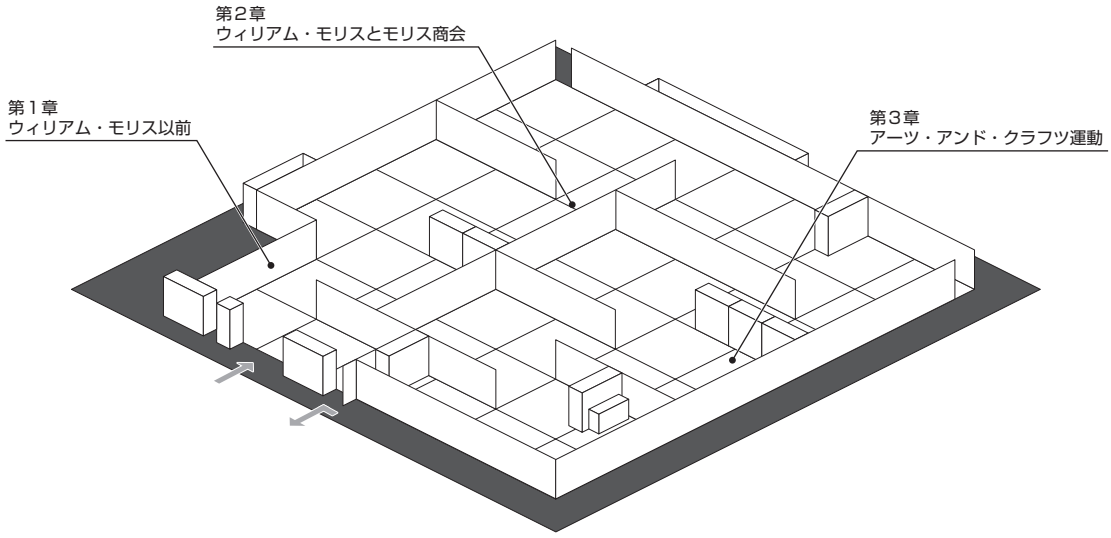
特別協力：ウォーカー・グリーンバンク社

後　援：ブリティッシュ・カウンシル、長岡市、長岡市教育委員会、新潟日報社、エフエムラジオ新潟、FM PORT 79.0、FMながおか80.7

協　賛：西川株式会社、マナトレーディング株式会社

協　力：日本航空、株式会社川島織物セルコン、リリカラ株式会社、リンデン株式会社

観覧料：一般 …… 1,200円（1,000円）〈1,000円〉
大学・高校生 …… 1,000円（800円）
※ 中学生以下無料
※（　）内は有料20名以上の団体料金
※〈　〉は前売券料金



【関連行事】

・記念講演会

「ウィリアム・モリスのインテリアを訪ねる旅」

4月25日㈯ 14:00〜15:30　講堂

申込不要／聴講無料

講師：松下由里氏（群馬県立近代美術館 次長兼学芸係長）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した。

・ワークショップ

「木版画ワークショップ―多色で摺り体験！」

9月13日㈰ ①11:00〜12:30

②14:00〜15:30

旧ショップロビー　要事前申込

講師：たかだみつみ氏

参加者数：①3名　②6名

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため5月17日㈯から延期、一部内容を変更し実施。

・美術鑑賞講座

「ウィリアム・モリスを知っていますか？」

9月5日㈯ 14:00〜15:30　講堂

申込不要／聴講無料

講師：藤田裕彦（当館学芸課長）

参加者数：15名

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため5月23日㈯から延期。

・担当学芸員によるギャラリートーク

4月5日㈰、4月19日㈰、5月24日㈰、5月31日㈰

各回14:00〜　企画展示室　申込不要／要観覧券

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全回中止した。

【図　録】

仕　様：A4判　175頁

監　修：マイケル・パリー（ウォーカー・グリーンバンク社ブランドアンバサダー）

学術協力：ドクター・カレン・プロズロー（ウォーカー・グリーンバンク社アーキビスト）

編　集：朝日新聞社企画事業本部文化事業部

デザイン・制作：美術出版社デザインセンター

印　刷：大日本印刷

発　行：朝日新聞社

内　容：ごあいさつ

メッセージ

壁紙という芸術 マイケル・パリー

壁紙の歴史 松下由里

凡例・壁紙の名称

カタログ

第１章 ウィリアム・モリス以前

第２章 ウィリアム・モリスとモリス商会

第３章 アーツ・アンド・クラフツ運動

関連地図

資料

コラム 金唐皮紙と英国の壁紙

ウィリアム・モリスと花 松下由里

作家紹介

関連年表

参考文献抄

The Art of Wallpaper Michael Parry

出品リスト

【関連記事】

●新聞

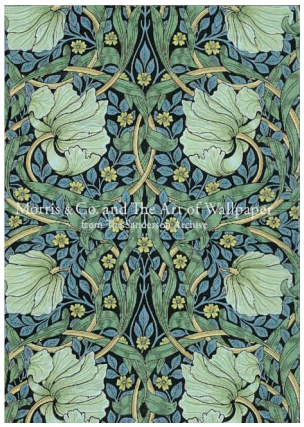
十日町新聞（2/20）
長岡新聞（2/29）
十日町タイムス（3/28）
妻有新聞（3/21）
朝日新聞（4/4）
新潟日報（4/5）

●雑誌

月刊にいがた４月号
月刊ウインド６月号

●テレビ

４月３日㈮　UX新潟テレビ21「スーパー Jにいがた」



【観覧者数】

有料観覧者数	当日	3,192
	前売	606 ※払戻し21を除く
無料観覧者数	招待	838
	無料	223
	免除	208
総観覧者数		5,067
有料率（%）		75.0

担当　松本奈穂子

【出品リスト】

第1章　ウィリアム・モリス以前　Chapter 1 Before William Morris

No.	作者	作品名	制作年	寸法（縦×横cm）	技法ほか
1		ばらとアザレアのT字型花飾り	1846年頃	69.0×54.0	ブロック・プリント22版
2		金のロココ調装飾とばら、アザレアのボーダー	1846年頃	49.25×56.0	ブロック・プリント27版
3		花とロココ調スクロール	1850年頃	78.75×55.5	ブロック・プリント19版
4		枢密院の壁紙	1740年頃	54.0×65.0	ブロック・プリント2版
5		天井用壁紙	1895年頃	54.0×54.0	ブロック・プリント1版
6		リボンとちょう結び	19世紀初期	58.0×52.0	ブロック・プリント11版
7		イリゼ縞模様と花	1850年頃	全体92.2×54.5	ブロック・プリント20版
8		金箔押し壁紙	1850年頃	60.75×55.0	ブロック・プリント1版
9	ジャン=ジュリアン・デルティル	北アメリカの景色	1833年（デザイン） 1834年（印刷）	各386.0×50.0	ブロック・プリント1690版
10	シャルル=ルイ・ミュレル（推定）	ばらのボーダー	1840-70年	56.0×87.0	ブロック・プリント19版
11		四季のパネル	19世紀または20世紀初期	122.0×56.0	ブロック・プリント31版
12	ポール・バラン	アンリ2世時代の刺繍調壁紙	1877-85年	81.2×48.0	ブロック・プリント複数
13	ポール・バラン	ルイ13世時代の刺繍調壁紙	1887年頃	94.7×49.0	ブロック・プリント複数
14		音楽のフリーズ	1850～75年	93.5×117.0	ブロック・プリント複数
15	シャルル=ルイ・ミュレル	天使と花台のフリーズ	1865年頃	76.0×142.0	ブロック・プリント複数
16		花網、花で飾ったスクロール、花のバスケット	1855年頃	63.0×54.2	ブロック・プリント23版
17	A・W・N・ピュージン	ウェストミンスター宮殿の壁紙	1848年頃	104.0×53.5	ブロック・プリント2版
18	A・W・N・ピュージン	ウェストミンスター宮殿の壁紙	1848年頃	62.5×53.25	ブロック・プリント2版
19	A・W・N・ピュージン	着替え室の壁紙	1848年頃（オリジナル） 1951年（複製）	111.5×57.0	ブロック・プリント2版
20	A・W・N・ピュージン	ブリントン	1848年頃（オリジナル） 1900年頃（複製）	103.5×53.5	ブロック・プリント3版
21	オーウェン・ジョーンズ	アルハンブラ宮殿	1852年頃	84.5×47.0	ブロック・プリント4版
22		日本風の階段用壁紙	1888年頃	77.2×50.2	ブロック・プリント7版
23		日本風の階段用壁紙	1888年頃	77.0×50.0	ブロック・プリント5版
24	クリストファー・ドレッサー あるいはその影響を受けたデザイナー	アングロ＝ジャパニーズ・スタイルの壁紙	1876年	84.0×51.0	ブロック・プリント4版、エンボス加工
25		グレンヴュー用壁紙	1999年	80.0×54.5	スクリーン・プリント6版
26		アーモンドの花	1896年頃	74.75×51.2	ローラー・プリント10版
27		アーモンドの花のフリーズ	1896年頃	42.0×59.5	ローラー・プリント11版
28	ハリー・ワトキンス・ワイルド	花	1917～18年頃	76.5×54.7	ローラー・プリント6版
29		日本風の影絵壁紙	20世紀初期	87.5×54.5	ローラー・プリント2版
30		中国の官吏	1915年頃	65.55×52.0	ブロック・プリント3版、エンボス加工
31		東洋風景の壁紙	1919年頃	71.5×51.5	ブロック・プリント6版、エンボス加工
32		賑やかな木	1897年頃	98.0×93.0	金唐革紙
33		金唐革紙	1885年頃	97.5×93.5	金唐革紙
34		エンボス加工紙	1880年代頃	89.0×59.5	エンボス加工
35		アリカンテ	1885年頃	97.5×79.0	金唐革紙

第2章　ウィリアム・モリスとモリス商会 Chapter 2 William Morris and Morris & Co.

No.	作者	作品名	制作年	寸法（縦×横cm）	技法ほか
36	ウィリアム・モリス	デイジー（ひなぎく）	1864年（登録、印刷）	75.0×57.0	ブロック・プリント11版
37	ウィリアム・モリス	トレリス（格子垣）	1863年（デザイン） 1864年（印刷）	82.5×53.1	ブロック・プリント11版
38	ウィリアム・モリス	フルーツ（果物）	1864年（印刷）	82.6×51.75	ブロック・プリント12版
39	ウィリアム・モリス	リリー（ゆり）の試作品	1874年（印刷）	62.5×69.5 プルーフ51.0×56.5 手紙19.5×12.0	ブロック・プリント8版
40	ウィリアム・モリス	リリー（ゆり）	1874年（印刷）	73.5×56.0	ブロック・プリント8版
41	ウィリアム・モリス	リース（花輪）	1876年（印刷）	86.5×55.0	ブロック・プリント22版
42	ウィリアム・モリス	ばら	1877年（印刷）	75.0×56.9	ブロック・プリント7版
43	ウィリアム・モリス	クリサンセマム（きく）	1877年（印刷）	74.4×57.1	ブロック・プリント7版
44	ウィリアム・モリス	クリサンセマム（きく）	1879年（印刷）	70.0×69.9	ブロック・プリント1版
45	ウィリアム・モリス	セント・ジェームズ宮殿の大階段用壁紙	1881年（印刷）	101.7×55.8	ブロック・プリント68版、パッチ数点
46	ウィリアム・モリス	セント・ジェームズ宮殿の天井用壁紙	1881年（印刷）	71.7×57.0	ブロック・プリント2版
47	ウィリアム・モリス	VRIの装飾文字の壁紙	1887年（印刷）	68.0×66.7	ブロック・プリント1版
48	ウィリアム・モリス	シーリング	1877年（登録）	77.5×56.0	ブロック・プリント1版
49	ウィリアム・モリス	ネットシーリング	1895年（印刷）	76.2×55.8	ブロック・プリント3版
50	ウィリアム・モリス	ダイアパー（幾何学模様）	1868-70年(デザイン、印刷)	82.75×51.5	ブロック・プリント2版
51	ウィリアム・モリス	ブランチ（枝）	1871年（印刷）	82.7×51.75	ブロック・プリント4版
52	ウィリアム・モリス	スクロール	1871年（印刷）	73.5×56.2	ブロック・プリント12版

53	ウィリアム・モリス	ラークスパー（ひえん草）	1872年（印刷）	82.75×52.0	ブロック・プリント1版
54	ウィリアム・モリス	ライト・ラークスパー（ひえん草）	1875年（印刷）	87.75×56.3	ブロック・プリント10版
55	ウィリアム・モリス	アカンサス	1875年（印刷）	71.0×57.0	ブロック・プリント30版
56	ウィリアム・モリス	エイコーン（どんぐり）	1879年（印刷）	75.0×57.0	ブロック・プリント1版
57	ウィリアム・モリス	サンフラワー（ひまわり）	1879年（印刷）	82.8×51.9	ブロック・プリント1版
58	ウィリアム・モリス	ピンク&ポピー（なでしことひなげし）	1880年（登録）	78.0×51.5	ブロック・プリント1版
59	ウィリアム・モリス	バード&アネモネ（小鳥とアネモネ）	1882年（登録）	73.8×56.0	ブロック・プリント1版
60	ウィリアム・モリス	ウィロー（柳）	1874年（印刷）	74.7×52.0	ブロック・プリント2版
61	ウィリアム・モリス	ウィロー・バウ（柳の枝）	1887年（印刷）	74.8×52.2	ブロック・プリント5版
62	ウィリアム・モリス	ノリッジ	1888年頃（印刷）	72.5×56.7	ブロック・プリント18版
63	ウィリアム・モリス	ヴァイン（ぶどうの木）	1873-74年（印刷）	93.1×55.4	ブロック・プリント7版
64	ウィリアム・モリス	アップル（りんご）	1877年（印刷）	66.0×55.5	ブロック・プリント3版
65	ウィリアム・モリス	グラフトン	1883年（印刷）	77.3×57.0	ブロック・プリント3版
66	ウィリアム・モリス	野生のチューリップ	1884年（印刷）	82.8×52.0	ブロック・プリント18版
67	ウィリアム・モリス	庭のチューリップ	1885年（印刷）	74.5×57.4	ブロック・プリント8版
68	ウィリアム・モリス	ハマースミス	1890年（印刷）	71.0×56.0	ブロック・プリント4版
69	ウィリアム・モリス	フローラ	1891年（印刷）	74.3×56.5	ブロック・プリント11版
70	ウィリアム・モリス	ピンパーネル（るりはこべ）	1876年（印刷）	74.7×57.2	ブロック・プリント11版
71	ウィリアム・モリス	秋の花々	1888年（印刷）	94.7×53.2	ブロック・プリント12版
72	ウィリアム・モリス	ジャスミン	1872年（印刷）	74.0×57.8	ブロック・プリント20版
73	ウィリアム・モリス	バウアー（あずまや）	1877年（印刷）	74.0×56.2	ブロック・プリント11版
74	ウィリアム・モリス	ブラックソーン（スピノサスモモ）	1892年（印刷）	59.0×57.0	ブロック・プリント23版
75	ウィリアム・モリス	ブリュージュ	1887年（印刷）	82.6×51.7	ブロック・プリント3版
76	ウィリアム・モリス	バチェラーズ・バトン（やぐるまぎく）	1892年（印刷）	75.0×55.8	ブロック・プリント3版
77	ウィリアム・モリス	春の茂み	1894年（印刷）	105.6×55.7	ブロック・プリント18版
78	ジョージ・ギルバート・スコット・ジュニア	インディアン（インド風）	1864-70年（印刷）	82.5×51.7	ブロック・プリント4版
79	ケイト・フォークナー	ループ・トレイル	1877年（登録、印刷）	82.4×51.8	ブロック・プリント2版
80	ケイト・フォークナー	マロウ（ぜにあおい）	1879年（印刷）	72.3×57.7	ブロック・プリント1版
81	ケイト・フォークナー	ブランブル（ブラックベリー）	1879年（印刷）	82.6×51.9	ブロック・プリント6版
82	ケイト・フォークナー	ブロッサム（花盛り）	1885年（印刷）	74.0×55.5	ブロック・プリント10版
83	メイ・モリス	ハニーサックル（すいかずら）	1883年（印刷）	101.4×55.7	ブロック・プリント8版
84	メイ・モリス	ホーン・ポピー（つのげし）	1885年（印刷）	70.8×57.3	ブロック・プリント3版
85	ジョン・ヘンリー・ダール	アイリス（あやめ）	1887年（印刷）	82.6×51.7	ブロック・プリント6版
86	ジョン・ヘンリー・ダール	ダブル・バウ（二重の枝）	1890-91年（印刷）	74.7×57.0	ブロック・プリント22版
87	ジョン・ヘンリー・ダール	グランヴィル	1896年（印刷）	80.3×55.5	ブロック・プリント11版
88	ジョン・ヘンリー・ダール	コンプトン	1896年（登録、印刷）	82.6×51.8	ブロック・プリント28版
89	ジョン・ヘンリー・ダール	ゴールデン・リリー（黄金のゆり）	1899年（印刷）	75.9×55.8	ブロック・プリント11版
90	ジョン・ヘンリー・ダール	ゴールデン・リリー（黄金のゆり、斑点の地）	1899年（印刷）	76.3×57.6	ブロック・プリント11版
91	ジョン・ヘンリー・ダール	レスター	1912年（印刷）	74.1×56.8	ブロック・プリント10版
92	ジョン・ヘンリー・ダール	ウッドランド・ウィード	1894年（印刷）	74.4×55.4	ブロック・プリント10版
93	ジョン・ヘンリー・ダール	シングル・ステム	1894年（印刷）	94.4×55.3	ブロック・プリント8版
94	ジョン・ヘンリー・ダール	フォーリッジ（群葉）	1899年（印刷）	73.8×57.5	ブロック・プリント12版
95	ジョン・ヘンリー・ダール	シーウィード（海藻）	1901年（印刷）	72.8×55.5	ブロック・プリント9版
96	ジョン・ヘンリー・ダール	アーティチョーク	1898-99年（印刷）	74.0×55.7	ブロック・プリント16版
97	ジョン・ヘンリー・ダール	オーチャード（果樹園）	1899年（印刷）	74.0×57.5	ブロック・プリント10版
98	ジョン・ヘンリー・ダール	ブラックベリー	1903年（印刷）	71.0×57.0	ブロック・プリント7版
99	ジョン・ヘンリー・ダール	マイケルマス・デイジー（うらぎく）	1912年（印刷）	57.9×55.5	ブロック・プリント2版
100	ジョン・ヘンリー・ダール	スイート・ブライヤー（野ばら）	1912年（印刷）	76.0×55.4	ブロック・プリント7版
101	ジョン・ヘンリー・ダール	ブレントウッド	1913年（印刷）	72.3×57.6	ブロック・プリント3版
102	ジョン・ヘンリー・ダール	バード&ポムグラナット（鳥とざくろ）	1926-27年（印刷）	75.5×57.3	ブロック・プリント14版
103	キャスリーン・カーシー	緑草	1913年（印刷）	84.0×56.0	ブロック・プリント1版
104	キャスリーン・カーシー	アービュタス（イチゴノキ）	1913年（印刷）	77.0×55.9	ブロック・プリント8版

第3章　アーツ・アンド・クラフツ運動　Chapter 3 Arts and Crafts

No.	作者	作品名	制作年	寸法（縦×横cm）	技法ほか
105	C・F・A・ヴォイジー	鳥とチューリップ	1895年（デザイン） 1920年代（印刷）	92.4×55.5	ブロック・プリント4版
106	C・F・A・ヴォイジー	サヴァリック	1896年頃	89.5×56.0	ブロック・プリント1版
107	C・F・A・ヴォイジー	地主の庭	1896年（デザイン） 1898年（印刷）	66.0×53.0	ローラー・プリント7版
108	C・F・A・ヴォイジー	スパーホーク（はいたか）	1898年頃	75.0×52.0	ブロック・プリント4版
109	C・F・A・ヴォイジー	オールドワース	1910年頃（デザイン） 1918年頃（印刷）	87.0×54.0	ブロック・プリント2版
110	ウォルター・クレイン	ライオンと鳩	1900年	69.5×84.5	ブロック・プリント12版
111	ウォルター・クレイン	オレンジの木	1902年（デザイン） 20世紀初期（印刷）	68.5×55.75	ブロック・プリント6版

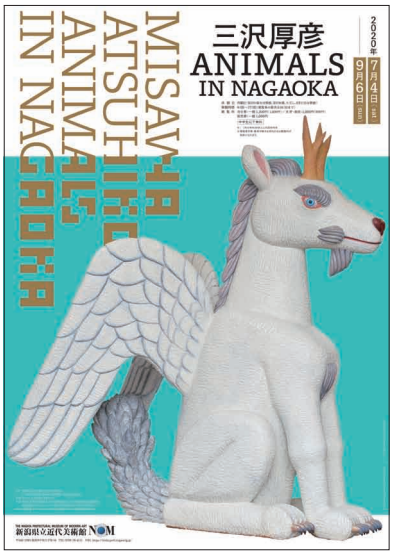
112	クリストファー・ドレッサー風	ポムグラナット（ざくろ）	1876年	85.5×53.2	ブロック・プリント5版
113	A・Fブロフィー（推定）	ポピー（けし）	1890年	60.0×39.0	ブロック・プリント4版
114	A・F・ヴィガーズ	モンクスフッド（とりかぶと）	1901年	51.5×75.0	ブロック・プリント6版
115	G・ヘイウッド・サムナー	アービュタス（イチゴノキ）	1899年（デザイン） 1929年以後（印刷）	75.0×55.75	ブロック・プリント1版
116	ドロシー・ヒルトン	オレンジとレモン	1902年頃	71.0×55.5	ローラー・プリント9版
117	ターナー	マートル（ぎんばいか）	1913年	52.5×51.0	ブロック・プリント2版
118	メトフォード・ウォーナー	オジェ（柳）	1924年	69.5×54.25	ブロック・プリント4版
119		フラックス（亜麻）	1880年頃	59.0×56.0	ブロック・プリント4版
120		デイジー（ひなぎく）	1885年頃	78.5×47.5	ブロック・プリント8版
121		衛生的な壁紙	1918年頃	56.0×50.5	ローラー・プリント8版
122		ペリ（ペルシャの妖精）	1885年頃	75.5×51.0	ブロック・プリント2版
123		エーデルワイス	1885年頃	78.7×50.0	ブロック・プリント1版
124		ロセッティ	1885年頃	壁紙74.5×51.0 フリーズ28.0×59.5	ブロック・プリント10版
125		クリサンセマム（きく）	1880-1900年	77.5×50.5	ブロック・プリント3版
126		アディソン	1885年頃	81.5×55.0	ブロック・プリント1版

参考作品

No.	作者	作品名	制作年	寸法（縦×横cm）	技法ほか
		《クリサンセマム（きく）》の版木	1877年	64.0×55.5×5.5 50.0×55.5×5.5 58.0×55.5×5.5 61.0×55.5×5.7 50.0×56.0×5.5 61.0×55.5×5.5 61.0×56.0×5.7	7ブロック
		《サンフラワー（ひまわり）》の版木	1879年（印刷）	53.0×58.0×5.5	1ブロック

特別展示　近代美術館のコレクションより

No.	作者	作品名	制作年	技法ほか
C-1	ジョン・エヴァレット・ミレイ	アリス・グレイの肖像	1859年	油彩、板
C-2	ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー	ロンドンのオールド・バターシー橋	1879年	エッチング、紙
C-6	ヴィクトリア・アンド・アルバート美術館	『生誕100年ウィリアム・モリス展覧会カタログ』	1934年	書籍
C-7	アーツ・カウンシル	『モリス商会　1861-1940』	1961年	書籍
C-3	ジョン・ラスキン	『近代画家論』	1880年頃（再版）	書籍
C-4	ジョン・ラスキン	『建築の七燈』	1849年（初版）	書籍
C-5	ジョージアーナ・バーン＝ジョーンズ	『バーン＝ジョーンズ回想記』（合本）	1906年頃	書籍
C-8	オーブリー・ビアズリー	『イエロー・ブック』1～4巻	1894/95年	書籍
C-9	エドゥアール・ヴュイヤール	風景と室内	1896-99年	リトグラフ、紙
		6 バラ色の壁紙のある室内Ⅰ		
		7 バラ色の壁紙のある室内Ⅱ		
		8 バラ色の壁紙のある室内Ⅲ		
		13 義理の姉妹		
C-10	フェリックス・ヴァロットン	小さな浴女たち	1893年	木版、紙
		1 すわる二人の浴女		
		2 水に入る		
		3 草の上に横たわる浴女		
		4 水から上がる		
		5 下着姿の女の子ふたり		
		6 下着を脱ぐ女の子		
		7 太陽のもとで遊ぶ		
		8 風に驚く浴女たち		
		9 子供のいる浴女		
		10 白鳥と浴女		
C-11	フェリックス・ヴァロットン	怠惰	1896年	木版、紙
C-12	ポール・エリー＝ランソン	収穫する7人の女	1895年	膠絵、キャンバス



三沢厚彦 ANIMALS IN NAGAOKA

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、開催中止とした。

【趣　旨】

現代を代表する彫刻家の一人、三沢厚彦（1961-　）。2000年から手掛ける、様々な動物をモチーフに、樟を等身大に彫り出した代表的シリーズ「ANIMALS」を中心に、最新作を含む彫刻と、絵画等を一堂に展示する。また、当館コレクションと三沢氏のコレクションによるコラボレーションも実施、美術館の空間全体で三沢ワールドを展開する。

【当初予定した開催日・その他】

＝2020年7月4日㈯～9月6日㈰（57日間）＝

休館日：7月6日㈪、7月13日㈪、7月20日㈪、7月27日㈪、8月3日㈪、8月17日㈪、8月24日㈪、8月31日㈪

主　催：新潟県立近代美術館、TeNYテレビ新潟、三沢厚彦展新潟実行委員会、読売新聞社、美術館連絡協議会

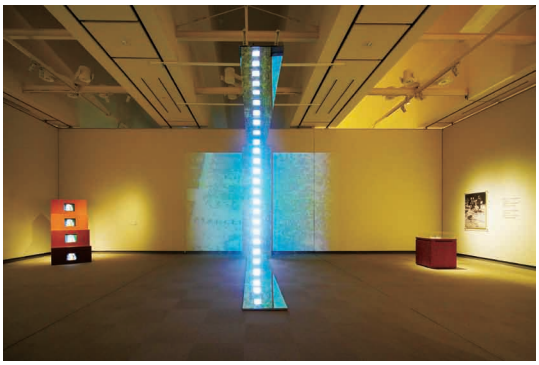
協　賛：ライオン、大日本印刷、損保ジャパン

後　援：長岡市、長岡市教育委員会、新潟市教育委員会、（公財）長岡市芸術文化振興財団、長岡新聞社、ＮＣＴ、エフエムラジオ新潟、FMながおか80.7

協　力：西村画廊、アニマルハウス、山口製材、長岡造形大学、新潟県立美術館友の会

観覧料：一般 …… 1,200円（1,000円）〈1,000円〉
大学・高校生 …… 1,000円（800円）
※中学生以下無料
※（　）内は有料20名以上の団体料金
※〈　〉は前売券料金

担当　伊澤朋美



© Estate of Shigeko Kubota

Viva Video! 久保田成子展

【趣　旨】

本県出身作家で、国際的に活躍した久保田成子の没後初、日本では約30年ぶりの個展。新潟県内では初めての作品展示となった。代表作のヴィデオ彫刻、映像作品、ドローイングやアーカイヴ資料などにより、久保田の仕事を多角的に紹介した。

【総　括】

●評価すべき点

・令和３年度まで継続のため、同年度年報に掲載

●検討課題

・令和３年度まで継続のため、同年度年報に掲載

【開催日・その他】

=2021年３月20日(土･祝)～３月31日㈬（10日間)=

※全体会期は３月20日(土･祝)～６月６日㈰（69日間）

主　催：新潟県立近代美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会、TeNYテレビ新潟

共　催：ライオン、DNP大日本印刷、損保ジャパン

協　力：新潟県立美術館友の会、長岡市立中央図書館

後　援：新潟市、長岡市、長岡新聞社、NCT、エフエムラジオ新潟、FMながおか80.7、新潟日米協会、新潟日独協会

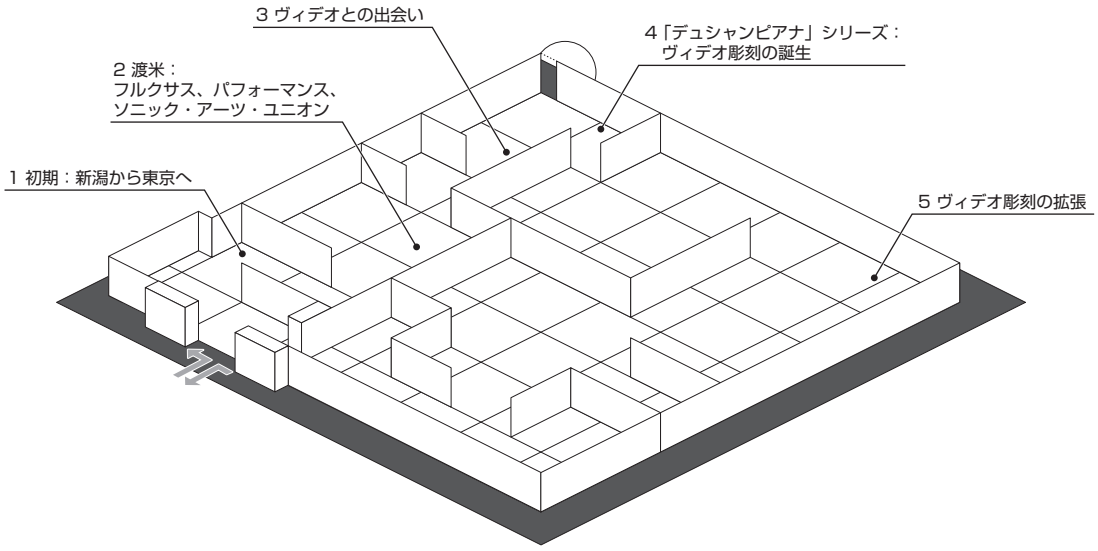
助　成：テラ・アメリカ美術基金（Terra Foundation for American Art)、文化庁・令和２年度文化庁優れた現代美術の国際発信促進事業、公益財団法人ポーラ美術振興財団、公益財団法人三菱UFJ信託地域文化財団、公益財団法人野村財団

観覧料：一般……1,000円（800円）

大学・高校生……800円（600円）

※中学生以下無料

※（　）内は有料20名以上の団体料金



【関連行事】

・学芸員によるギャラリートーク
3月28日㈰14:00～15:00　担当：濱田真由美（当館主任学芸員）　参加者数：15名

【関連記事】

・令和３年度まで継続のため、同年度年報に掲載

【観覧者数】

※3/20～3/31

有料観覧者数	当日	317
	前売	－
無料観覧者数	招待	158
	無料	157
	免除	53
総観覧者数		685
有料率（%）		46.3

担当　濱田真由美

© Estate of Shigeko Kubota

【出品リスト】

作品名	制作年	所蔵
1 初期：新潟から東京へ		
《メタ・マルセル：窓（雪）》	1976-77/2019	久保田成子ヴィデオ・アート財団蔵
《向日葵》	1954	個人蔵
1954年のスケッチブック	1954頃	個人蔵
《首A》（第22回新制作協会展出品作）	1958	久保田成子ヴィデオ・アート財団所蔵資料より複製
《死石5》（第25回新制作協会展出品作）	1961	個人蔵
《死石T》を制作する久保田成子	1962頃	久保田成子ヴィデオ・アート財団所蔵資料より複製
《死石T》（第26回新制作協会展出品作）	1962	久保田成子ヴィデオ・アート財団所蔵資料より複製
アルバムより　高橋清アトリエにて	1957	久保田成子ヴィデオ・アート財団所蔵資料より複製
アルバムより　教育大学山岳部	1956	久保田成子ヴィデオ・アート財団所蔵資料より複製
[題不詳]（トルソ）	1956頃	個人蔵
「第15回日本アンデパンダン展（読売アンデパンダン展）」出品作品 《We can make it》《Suddenly》	1963	個人蔵
久保田成子から瀧口修造宛て封書（1963年11月26日消印） [同年12月内科画廊での久保田成子個展の案内状、写真、略歴、自筆手紙]		慶應義塾大学アート・センター蔵
「1st. LOVE, 2nd. LOVE... 久保田成子彫刻個展」会場風景	1963	個人蔵
アルバムより　叔母、邦千谷と	1956	久保田成子ヴィデオ・アート財団所蔵資料より複製
「Sweet 16」リーフレット	1963	刀根康尚氏蔵
久保田の叔母、邦千谷（邦千谷舞踊研究所）	不明	個人蔵
「白南準作品発表会」リーフレット、チケット	1964	西山輝夫氏蔵
平田実 《ナムジュン・パイク「白南準作品発表会」》	1964/2011	東京都現代美術館蔵
城之内元晴 《シェルタープラン》	1964	東京都現代美術館蔵 協力：城之内美稲子氏
ハイレッド・センター 《「シェルター計画」より「シェルター模型（川仁宏）」》	1964	東京国立近代美術館蔵
ハイレッド・センター 《「シェルター計画」より「人体展開図写真（風倉匠）」》	1964	東京国立近代美術館所蔵作品より複製
ハイレッド・センター《「シェルター計画」カルテ（久保田成子）》	1964	個人蔵
「OFF MUSEUM」ポスター	1964	東京都現代美術館蔵
「OFF MUSEUM」紹介記事『美術ジャーナル』第49号	1964	東京都現代美術館図書室蔵
平田実 《刀根康尚「インヴェスティゲイション・イヴェント」》	1964/2011	東京都現代美術館蔵
2 渡米：フルクサス、パフォーマンス、ソニック・アーツ・ユニオン		
久保田成子からジョージ・マチューナスへの手紙	1964	ニューヨーク近代美術館所蔵資料より複製
《フルクサス・スーツケース》	1964	久保田成子ヴィデオ・アート財団蔵
《ふたつ目のジョージ・マチューナス 1972年、ひとつ目のジョージ・ マチューナス 1976年》	1994	映像提供：エレクトロニック・アーツ・ インターミックス（EAI）
ジョージ・マチューナス、フランチェスコ・コンツと久保田成子 （久保田とパイクのロフトにて）　撮影：ベアテ・ニッチュ	1974	個人蔵
グッゲンハイム美術館のベン・ヴォーティエ展オープニングにて（1972年） 撮影：久保田成子	1995	個人蔵
ヨーコ・オノ《グレープフルーツ》	1964	東京都現代美術館蔵
小野洋子から久保田成子への献辞 （ヨーコ・オノ《グレープフルーツ》に記載）	1964	久保田成子ヴィデオ・アート財団所蔵資料より複製
塩見允枝子《スペイシャル・ポエム》No.5招待状	1972	国立国際美術館蔵
塩見允枝子《スペイシャル・ポエム》No.5への久保田成子の返答	1972	国立国際美術館蔵
塩見允枝子《スペイシャル・ポエム》	1976	新潟県立近代美術館蔵
「ハイレッド・センター：イヴェント集」 編集：久保田成子　デザイン・製作：ジョージ・マチューナス	1965	西山輝夫氏蔵
《フルックス・ナプキン》 （「フルクサスⅠ」に所収）	1965	国立国際美術館蔵
《フルックス・メディシン》 （「フルックスキット」に所収）	1966	東京都現代美術館蔵
「フルックス・オーケストラ」ポスター	1965	国立国際美術館蔵
「永続的なフルックス・フェスト」（フルクサス新聞No.6）	1965	東京都現代美術館蔵
「永続的なフルックス・フェスト」（フルクサス新聞No.5）	1965	東京都現代美術館蔵
1965年夏のフルックス・フェストより 1．久保田成子：ヴァギナ・ペインティング（フルクサス新聞No.7）	1966	東京都現代美術館蔵

《ヴァギナ・ペインティング》宣伝用写真 撮影：ピーター・ムーア	1964	久保田成子ヴィデオ・アート財団所蔵資料より複製
《ヴァギナ・ペインティング》 撮影：ジョージ・マチューナス	1965/1996	ハリー・ルーエ/ギャラリー A（アムステルダム）蔵
エリック・アンダーセン《OPUS45》に参加する久保田成子 撮影：ピーター・ムーア	1965	エリック・アンダーセン氏資料より複製
キャロリー・シュニーマン 《スノーズ》	1967	映像提供：エレクトロニック・アーツ・ インターミックス（EAI）
キャロリー・シュニーマン《スノーズ》チラシ	1967	キャロリー・シュニーマン財団提供画像より複製
キャロリー・シュニーマン《スノーズ》に参加する久保田成子 撮影：シャルロッテ・ヴィクトリア、バッジャーニ、 アレック・ソベレウスキー、ハーバート・マイアガール	1967	個人蔵
ソニック・アーツ・ユニオン関連資料	1967-69	メアリー・ルシエ氏所蔵資料よりスライドショー
メアリー・ルシエ 《ポラロイド・イメージ・シリーズ：シゲコ》 アルヴィン・ルシエによる《私は部屋に座っている》を伴う	1970/2006	作家蔵

3 ヴィデオとの出会い		
携帯用ヴィデオカメラ「ビデオ・デンスケ SONY DVC-2400」 （ポータパック）	1967	ソニー株式会社蔵
スタジオでの久保田成子 撮影：トム・ハール	1972	個人蔵
久保田成子から宮澤壯佳へのポストカード （1972年5月5日、ブレーメンから）		宮澤依子氏蔵
久保田成子から阿部修也へのポストカード （1972年6月2日、ニースから）		東京都現代美術館蔵
ヴェネツィアでの久保田成子	1972頃	個人蔵
「久保田成子：ライヴとヴィデオテープによるコンサート」ポスター	1972	久保田成子ヴィデオ・アート財団所蔵資料より複製
「久保田成子：ライヴとヴィデオテープによるコンサート」 撮影：ピーター・ムーア	1972	個人蔵
ナムジュン・パイク「エレクトロニック／アートIII：シャーロット・モーマンとパイクーアベ・ヴィデオ・シンセサイザー」での久保田とパイク 撮影：トム・ハール	1971	個人蔵
《ブロークン・ダイアリー：ヴィデオ・ガールズとナヴァホの空のための ヴィデオ·ソング》	1973	映像提供：エレクトロニック・アーツ・ インターミックス（EAI）
「久保田成子によるジョン・ケージの（60歳の）ヴィデオ・バースデー・ パーティー」ポスター	1972	個人蔵
「デイリー・パフォーマンス：久保田成子　ヴィデオテープ」ポスター	1972	個人蔵
「第2回ヴィデオ・アーツ・フェスティヴァル：久保田成子」ポスター	1973	メアリー・ルシエ氏所蔵資料より複製
「ホワイト、ブラック、レッド、イエロー」ポスター デザイン：久保田成子	1972	メアリー・ルシエ氏所蔵資料より複製
「レッド、ホワイト、イエロー、ブラック：マルチメディア・コンサート」 ポスター デザイン：メアリー・ルシエ	1973	メアリー・ルシエ氏所蔵資料より複製
メアリー・ルシエ 《シゲコのヴィデオ・マリリン》	1973/2021	作家蔵
《ブロークン・ダイアリー：ヨーロッパを一日ハーフインチで》	1972	映像提供：エレクトロニック・アーツ・ インターミックス（EAI）
《ブロークン・ダイアリー：私のお父さん》	1973-75	映像提供：エレクトロニック・アーツ・ インターミックス（EAI）
「第9回ニューヨーク・アヴァンギャルド・フェスティヴァル」における 久保田成子と作品	1972	メアリー・ルシエ氏所蔵資料より複製
アンソロジー・フィルム・アーカイヴズ関連資料	1974	個人蔵
アンソロジー・フィルム・アーカイヴズでの久保田成子 撮影：ハリス・メルトン	1974	個人蔵
「ヴィデオ開かれた回路」『芸術倶楽部』（第9号）	1974	国立国際美術館蔵
“Open Circuits: The Future of Television”（『The New Television』より）	1974	国立国際美術館蔵
「トーキョー・ニューヨーク・ビデオ・エキスプレス」チラシ（複写）	1974	協力：プロセスアート、イメージフォーラム

4「デュシャンピアナ」シリーズ：ヴィデオ彫刻の誕生		
《ヴィデオ・ポエム》	1968-76/2018	久保田成子ヴィデオ・アート財団蔵
マルセル・デュシャンによるサインのある『美術手帖』（1968年3月号） （複製写真）	撮影：1990	個人蔵

久保田成子「晩年のデュシャンとチェス・ゲーム」『美術手帖』（1969年11月号）		新潟県立近代美術館蔵
『マルセル・デュシャンとジョン・ケージ』	1970	新潟県立近代美術館・万代島美術館蔵
『マルセル・デュシャンとジョン・ケージ』のための写真原版	1970	宮澤依子氏蔵
ティニー・デュシャンから宮澤壯佳への書簡	1970	宮澤依子氏蔵
《マルセル・デュシャンとジョン・ケージ》	1968	久保田成子ヴィデオ・アート財団所蔵資料より複製
《デュシャンピアナ：ヴィデオ・チェス》	1968-75	久保田成子ヴィデオ・アート財団蔵
《デュシャンピアナ：マルセル・デュシャンの墓》	1972-75/2019	久保田成子ヴィデオ・アート財団蔵
《デュシャンピアナ：階段を降りる裸体》	1975-76/1983	富山県美術館蔵
《メタ・マルセル：窓（三つのテープ）》	1976-83/2019	富山県美術館蔵
《デュシャンピアナ：ドア》	1976-77	久保田成子ヴィデオ・アート財団蔵
《デュシャンピアナ：自転車の車輪1, 2, 3》	1983-90	公益財団法人アルカンシエール美術財団／原美術館コレクション蔵
ドローイング[3 Speed Bicycle]	1977	久保田成子ヴィデオ・アート財団蔵
「若い世代の一断面」『Art in America』（1977年9・10月号）		個人蔵
「久保田成子 3ヴィデオ・スカルプチャー：デュシャンピアナ 」個展案内ハガキ	1976	個人蔵
「久保田成子 4ヴィデオ・スカルプチャー：デュシャンピアナ」個展チラシ	1978	個人蔵
ホイットニー美術館「ヴィデオ・アート：エクスパンディッド・フォーム」展カタログ	1988	個人蔵
原美術館「久保田成子：ヴィデオ・インスタレーション」案内状	1992	個人蔵
安齊重男《久保田家　軽井沢》	1981	国立国際美術館蔵
安齋重男《ヴェネチア・ビエンナーレ展示風景》	1990	国立国際美術館蔵

5 ヴィデオ彫刻の拡張		
《三つの山》	1976-79/2020	久保田成子ヴィデオ・アート財団蔵
ドローイング[Autobiographical Landscape]	制作年不詳	久保田成子ヴィデオ・アート財団蔵
ドローイング[My Father’s Country]	1978	久保田成子ヴィデオ・アート財団蔵
ドローイング[Three Mountains for Whitney]	1978	久保田成子ヴィデオ・アート財団蔵
ドローイング[Study of River]	1979	久保田成子ヴィデオ・アート財団蔵
ドローイング[River of Blood]	1980	久保田成子ヴィデオ・アート財団蔵
ドローイング[River of Blood]	1980	久保田成子ヴィデオ・アート財団蔵
『Art in America』（1984年2月号）表紙（《河》掲載）		新潟県立近代美術館蔵
《河》	1979-81/2020	久保田成子ヴィデオ・アート財団蔵
1. 実現しなかった作品の構想図 2. ヴィデオ・ダイアリーのための構想図	1977 1979	久保田成子ヴィデオ・アート財団蔵資料より スライドショー
ドローイング[Berlin Video Diary]	1979	久保田成子ヴィデオ・アート財団蔵
《ヴィデオ俳句―ぶら下がり作品》	1981	久保田成子ヴィデオ・アート財団蔵
《ナイアガラの滝》	1985/2021	久保田成子ヴィデオ・アート財団蔵
《ブロークン・ダイアリー：ソーホー・ソープ／雨の被害》	1985	映像提供：エレクトロニック・アーツ・インターミックス（EAI）
《ナイアガラの滝》ドローイング	1985	久保田成子ヴィデオ・アート財団所蔵資料より複製
「ブロークン・ダイアリー：ソーホー・ソープ／雨の被害、ソーホー・アーティストの共同住宅」個展案内ハガキ	1986	由本みどり氏蔵
「ヴィデオ・インスタレーション：ナイアガラの滝」個展案内ハガキ	1985	個人蔵
《ブロークン・ダイアリー：韓国への旅》	1984	映像提供：エレクトロニック・アーツ・インターミックス（EAI）
《スケート選手》	1991-92	久保田成子ヴィデオ・アート財団蔵
ナムジュン・パイク、久保田成子《パイクによるマースによるマース　パート2：マースとマルセル》	1978	映像提供：エレクトロニック・アーツ・インターミックス（EAI）
《韓国の墓》	1993	久保田成子ヴィデオ・アート財団蔵
「久保田成子：セクシュアル・ヒーリング」個展案内ハガキ	2000	個人蔵
「久保田成子：ナムジュン・パイクとの人生」個展案内状	2007	個人蔵
パイクから成子への手紙（複写）	2001	個人蔵
《セクシュアル・ヒーリング》	1998	映像提供：エレクトロニック・アーツ・インターミックス（EAI）
吉原悠博《River：ある前衛芸術家の形見》	2021	作家蔵

共　催　展

第75回新潟県美術展覧会長岡展

新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を踏まえ、中止した。

【当初予定した開催日・その他】

=2020年6月10日㈬～6月14日㈰=

主　　催：新潟日報社、新潟日報美術振興財団、新潟県、新潟県教育委員会、新潟市、長岡市、上越市教育委員会、佐渡市教育委員会、胎内市教育委員会

後　　援：新潟市教育委員会、長岡市教育委員会、上越市、佐渡市、胎内市、新潟県文化振興財団

特別協賛：東北電力グループにいがた

観 覧 料：一般500円、大学生以下無料

担当：山本未知雄

第51回新潟県ジュニア美術展覧会長岡展

【趣旨及び総括】

感性豊かな子どもの育成と美術振興をねらいとして継続している全県規模のコンクールである。今回は県内552の幼稚園・保育園、小・中学校などから25,262点の応募があった。９名の審査員により選ばれた2,060点を新潟市、長岡市、柏崎市、上越市の４会場に巡回展示した。

長岡展会場である当館には、８日間の会期中に1,163名の入場があり、家族で美術鑑賞を楽しむ場となった。

【開催日・その他】

会　場：新潟展　2020年11月28日㈯～12月13日㈰
新潟日報メディアシップにて
長岡展　2021年１月６日㈬～１月14日㈭
新潟県立近代美術館にて
柏崎展　2021年１月19日㈫～１月24日㈰
柏崎市立図書館にて
上越展　2021年１月28日㈭～２月１日㈪
上越市市民プラザにて

主　催：新潟日報社、新潟県教育委員会、新潟県立近代美術館、新潟県美術教育連盟、新潟市教育委員会、長岡市教育委員会、上越市教育委員会、柏崎市教育委員会

後　援：新潟日報美術振興財団

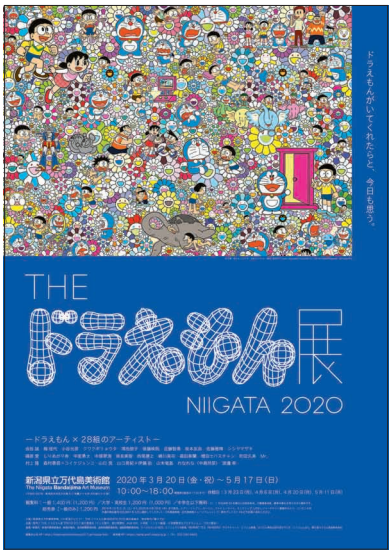
観覧料：無料

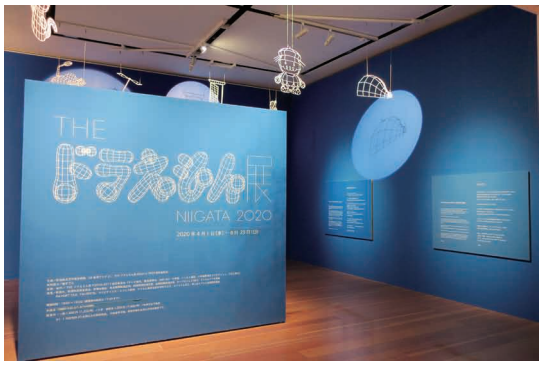
審査員（敬称略）

幼稚園・保育園	五十嵐史帆（上越教育大学教授）
特別支援学校	結城　和廣（長岡造形大学元教授）
小学校１年	松本　健義（上越教育大学教授）
小学校２年	田中　咲子（新潟大学准教授）
小学校３年	丹治　嘉彦（新潟大学教授）
小学校４年	林　　耕史（群馬大学教授）
小学校５年	柳沼　宏寿（新潟大学教授）
小学校６年	佐藤　哲夫（新潟大学教授）
中学校１～３年	阿部　靖子（上越教育大学教授）

担当　山本未知雄

企　画　展





THE ドラえもん展 NIIGATA 2020

【趣　旨】

1970年の連載開始以来、日本中に夢を届けてきたドラえもん。展覧会では、国内外で活躍する28組のアーティストたちに、「あなたのドラえもんをつくってください」と依頼し、様々な発想や技法によって生み出された作品を紹介した。

【総　括】

●評価すべき点

・新型コロナウイルス感染症拡大下、感染症対策を講じつつ、２度の臨時休館と会期延長を経ながらも、美術鑑賞の機会を減じることなく提供した。

・試行錯誤しながら実施した感染症対策が、その後の館の指針として役立てることにつながった。

●検討課題

・感染症対策としての検温や入場制限への対応は職員への負担が大きく他の業務にも影響を及ぼした。

・入場制限と誘客という二律背反した広報の有効的な在り方を見いだせていない。

【開催日・その他】

=2020年４月１日㈬～８月23日㈰(109日間)=

[当初の開催日]

=2020年３月20日(金･祝)～５月17日㈰(55日間)=

[1度目の会期延長]

=４月１日㈬～６月７日㈰(64日間)=

[臨時休館]　３月20日(金･祝)～３月31日㈫/ ４月18日㈯～５月10日㈰

休館日：４月６日㈪、４月20日㈪、５月11日㈪、５月25日㈪、６月８日㈪、６月15日㈪、６月22日㈪、６月29日㈪、７月６日㈪、７月13日㈪、７月20日㈪、７月27日㈪、８月３日㈪、８月17日㈪

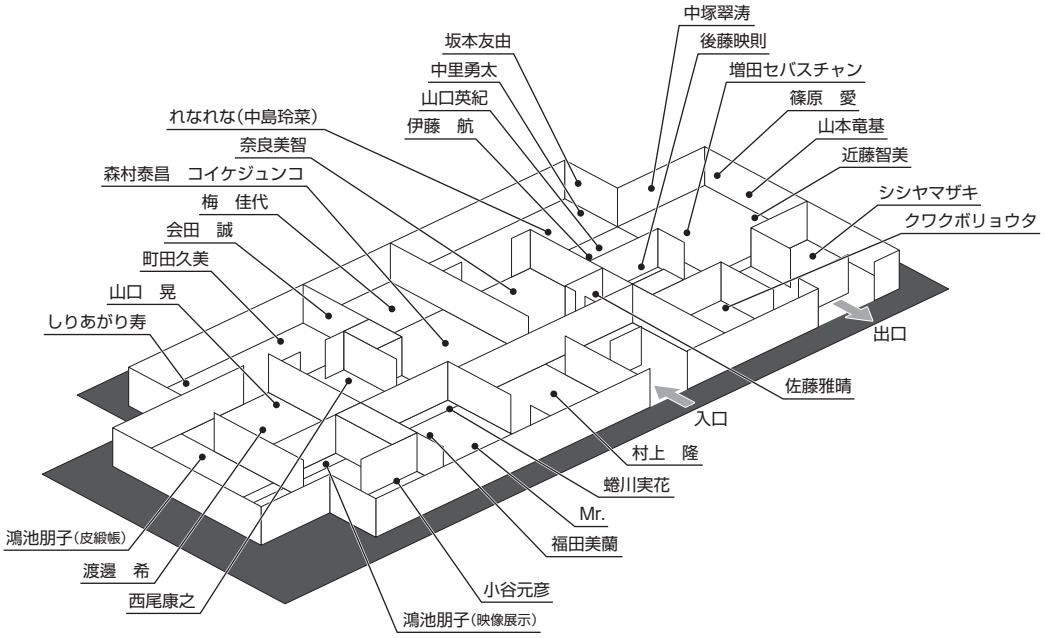
主　催：新潟県立万代島美術館、UX新潟テレビ21、THEドラえもん展 NIIGATA 2020 実行委員会

特別協力：藤子プロ

企画・制作：THE ドラえもん展 TOKYO 2017 実行委員会（テレビ朝日、朝日新聞社、ADK EM、小学館、シンエイ動画、小学館集英社プロダクション、乃村工藝社）

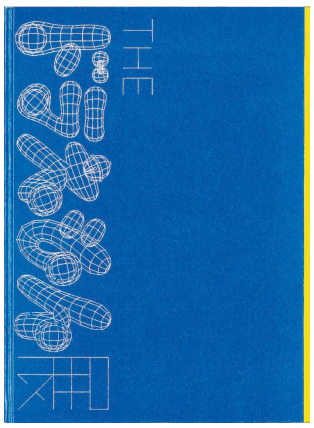
後　援：新潟市、新潟市教育委員会、新潟日報社、読売新聞新潟支局、産経新聞新潟支局、ケーブルテレビNCV、エフエムラジオ新潟、FM PORT 79.0、FM KENTO、ラジオチャット・エフエム新津、エフエム角田山ぽかぽかラジオ、エフエムしばた、燕三条エフエム放送株式会社

観覧料：一般……1,400円（1,200円）〈1,200円〉
大学・高校生……1,200円（1,000円）
※中学生以下無料
※（　）内は有料20名以上の団体料金
※〈　〉は前売券料金



【図　録】

仕　様：247×185mm　209頁
漫画・キャラクター原作：藤子・F・不二雄
編　集：小学館ドラえもんルーム
ブックデザイン：吉岡秀典（セプテンバーカウボーイ）
ロゴデザイン：サン・アド
構成・執筆：上條佳子、鈴木利奈（小学館クリエイティブ）、
　　尾関友詩（ユークラフト）
写　真：宮島径、タナカヨシトモ、北村瑞斗、五十嵐美弥（小
　　学館）、田中麻以（小学館）、黒石あゆ（小学館）
特別協力：藤子プロ
発　行：小学館
印　刷：大日本印刷
製　本：若林製本工場
表紙箔押：金栄堂



内　容：ごあいさつ
ドラえもん、現代美術、そして日本美術史／山下裕二
巻頭特別対談　アーティスト　村上隆×藤子プロ社長
　伊藤善章
巡回予定
１　ドラえもん作品図版
「ドラえもん」の歩み（１）
２　「映画」ドラえもん作品図版
「ドラえもん」の歩み（２）
映画ドラえもんALLカタログ
作家紹介
巻末特別鼎談　しりあがり寿×山下裕二×西尾康之
Special Edition 藤子・F・不二雄の世界
藤子・F・不二雄ヒストリー
藤子・F・不二雄代表作
出展一覧
特別付録１　原作コミックス「ロボットがほめれば…」
藤子・F・不二雄
特別付録２　組み立て付録ひょうろんロボットの組み
立てかた
特別付録２　組み立て付録ひょうろんロボット

【関連記事】

●新聞

4月2日㈭　新潟日報

「安心な鑑賞へ検温実施　新潟「ドラえもん展」始まる」

その他　読売新聞（4/10）

●雑誌

マーメイド　2020年5月号

「はる tabi新潟編」「美術館でドラえもんの世界を堪能！」

月刊ウインド　2020年6月号

「感想　万代島美術館　THE ドラえもん展 NIIGATA 2020」

月刊カーサ　ブルータス　2020年6月号

「日本の現代アートまとめ。」「ドラえもんとアート。」

●テレビ

7月10日㈮　UX新潟テレビ21

「ナマ＋トク」／澤田佳三

●ラジオ

3月6日㈮　ラジオモンスター（山形コミュニティ放送）

「モンブラン」／澤田佳三

4月13日㈪　FM PORT

「Mintフレーバー」／澤田佳三

【観覧者数】

有料観覧者数	当日	23,053
	前売	2,656 ※払戻し69を除く
無料観覧者数	招待	1,679
	無料	12,228
	免除	1,563
総観覧者数		41,179
有料率（%）		62.4

担当　澤田佳三

【出品リスト】

No.	作家名	作品名	制作年	素材・技法
1	会田誠	キセイノセイキ～空気～	2017年	アクリル、油彩、キャンヴァス
2	梅佳代	私の家のドラえもんの写真	2001-2013年	タイプ C プリント
3	小谷元彦	救世銅鑼ェ門	2017年	FRP、ウレタンフォーム、木材、鉄、動物の毛、銀ほか
4	鴻池朋子	しずかちゃんの洞窟	2017年	牛皮、毛皮、水性クレヨン
5	鴻池朋子	ドラえもんの歌 on 森吉山	2017年	映像
6	佐藤雅晴	かくれんぼ	2017年	シングルチャンネル・ビデオ、歌声：二階堂和美
7	しりあがり寿	万事解決！劣化防止スプレーの巻	2017年	映像
8	奈良美智	依然としてジャイアンにリボンをとられたままのドラミちゃん@真夜中	2017年	アクリル、キャンヴァス
9	奈良美智	ヤンチャモン	2017年	鉛筆、紙
10	奈良美智	真夜中の猫型ロボットのためのスケッチ	2017年	鉛筆、紙
11	奈良美智	練習	2017年	鉛筆、紙
12	奈良美智	ジャイアンにリボンをとられたドラミちゃん	2002年	アクリル、キャンヴァス
13	奈良美智	ドラミちゃんのためのスケッチ	2002年	色鉛筆、紙
14	奈良美智	真夜中のネコ型ロボット	2002年	アクリル、紙
15	奈良美智	Untitled	2002年	（立体）
16	西尾康之	OPTICAL APPARITION	2017年	樹脂石膏、陰刻鋳造、3DCG
17	蜷川実花	ドラちゃん 1 日デートの巻 2017	2017年	（写真）
18	蜷川実花	ドラちゃん 1 日デートの巻	2002年	（写真）
19	福田美蘭	波上群仙図	2017年	アクリル、パネル
20	福田美蘭	レンブラントーパレットを持つ自画像ー	2002年	アクリル、布、デジタルグラフ印刷、パネル
21	町田久美	星霜	2017年	岩絵具、顔料、墨、金泥、金箔、銀箔、金属箔、鉛筆、油性色鉛筆、高知和紙
22	Mr.	重力ちょうせつ機	2017年	アクリル、キャンヴァス
23	村上隆	あんなこといいな　出来たらいいな	2017年	アクリル、金箔、プラチナ箔、アルミフレーム、綿布
24	村上隆	ぼくと弟とドラえもんとの夏休み	2002年	アクリル、キャンヴァス
25	森村泰昌、コイケジュンコ	Ji-Ku-Mo-Ko プロジェクト「空を越えるドラス」	2017年	（写真）／（衣装ほか）紙、フェイクファー、彫刻、塗装、発泡スチロール、ウレタン樹脂、木材、ラッカー塗料
26	森村泰昌、コイケジュンコ	Ji-Ku-Mo-Ko プロジェクト「時を駈けるドラス」	2017年	（写真）／（衣装ほか）紙、フェイクファー、彫刻、塗装、発泡スチロール、ウレタン樹脂、木材、ラッカー塗料
27	森村泰昌＆ザ・モーヤーズ	ドラス	2002年	（写真）／（衣装）カシミヤ、ポリウレタン
28	山口晃	ノー・・アイテム・デー	2017年	墨、ペン、和紙
29	渡邊希	タイムドラベル	2017年	漆、麻布、乾漆
30	渡邊希	3D	2017年	漆、麻布、乾漆
31	クワクボリョウタ	鈴と太陽～ひみつ道具博物館～	2017年	鉄道模型、LED、日用品ほか
32	後藤映則	超時空間	2017年	ナイロン、プロジェクション
33	近藤智美	ときどきりくつにあわないことをするのが人間なのよ	2017年	油彩、アクリル、パネル
34	坂本友由	僕らはいつごろ大人になるんだろう	2017年	アクリル、キャンヴァス
35	シシヤマザキ	(Pink) Dust In The Wind ～すべては（ピンクの）もやの中に	2017年	デジタルペイント、ロトスコープ
36	篠原愛	To the Bright ～のび太の魔界大冒険～	2017年	油彩、キャンヴァス
37	中里勇太	選んだゆめときぼう	2017年	彩色、樟
38	中塚翠涛	光と影	2017年	墨、アクリル、ペン、和紙に染め刷り
39	中塚翠涛	楽えもん	2017年	墨、和紙
40	増田セバスチャン	さいごのウエポン	2017年	木材、布、綿、プラスティック、毛糸
41	山口英紀	ドラえもん ひみつ道具図典～タケコプター～	2017年	水墨、和紙
42	山口英紀	ドラえもん ひみつ道具図典～自動万能工事マシン～	2017年	水墨、和紙
43	伊藤航	ドラえもん ひみつ道具図典～タケコプター～	2017年	ケント紙
44	伊藤航	ドラえもん ひみつ道具図典～自動万能工事マシン～	2017年	ケント紙
45	山本竜基	山本空間に突入するドラえもんたち	2017年	アクリル、キャンヴァス
46	れなれな（中島玲菜）	静かな決意	2017年	白チョーク、スフマート技法、空気遠近法に基づいた白墨画、黒板

デザインあ展 in NIIGATA

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を見送った。本展は来館者が触れて、楽しみ、学ぶ「体験型」の展覧会であり、感染症対策が十分に取れないため、来館者の安全と健康を最優先し、止むを得ず中止を決定した。

なお、開催中止となった期間について、「THE ドラえもん展 NIIGATA 2020」（4月1日～）の会期を混雑緩和のため8月23日まで延長した。

【趣　旨】

NHK Eテレ「デザインあ」（2011年～）の番組コンセプトをインタラクティヴな体験の場に発展させた展覧会。グラフィックデザイナー・佐藤卓氏が総合ディレクターを務め、「みる」「考える」「つくる」をキーワードに、番組制作に携わるアーティストらが展示構成を手がけた。2013年東京で開催された前回展から作品を一新、2018年富山県美術館から巡回を開始し、東京、山梨、熊本、滋賀、長崎（中止）に次ぐ7会場目となる予定だった。

【当初予定した開催日・その他】

=2020年7月11日㈯～9月22日(火･祝)(70日間)=

休館日：7月13日㈪、8月3日㈪、8月31日㈪、9月7日㈪

主　催：新潟県立万代島美術館、NHK新潟放送局、NHKエデュケーショナル、NHKプロモーション

後　援：新潟市、新潟市教育委員会、新潟県小学校長会、新潟県中学校長会、新潟県特別支援学校長会、新潟県高等学校長協会、新潟日報社、朝日新聞新潟総局、毎日新聞新潟支局、読売新聞新潟支局、産経新聞新潟支局、ケーブルテレビNCV、エフエムラジオ新潟、FM KENTO、ラジオチャット・エフエム新津、エフエム角田山ぽかぽかラジオ、エフエムしばた、燕三条エフエム放送

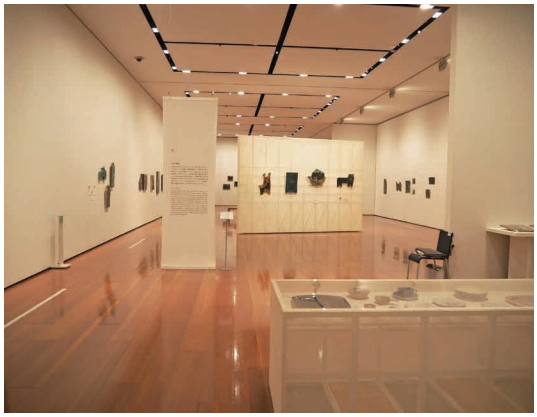
機材協力：ジャパンマテリアル株式会社、フォステクスカンパニー

映像協力：TYO/モンスター

資材協力：ステッドラー日本株式会社

観覧料：一般……1,300円（1,100円）〈1,100円〉
大学・高校生……1,100円（900円）
※中学生以下無料
※（　）内は有料20名以上の団体料金
※〈　〉内は前売券料金

担当　長嶋圭哉



ルート・ブリュック　蝶の軌跡

【趣　旨】

フィンランドの名窯・アラビア製陶所の所属アーティストとして約50年間にわたり活動したルート・ブリュック（Rut Bryk 1916-1999）の日本初の大規模個展。初期から晩年に至る陶作品を中心に、テキスタイルや版画を含めた約200点の作品を通じて、その創作の軌跡をたどった。新潟会場では日本を代表するグラフィックデザイナー・亀倉雄策（1915-1997）旧蔵のブリュック作品やフィンランドの工芸品も追加展示した。

【総　括】

●評価すべき点

・コロナ禍の中、開催が危ぶまれたが、当初の予定通り開催することで、県民に美術鑑賞の機会を減じることなく提供できた。

・アンケート結果では、来館者の満足度の高さがうかがえた。作品の質の高さに加え、映像や追加展示も好評で、リピーターや、他県からの来館も多かった。日本初の大規模個展という充実した内容の展覧会を開催することで、県民に新しい価値や視野を提示できた。

・当館所蔵の亀倉コレクションの再調査を進め、その結果を追加展示で披露することができた。

●検討課題

・展示室の一部を撮影可とすることで、SNSでの発信が活発となり広報面で効果的であったが、テレビや新聞等の広告媒体を使用せずに情報を県内に行き渡らせることの難しさもあった。

・展示については照明など展示環境面での改善の必要性も感じた。

【開催日・その他】

＝2020年10月10日㈯～12月６日㈰（52日間）＝

休 館 日：10月12日㈪、10月19日㈪、11月２日㈪、11月９日㈪、11月16日㈪、11月30日㈪

主　　催：新潟県立万代島美術館

後　　援：フィンランド大使館、フィンランドセンター、新潟市、新潟市教育委員会、新潟日報社、朝日新聞新潟総局、毎日新聞新潟支局、読売新聞新潟支局、産経新聞新潟支局、NHK新潟放送局、BSN新潟放送、NST新潟総合テレビ、TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21、ケーブルテレビNCV、エフエムラジオ新潟、FM KENTO、ラジオチャット・エフエム新津、エフエム角田山ぽかぽかラジオ、エフエムしばた、燕三条エフエム放送

企画制作：エスポー近代美術館、タピオ・ヴィルカラ ルート・ブリュック財団、ブルーシープ

協　　力：新潟県立美術館友の会

観 覧 料：一般……1,100円（900円）
大学・高校生……900円（700円）
※中学生以下無料
※（　）内は20名以上の団体料金
※前売券販売は行わず。

ポスター（B3）

ポスター（B3）

【関連行事】

・ギャラリートーク
10月24日㈯　参加者数：21名
11月1日㈰　参加者数：18名
11月8日㈰　参加者数：20名
11月21日㈯　参加者数：28名
11月29日㈰　参加者数：18名
5日間合計　105名
各日14:00～　展示室
※新型コロナウイルス感染症対策として、参加者にマスク着用、連絡先の記入をお願いした。

・ハッピー・バースデイ！ルート・ブリュック　ウィーク！
期間：10月10日㈯～10月18日㈰（8日間）
※10月12日㈪は休館日
ルート・ブリュックの誕生日（10月18日）を記念し、期間中に「蝶」のモティーフがついたアイテム持参で、展覧会グッズをプレゼント（数量限定）。
参加者数：169名

・いい夫婦の日記念　パートナー・ウィーク！
期間：11月17日㈫～11月23日（月･祝）（7日間）
ルート・ブリュックと夫で国際的デザイナーのタピオ・ヴィルカラの信頼関係に敬意を表し、「いい夫婦の日」（11月22日）を含む対象期間中に2名以上のグループでご来館の方に展覧会グッズをプレゼント（数量限定）。
参加者数：567名

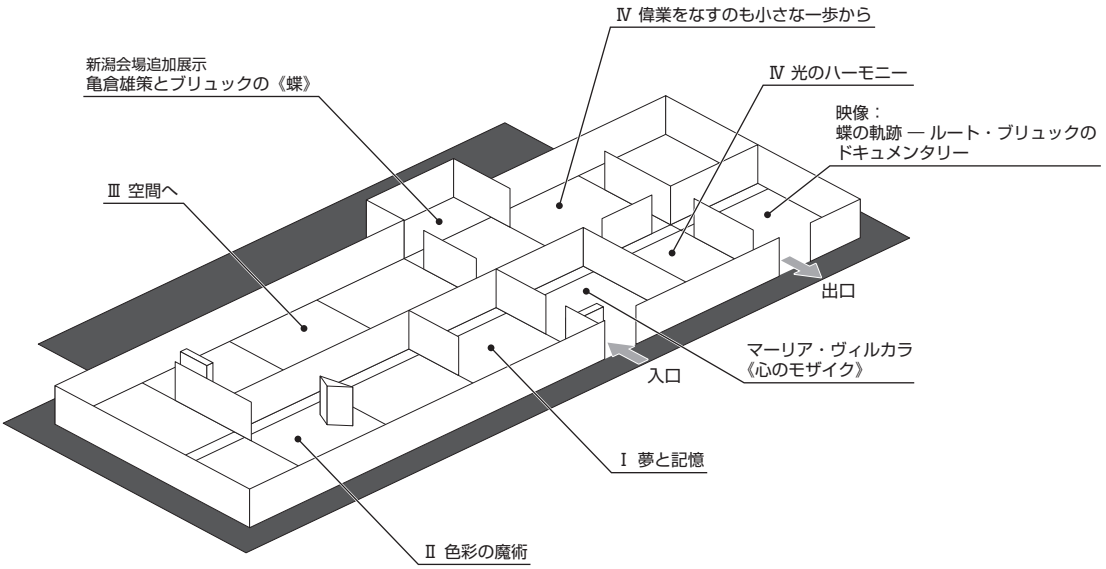
・展覧会オリジナルコースタープレゼント
会期中の平日にご来館の方、各日先着80名にプレゼント。
※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から平日来館を促すため。

・展覧会サポーターショップにオリジナルコースターを設置。
会期前、会期中に全国50店舗が参加。

【図　録】

仕様：29.8×21.2cm　300頁
編集：成相肇（東京ステーションギャラリー）
岡本梓（伊丹市立美術館）
山口敦子（岐阜県現代陶芸美術館）
立花昭（岐阜県現代陶芸美術館）
今村玲子
新谷麻佐子、内村さつき（kukkameri）
協力：エスポー近代美術館
タピオ・ヴィルカラ ルート・ブリュック財団
翻訳：木下哲夫
デザイン：吉田昌平、田中有美（白い立体）
印刷・製本：ライブアートブックス
発行人：草刈大介
発行：ブルーシープ株式会社
ISBN：978-4-908356-07-0 C0072

内容：
・ポートレイト
・蝶の軌跡―ルート・ブリュックの作品と人生―（ヘンナ・パウヌ）
・「あわい」への眼差し―ルート・ブリュック創造の軌跡（山口敦子）
・マーリア・ヴィルカラ《心のモザイク》エスポー近代美術館
・展覧会「ルート・ブリュック　蝶の軌跡」
・Ⅰ　夢と記憶
・Ⅱ　色彩の魔術
・Ⅲ　空間へ
・Ⅳ　偉業をなすのも小さな一歩から



・Ⅴ　光のハーモニー
・資料
・陶器が輝くわけ―後期ルート･ブリュックの作品について（成相肇）
・作品リスト
・Original Manuscript
・年譜

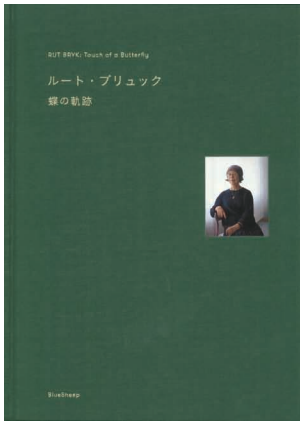
【関連記事】

●新聞

10月29日㈭　新潟日報
「展覧会へようこそ　ルート・ブリュック　蝶の軌跡」／今井有

11月９日㈪　新潟日報おとなプラス
「ルート・ブリュック　陶の魅力」

その他　新潟日報（10/11）



●ラジオ

11月９日㈪　FM NIIGATA
「HAPPY MAPPY」内 展覧会紹介

●WEB

10月14日㈬　Komachi MAG.
「陶芸を自由に表現。豊かな色彩、繊細な文様から生まれるブリュックの世界」（展覧会取材記事）

11月９日㈪　にいがた経済新聞
「新潟県立万代島美術館でフィンランドの陶芸作家を特集した「ルート・ブリュック　蝶の軌跡」が開催中」

※その他、展覧会公式サイト（https://rutbryk.jp/）にて、「亀倉雄策とルート・ブリュック」「新潟案内」など、新潟展にあわせた取材記事が複数掲載された。

【観覧者数】

有料観覧者数	当日	4,133
	前売	―
無料観覧者数	招待	1,134
	無料	491
	免除	383
総観覧者数		6,141
有料率（%）		67.3

担当　今井有

【出品リスト】

＊技法に明記のない作品は陶磁器。
＊所蔵先の明記がないものはエスポー近代美術館に寄託されたタピオ・ヴィルカラ　ルート・ブリュック財団の所蔵作品。

特別展示

作家名	作品名	制作年	技法	所蔵
マーリア・ヴィルカラ	心のモザイク　―ルート・ブリュック、旅のかけら	2019年	陶タイル、茶箱ほか	個人蔵

Ⅰ　夢と記憶

Cat. no.	作品名	制作年	技法	所蔵
1-01	無題	1942年	リノカット	
1-02	無題	1942年	リノカット	
1-03	無題	1940年代	リノカット	
1-04	無題	1930-1940年代	リノカット	
1-05	無題	1938年	リノカット	
1-06	ポストカードのスケッチ	1938年	水彩	
1-07	ポストカードのスケッチ	1930-1940年代	水彩	個人蔵
1-08	ポストカードのスケッチ	1942年	水彩	
1-09	ポストカードのスケッチ	1942年	水彩	個人蔵
1-10	無題	1940年代	水彩	個人蔵
1-11	無題	1930-1940年代	水彩	個人蔵
1-12	無題	1930-1940年代	水彩	個人蔵
1-13	無題	1940年頃	水彩、インク	個人蔵
1-14	無題	1941年頃	水彩	個人蔵
1-15	無題	1930年代後期	水彩	個人蔵
1-16	無題	1940年頃	水彩	個人蔵
1-17	無題	1930-1940年代	水彩	個人蔵
1-18	無題	1930-1940年代	水彩	個人蔵
1-19、1-20	お菓子の包み紙のスケッチ	1940年代初期	水彩、鉛筆、アクリル絵具	
1-21	雄鶏の皿	1940年代初期		
1-22	無題	1942-1949年		
1-23	無題	1942-1949年		
1-24	無題	1942-1949年		
1-25	無題	1943年		
1-26	無題	1943年		
1-27	無題	1942-1949年		
1-28	庭の少女たち	1942-1945年		
1-29	無題	1944年		
1-30	無題	1942-1949年		
1-31	無題	1942-1949年		
1-32	無題	1942-1949年		
1-33	無題	1942-49年		
1-34	ふたり	1944年		
1-35	雄鶏	1944年		
1-36	馬車	1940年代		
1-37	茂みの少女	1943年		
1-38	コーヒータイム	1945年		
1-39	鳥籠	1947年		
1-40	散髪	1947年頃		
1-41	静物	1947-1948年		
1-42	結婚式	1944年		
1-43	お葬式	1947年頃		
1-44	東方の三博士	1944年		
1-45	静物（矢車草とカリフラワー）	1948年頃		

1-46	静物（スズランと梨）	1948年頃		
1-47	静物	1947-1948年頃		
1-48	ペリカンの皿	1950-1955年		

Ⅱ　色彩の魔術				
Cat. no.	作品名	制作年	技法	所蔵
1-49	三つ編みの少女（ルート）	1948年		
1-50	三つ編みの少女（ルート）	1948年		
1-51	三つ編みの少女（ルート）	1948年		
1-52	ビルゲル	1949年		
2-01	牛	1950年		
2-02	ふたりの少女	1950年		
2-03	水差しとレモン	1950年		
2-04	梨籠	1950年		
2-05	果物の皿	1950年代初期		個人蔵
2-06	魚	1950年		
2-07	ストーブ	1950年		
2-08	魚の皿	1953-1954年		
2-09	ボトル	1957年		
2-10	イースターの鳥	1950年		
2-11	鳥	1950年		
2-12	草むらの鳥	1956年		
2-13	鳥とりんご	1954年		
2-14	鳥の群れ	1955年頃		
2-15	鳥の群れ	1955年頃		
2-16	鳥の群れ	1955年頃		
2-17	鳥	1954年		
2-18	ついばむ鳥	1950年代		
2-19	鳥	1955年		
2-20	鳥	1950年代		
2-21	鳥	1950年代		
2-22	トウヒとフクロウ	1952年		
2-23	木の上のザアカイ	1950年		
2-24	最後の晩餐	1950-1951年頃		
2-25	聖体祭	1953年		
2-26	シチリアの教会	1952-1953年		
2-27	シチリアの教会	1951年		
2-28	カレリアの家	1952-1953年		
2-29	カレリアの家	1952-1953年		
2-30	カレリアの鐘楼（アダムとイヴ）	1952年頃		
2-31	カレリアの礼拝堂	1952-1954年		
2-32	ヴェネチアの宮殿：リアルト橋	1953年		
2-33	ヴェネチアの宮殿：柱廊	1953年		
2-34	ヴェネチアの宮殿：ジョルノ	1953年		
2-35	ヴェネチアの宮殿：鳥の扉	1953年		
2-36	子羊の扉	1957年		
2-37	ノアの方舟	1957年		
2-38	母子	1950年		
2-39	三つ編みの聖母	1950年		
2-40	母子	1950年代		
2-41	母子	1950年代		
2-42	ピリッタ	1955年		
2-43	ダンス	1957年		
2-44	ダンス	1957年		
2-45	キルト	1956年		
2-46	肘掛け椅子	1957年頃		

2-47	ライオンに化けたロバ	1957年		
2-48	ライオンに化けたロバ	1957年		
2-49	お葬式	1957-1958年		
6-7	テキスタイル《セイタ》	1960年代後期	麻、綿	
6-8	テキスタイル《セイタ》	1960年代後期	麻、綿	
6-9	テキスタイル《セイタ》	1960年代後期	麻、綿	
6-10、6-11	糸の色見本	1960-1980年代	麻、綿	

Ⅲ　空間へ

Cat. no.	作品名	制作年	技法	所蔵
3-1	蝶の研究者	1950年		個人蔵
3-2	蝶たち	1957年		
3-3 から 3-31	蝶	1957年		
3-32	レリーフ	1950年代後期		
3-33	都市	1958年		
3-34	“アッシュ・トレイ”	1960年代初期		
3-35	“アッシュ・トレイ”	1960年代初期		
3-36	“アッシュ・トレイ”	1960年代初期		
3-37	“アッシュ・トレイ”	1960年代初期		
3-38	“アッシュ・トレイ”	1960年		
3-39	“アッシュ・トレイ”	1960年		
3-40	“アッシュ・トレイ”	1960年代初期		
3-41	“アッシュ・トレイ”	1960年代初期		
3-42	“アッシュ・トレイ”	1960年代初期		
3-43	“アッシュ・トレイ”	1960年代初期		
3-44	“アッシュ・トレイ”	1960年代初期		
3-45	“アッシュ・トレイ”	1960年代初期		
3-46	“アッシュ・トレイ”	1960年代初期		
3-47	ヘキサゴン	1950年代後期		
3-48	ヘキサゴン	1950年代後期		
3-49	宴のテーブル：薔薇の卵	1960年		
3-50	宴のテーブル：薔薇の卵	1960年		
3-51	宴のテーブル：薔薇の卵	1961年		
3-52	宴のテーブル：ガチョウの皿	1960年		
3-53から3-66	皿	1960年代		
3-67	レリーフ（アダムとイヴ）	1960年代初期		個人蔵
3-68	レリーフ（イコン）	1960年代		
3-69	レリーフ（イコン）	1960年代		
3-70	レリーフ（イコン）	1960年代		
3-71	黄金の深淵	1969年		
3-72	ジャイプル	1967年		
6-1 から 6-5	釉薬見本	1960年代		
6-6	《蝶》の型　※３点組	1957年		
6-12、6-13	壁紙　アポロ	1958年デザイン	プリント	
7-1	《流氷》の模型	1980年代後期	紙、鉛筆	
7-2	《流氷》の素描	1980年代後期	紙、鉛筆	
7-3	《流氷》の素描	1980年代後期	紙、鉛筆	
7-4	《流氷》の素描	1980年代後期	紙、鉛筆	
7-5	《流氷》の素描	1987年	紙、鉛筆	
7-6	《流氷》の素描	1980年代後期	紙、鉛筆	
7-7	《流氷》の素描	1980年代後期	紙、鉛筆	

Ⅳ　偉業をなすのも小さな一歩から

Cat. no.	作品名	制作年	技法	所蔵
4-1	赤い太陽	1967年		
4-2	スイスタモ	1969年		

4-3	ドパルダン	1972年		個人蔵
4-4	無題	1970年代		
4-5	レリーフ	1970年代初期		
4-6	レリーフ	1970年代		
4-7	レリーフ	1970年代		
4-8	レリーフ	1970年代		
4-9	忘れな草	1979年		個人蔵
4-10	無題	1970年代		
4-11	ソーホー	1968年		
4-12	花束	1967年		
4-13	青	1969年		
4-14	2	1968年		
4-15	泥炭地の湖	1978年		
4-16	水辺の摩天楼	1983年		
4-17	木	1978-1980年		

V　光のハーモニー				
Cat. no.	作品名	制作年	技法	所蔵
5-1	無題	1960年代		
5-2	色づいた太陽	1969年		
5-3	ジャイプル	1960年代		
5-4	鳥	1970年		
5-5	霞	1980年		サースタモイネン財団コレクション（エスポー近代美術館寄託）
5-6	春の雲	1981年		
5-7	レリーフ	1980年代		

写真・映像資料
■ブリュック一家が過ごしたラップランドのサマーハウス　2018年　撮影：前田景
■生きている粘土（アラビア製陶所美術部門を紹介する映像）　1943年
■公共建築のための大型レリーフ作品　2019年
■蝶の軌跡―ルート・ブリュックのドキュメンタリー　2019年

新潟会場追加展示　＊追加展示作品の所蔵はすべて新潟県立近代美術館・万代島美術館				
作家名	作品名	制作年	技法	所蔵
ルート・ブリュック	蝶	1958年頃		
ルート・ブリュック	蝶	1958年頃		
ルート・ブリュック	蝶	1958年頃		
ルート・ブリュック	蝶	1958年頃		
ルート・ブリュック	蝶	1958年頃		
ルート・ブリュック	蝶	1958年頃		
カイ・フランク	花器（Vase KF243）	1957年	ガラス	
カイ・フランク	花器（KF240）	1958年	ガラス	
サーラ・ホペア	花器	1957年	ガラス	
オイヴァ・トイッカ	バード	1972年以降	ガラス	
オイヴァ・トイッカ	バード	1972年以降	ガラス	
オイヴァ・トイッカ	バード	1972年以降	ガラス	
不詳（ヌータヤルヴィ社、フィンランド）	花器	不詳	ガラス	
ナニー・スティル	花器「コリステプッロ」	制作年不明	ガラス	
カイ・フランク	花器（Vase Pilari・KF250）	1958年	ガラス	
カイ・フランク	水差し（1609）	制作年不明（販売期間　1954-65）	ガラス	
亀倉雄策	江戸京子ピアノリサイタル	1968年	ポスター	
亀倉雄策	ヒロシマアピールズ	1983年	ポスター	
亀倉雄策	草月129号　表紙	1980年4月	紙	
亀倉雄策	草月131号　表紙	1980年6月	紙	

岡本太郎展　太陽の塔への道

【趣　旨】

芸術家・岡本太郎（1911-1996）の回顧展。2018年に岡本の代表作《太陽の塔》が内部修復を終えたことを契機に、今再び岡本太郎に注目が集まっている。本展では太陽の塔の構想段階から完成、再生事業までの半世紀をたどった。会場には万博当時の1970年版と、再生後の2018年版の塔の模型が並び、万博終了後に所在不明となった直径３メートルの《地底の太陽》の再現原型も展示された。また、現在は失われた地下展示の様子は精密な模型とジオラマで再現された。その他、初期から晩年までの絵画と立体作品、岡本自身が撮影した東北各地や縄文土器の写真も出品され、その多岐にわたる仕事の全容も紹介する内容となった。

【総　括】

●評価すべき点

・太陽の塔関連の模型や資料類の充実した展示から制作当時の詳細が明らかになり、岡本太郎が塔にこめた想いへの理解を深める内容となった。

・110件の展示品により、各分野での岡本太郎の仕事を紹介することができた。

・特定の年代に偏らず幅広い世代の来館があり、総入場者数も想定を超えた。多くの人の関心に応える内容の展覧会を提供することができた。

・映像を除く全作品が撮影可能だったことや、照明や音による会場の演出も好評だった。

●検討課題

・感染症拡大防止のため解説会の実施を見合わせたが、アンケートや友の会会員からは実施の要望が寄せられた。感染症対策と来館者サービスの両立をめざし、実現可能な方法を探っていく必要がある。

【開催日・その他】

＝2020年12月19日㈯～2021年３月７日㈰（68日間）＝

休 館 日：12月28日㈪～１月４日㈪、18日㈪、２月１日㈪、15日㈪

主　　催：新潟県立万代島美術館、BSN新潟放送、岡本太郎展新潟実行委員会、公益財団法人岡本太郎記念現代芸術振興財団

特別協賛：NEC、吉運堂

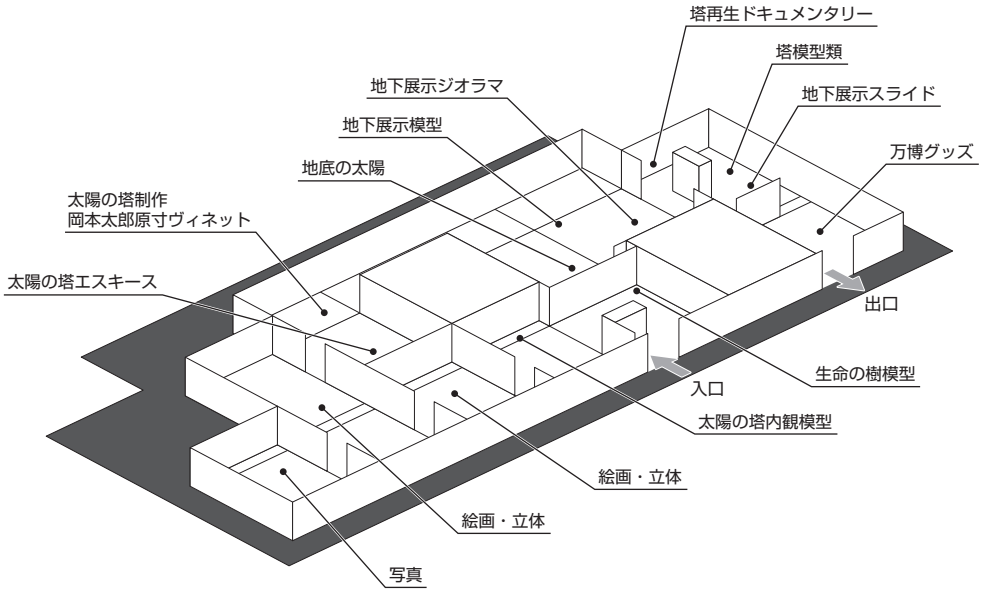
後　　援：新潟市、新潟市教育委員会、十日町市、十日町市教育委員会、NHK新潟放送局、新潟日報社、朝日新聞新潟総局、毎日新聞新潟支局、読売新聞新潟支局、産経新聞新潟支局、ケーブルテレビNCV、エフエムラジオ新潟、FM KENTO、ラジオチャット・エフエム新津、エフエム角田山ぽかぽかラジオ、エフエムしばた、燕三条エフエム放送

特別協力：川崎市岡本太郎美術館

協　　力：大阪府（日本万国博覧会記念公園事務所）、株式会社現代芸術研究所、新潟県立美術館友の会

制作協力：ＮＨＫプロモーション

観 覧 料：一般……1,200円（1,000円）〈1,000円〉
大学・高校生…1,000円（800円）
※中学生以下無料
※（　）内は有料20名以上の団体料金
※〈　〉内は事前割引予約料金（前売券販売の代替としてアプリによる事前割引予約を実施）



【関連記事】

●新聞

1月15日㈮　新潟日報おとなプラス
「岡本太郎の世界　新潟に」
2月3日㈬　新潟日報
「座標軸　太陽の塔　閉塞感を破るエネルギー」
2月11日㈭　新潟日報
「展覧会へようこそ　岡本太郎展　太陽の塔への道　未来礼賛への異議今に」／池田珠緒
その他　新潟日報（12/19）
　　読売新聞（1/18）

●テレビ

12月18日㈮　ＢＳＮ新潟放送「ゆうなび」
12月19日㈯　ＢＳＮ新潟放送「なじラテ」／池田珠緒
1月9日㈯　ＢＳＮ新潟放送「なじラテ」／池田珠緒
1月24日㈰　ＢＳＮ新潟放送「県政ナビ」／池田珠緒
2月5日㈮　ＢＳＮ新潟放送「ゆうなび」
2月6日㈯　ＢＳＮ新潟放送「なじラテ」／池田珠緒
2月24日㈬　ＢＳＮ新潟放送「ゆうなび」
2月26日㈮　ＢＳＮ新潟放送「ゆうなび」

●ラジオ

12月23日㈬　ＢＳＮラジオ「近藤丈靖のごきげんアワー」／池田珠緒
1月13日㈬　ＢＳＮラジオ「四畳半ラジオ」／池田珠緒
1月20日㈬　ＢＳＮラジオ「四畳半ラジオ」／池田珠緒
2月5日㈬　ＢＳＮラジオ「石塚かおりのゆうわく伝説」／池田珠緒

【観覧者数】

有料観覧者数	当日	20,731
	事前割引予約※	738
無料観覧者数	招待	1,755
	無料	1,600
	免除	2,659
総観覧者数		27,483
有料率（%）		78.1

※前売券販売の代替としてアプリによる事前割引予約を実施した。

担当　池田珠緒

【出品リスト】※順不同

太陽の塔関連岡本太郎作品・その他				
作品・資料名	制作年	サイズ(縦×横×高㎝)	材質、技法等	所蔵
岡本太郎《太陽の塔習作》(22種)	1967年※レプリカ展示	—	紙	岡本太郎記念館
岡本太郎《太陽の塔マケット》(3種)	1967年	19.0×61.0×64.0	FRP、石膏	岡本太郎記念館
岡本太郎《母の塔　検討造形》	1970年	41.0×62.0×24.0	FRP	岡本太郎記念館
岡本太郎《青春の塔　マケット》	1970年	85.0×85.0×220.0	FRP	岡本太郎記念館
岡本太郎《テーマ館の鍵》	1970年	12.0×65.0×32.0	FRP	岡本太郎記念館
岡本太郎《ノン》	1970年※レプリカ展示	11.0×120.0×170.0	FRP	岡本太郎記念館
岡本太郎《マスク》	1970年	83.0×139.0	FRP	岡本太郎記念館
岡本太郎《マスク》	1970年	112.0×80.0	FRP	岡本太郎記念館
岡本太郎《マスク》	1970年	74.0×58.0	FRP	岡本太郎記念館
岡本太郎《マスク》	1970年	90.0×60.0	FRP	岡本太郎記念館
岡本太郎《マスク》	1970年	65.0×65.0	FRP	岡本太郎記念館
岡本太郎《マスク》	1970年	82.0×139.0	FRP	岡本太郎記念館
岡本太郎《マスク》	1970年	75.0×57.0	FRP	岡本太郎記念館
岡本太郎《マスク》	1970年	122.0×86.0	FRP	岡本太郎記念館

太陽の塔関連資料・模型・その他		
作品・資料名	制作年	所蔵
生物群配置計画図	1968年	岡本太郎記念館
《太陽の塔》竣工図	1969年	現代芸術研究所
テーマ館実施計画図	1969年	現代芸術研究所
テーマ館実施設計図	1969年	岡本太郎記念館
大阪万国博覧会グッズ	1970年	岡本太郎記念館
《生命の樹》再現模型	2011年	岡本太郎記念館
《太陽の塔》内観模型［1970］	2016年	岡本太郎記念館
《太陽の塔》内観模型［2018］	2020年	岡本太郎記念館
《地底の太陽》保存用原型	2017年	岡本太郎記念館
地下展示全体模型	2017年	岡本太郎記念館
地下展示「いのち」模型	2017年	岡本太郎記念館
地下展示「いのり」模型	2017年	岡本太郎記念館
地下展示「ひと」模型	2017年	岡本太郎記念館
地底の太陽ゾーン検討模型（A）	2017年	岡本太郎記念館
地底の太陽ゾーン検討模型（B）	2017年	岡本太郎記念館
FRP 雌型	2017年	岡本太郎記念館
試作造形	2017年	岡本太郎記念館
樹上生物群　配置検討模型	2017年	岡本太郎記念館
樹体再現模型	2017年	岡本太郎記念館
《生命の樹》3D データ出力原型	2017年	岡本太郎記念館
太陽虫　配置検討模型	2017年	岡本太郎記念館
粘土原型　エダフォザウルス	2017年	岡本太郎記念館
粘土原型　魚類 B	2017年	岡本太郎記念館
粘土原型　魚類 C	2017年	岡本太郎記念館
粘土原型　マンモス	2017年	岡本太郎記念館
タナカカツキ《みんなの太陽の塔》	2014年	岡本太郎記念館
コップの縁の太陽の塔	2015年	岡本太郎記念館
太陽の塔グッズ		岡本太郎記念館
映像（再生ドキュメンタリー）		

映像（地下展示スライド）

岡本太郎作品（太陽の塔関連を除く）

作品名	制作年	サイズ(縦×横×高㎝)	材質、技法等	所蔵
美女と野獣	1949年	99.8×80.2	油彩、カンヴァス	川崎市岡本太郎美術館
群像	1949年	130.0×193.0	油彩、カンヴァス	岡本太郎記念館
駄々っ子	1951年	91.0×116.0	油彩、カンヴァス	川崎市岡本太郎美術館
群像	1952年	126.5×189.4	モザイク	岡本太郎記念館
犬の植木鉢	1955年※レプリカ展示	20.0×80.0×60.0	FRP	岡本太郎記念館
日の壁	1956年	117.0×80.0	油彩、カンヴァス	岡本太郎記念館
建設	1956年	138.0×228.0	油彩、カンヴァス	川崎市岡本太郎美術館
原始	1958年	200.0×259.0	油彩、カンヴァス	岡本太郎記念館
愛	1961年	150.0×150.0×45.0	FRP	岡本太郎記念館
アドレッサン	1961年	227.0×162.0	油彩、カンヴァス	川崎市岡本太郎美術館
坐ることを拒否する椅子	1963年	40.0×40.0×45.0	陶	岡本太郎記念館
坐ることを拒否する椅子	1963年	40.0×40.0×45.0	陶	岡本太郎記念館
坐ることを拒否する椅子	1963年	40.0×40.0×45.0	陶	岡本太郎記念館
リョウラン	1963年	193.0×154.0	油彩、カンヴァス	川崎市岡本太郎美術館
跳ぶ	1963年	193.5×130.0	油彩、カンヴァス	川崎市岡本太郎美術館
エクセホモ	1963年	226.0×162.7	油彩、カンヴァス	川崎市岡本太郎美術館
暴走	1963年	182.0×227.0	油彩、カンヴァス	川崎市岡本太郎美術館
愛撫	1964年	227.0×417.3	油彩、カンヴァス	川崎市岡本太郎美術館
ノン（頭部）	1969年	120.0×130.0×130.0	FRP	岡本太郎記念館
顔Ⅵ	1970年	130.0×162.0	油彩、カンヴァス	川崎市岡本太郎美術館
若い夢	1974年	90.0×97.0×105.0	FRP	岡本太郎記念館
黒い太陽	1980年	120.0×200.0	版画	岡本太郎記念館
風	1980年	120.0×200.0	版画	川崎市岡本太郎美術館
呼ぶ・青い手	1981年	70.0×120.0×160.0	FRP	岡本太郎記念館
呼ぶ・赤い手	1981年	70.0×120.0×160.0	FRP	岡本太郎記念館
雷人	1995年 ※未完・絶筆	230.0×162.0	油彩、カンヴァス	岡本太郎記念館

岡本太郎写真作品

作品名	撮影年月日	撮影地	所蔵
縄文土器	1956年3月23日	東大人類学教室	岡本太郎記念館
縄文土器	1956年2月23日	国分寺町文化財保存館	岡本太郎記念館
縄文土偶	1956年2月23日	東京国立博物館	岡本太郎記念館
縄文土偶	1956年2月23日	東京国立博物館	岡本太郎記念館
縄文土偶	1956年2月23日	東京国立博物館	岡本太郎記念館
縄文土器	1956年2月23日	東大人類学教室	岡本太郎記念館
角巻きの女	1957年2月12日	秋田駅／秋田	岡本太郎記念館
芦沢のなまはげ	1957年2月12日	男鹿／秋田	岡本太郎記念館
なまはげの若者	1957年2月12日	男鹿／秋田	岡本太郎記念館
けら（蓑）をまとう少女	1957年2月14日	横手／秋田	岡本太郎記念館

かまくらとこどもたち	1957年2月14日	横手／秋田	岡本太郎記念館
中尊寺金色堂内陣	1957年6月15日	平泉／岩手	岡本太郎記念館
鹿踊り	1957年6月16日	花巻温泉／岩手	岡本太郎記念館
鹿踊り	1957年6月16日	花巻温泉／岩手	岡本太郎記念館
おしらさま	1957年6月17日	産業文化会館(盛岡)／岩手	岡本太郎記念館
南部鉄瓶共同作業場	1957年6月17日	盛岡／岩手	岡本太郎記念館
山頂をめざす老婆たち	1962年7月21日	恐山／青森	岡本太郎記念館
数珠をかき鳴らす巫女	1962年7月21日	恐山／青森	岡本太郎記念館
オシラさま	1962年7月26日	八戸／青森	岡本太郎記念館
オシラさま	1962年7月26日	八戸／青森	岡本太郎記念館
オシラさま	1962年7月26日	八戸／青森	岡本太郎記念館
羽黒山の参道（出羽三山神社）	1962年12月31日	鶴岡／山形	岡本太郎記念館
羽黒山の松例祭（出羽三山神社）	1962年12月31日	鶴岡／山形	岡本太郎記念館
羽黒山の松例祭（出羽三山神社）	1962年12月31日	鶴岡／山形	岡本太郎記念館
久高ノロ	1959年11月24日	久高島／沖縄	岡本太郎記念館
竹富島の老人	1959年11月29日	竹富島／沖縄	岡本太郎記念館
久高島の老人	1959年11月24日	久高島／沖縄	岡本太郎記念館
登野城海岸	1959年11月28日	石垣島／沖縄	岡本太郎記念館
宮古港	1959年11月30日	宮古島／沖縄	岡本太郎記念館
数久田のイルカ漁	1959年12月2日	名護／沖縄	岡本太郎記念館
三線を弾く人	1959年11月18日	那覇／沖縄	岡本太郎記念館
川平の農夫	1959年11月27日	石垣島／沖縄	岡本太郎記念館
石垣とこども	1966年12月26日-28日	久高島／沖縄	岡本太郎記念館
読谷の闘牛	1959年11月22日	読谷／沖縄	岡本太郎記念館
久高島の男	1966年12月26日-28日	久高島／沖縄	岡本太郎記念館
川平の獅子舞	1959年11月27日	石垣島／沖縄	岡本太郎記念館
紅型（びんがた）	1959年11月21日	那覇／沖縄	岡本太郎記念館
イザイホー	1966年12月26日-28日	久高島／沖縄	岡本太郎記念館
イザイホー	1966年12月26日-28日	久高島／沖縄	岡本太郎記念館
斎場御嶽（せーふぁーうたき）	1959年11月23日	知念／沖縄	岡本太郎記念館
カジュマルの古木	1959年11月29日	竹富島／沖縄	岡本太郎記念館
屋根の上のシーサー	1959年11月28日	石垣島／沖縄	岡本太郎記念館
クボー御嶽（通称：大御嶽）	1966年12月16日-28日	久高島／沖縄	岡本太郎記念館

芳年　激動の時代を生きた鬼才浮世絵師

【趣　旨】

月岡芳年（1839～92）は、江戸に生まれ、12歳で歌川国芳に入門、社会制度や価値観などが大きく転換した幕末・明治の激動期に大衆の人気を集め、「最後の浮世絵師」といわれた。「血みどろ絵」「無惨絵」と呼ばれる初期のシリーズがその代名詞となったが、手がけたジャンルは武者絵、役者絵、怪奇絵、戦争画、美人画など多岐にわたる。

本展は、日本画家・西井正氣氏による優れた芳年コレクションを紹介する企画で、2016年から全国９会場を巡回、当館初の本格的な浮世絵展として開催した。芳年の画業の全貌を時代順に４章構成で紹介し、素描や画稿、版木、肉筆画なども併せて展示した。

【総　括】

●評価すべき点

・令和３年度まで継続のため、同年度年報に掲載

●検討課題

・令和３年度まで継続のため、同年度年報に掲載

【開催日・その他】

=2021年３月20日(土･祝)～３月31日㈬(11日間)=

※全体会期は３月20日(土･祝)～５月５日(水･祝)(44日間)

休 館 日：３月22日㈪

主　　催：新潟県立万代島美術館

後　　援：新潟市、新潟市教育委員会、新潟日報社、朝日新聞新潟総局、毎日新聞新潟支局、読売新聞新潟支局、産経新聞新潟支局、NHK新潟放送局、BSN新潟放送、NST新潟総合テレビ、TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21、ケーブルテレビNCV、エフエムラジオ新潟、FM KENTO、ラジオチャット・エフエム新津、エフエム角田山ぽかぽかラジオ、エフエムしばた、燕三条エフエム放送

企画協力：株式会社アートワン

協　　力：新潟県立美術館友の会

観 覧 料：一般……1,100円（900円）

大学・高校生……900円（700円）

※中学生以下無料

※（　）内は20名以上の団体料金

※前売券販売は行わず。

【関連行事】

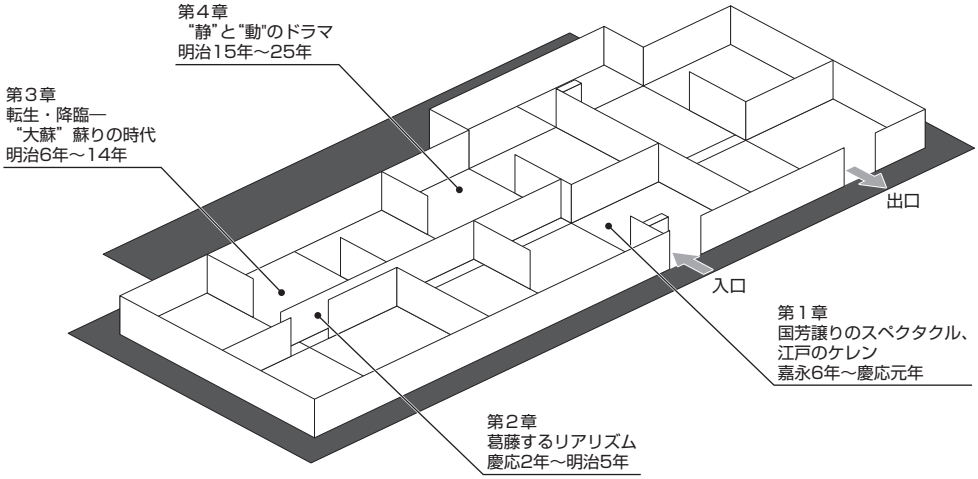
・ギャラリートーク

「芳年展を10倍楽しむ 10分間ミニトーク」

講　　師：長嶋圭哉（当館主任学芸員）

日　　時：３月27日㈯11:00～／11:30～／14:00～／14:30～

参加者数：48名（16名／11名／12名／９名）



【図　録】

仕　様：308×181mm　312頁
企　画：株式会社アートワン
編　集：加藤陽介（練馬区立美術館）、株式会社アートワン
発　行：株式会社アートワン
デザイン：大向務、坂本佳子、吉澤七海(大向デザイン事務所)
印　刷：日本写真印刷コミュニケーションズ株式会社
内　容：ごあいさつ
目次
芳年の画業を通して―江戸のケレンから明治のリアリズムへ　加藤陽介
芳年蒐集譚　西井正氣
図版
第一章　国芳譲りのスペクタクル、江戸のケレン　嘉永６年～慶応元年（1853～65）
第二章　葛藤するリアリズム　慶応２年～明治５年（1866～72）
第三章　転生・降臨―“大蘇”蘇りの時代　明治６年～14年（1873～81）
第四章　“静“と”動“のドラマ　明治15年～ 25年（1882～92）
別　章　肉筆画・下図類など
コラム
芳年と江戸の「怖い娯楽」
歴史画の誕生と芳年
モダン・ビューティの誕生　芳年と美人画
名演出家、芳年の画面づくりと作風展開
芳年の道祖神祭幕絵　松田美沙子
作品解説
月岡芳年 年表
参考文献
作品目録

【関連記事】

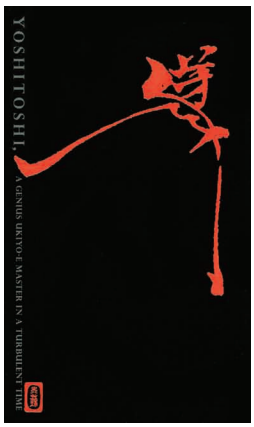
・令和３年度まで継続のため、同年度年報に掲載

【観覧者数】

※3/20 ～ 3/31

有料観覧者数	当日	699
	前売	―
無料観覧者数	招待	141
	無料	53
	免除	57
総観覧者数		950
有料率（%）		73.6

担当　長嶋圭哉



【出品リスト】

No.	作品名	判型技法	制作年	版元
第一章　国芳譲りのスペクタクル、江戸のケレン　　嘉永6年～慶応元年（1853～65）				
1	文治元年平家の一門亡海中落入る図	大判錦絵三枚続	嘉永６年（1853）	丸屋甚八
2	那智山之大滝にて荒行図	大判錦絵三枚続	安政６～万延元年（1859～60）	角本屋金次郎
3	楠多門丸古狸退治之図	大判錦絵三枚続	万延元年（1860）	角本屋金次郎
4	頼光四天王大江山鬼神退治之図	大判錦絵三枚続	元治元年（1864）	木屋宗次郎
5	宇治常悦門弟稽古之図	大判錦絵三枚続	元治元年（1864）	不詳
6	通俗西遊記　金角大王	大判錦絵	元治元年（1864）頃	福太
7	和漢百物語　田原藤太秀郷　瀬田之竜女	大判錦絵	慶応元年（1865）	大黒屋金之助
8	和漢百物語　入雲龍公孫勝	大判錦絵	慶応元年（1865）	大黒屋金之助
9	和漢百物語　頓欲ノ婆々	大判錦絵	慶応元年（1865）	大黒屋金之助
10	近世俠義伝　盛力民五郎	大判錦絵	慶応元年（1865）	伊勢屋喜三郎
11	近世俠義伝　盛力民五郎　（後摺）	大判錦絵	慶応元年（1865）	伊勢屋喜三郎
12	源平壇之浦大合戦之図	大判錦絵三枚続	慶応元年（1865）	近江屋久助
13	岩見重太郎兼亮妖怪退治	大判錦絵三枚続	慶応元年（1865）	専錦堂
14	美勇水滸伝　高木午之助	中判錦絵	慶応２年（1866）	近江屋久助
15	美勇水滸伝　白木駒吉	中判錦絵	慶応３年（1867）	近江屋久助
16	美勇水滸伝　藤波由縁之助	中判錦絵	慶応３年（1867）	近江屋久助
17	美勇水滸伝　黒雲皇子	中判錦絵	慶応３年（1867）	近江屋久助
18	於吹島之館直之古狸退治図	大判錦絵三枚続	慶応２年（1866）	辻岡屋文助
19	賤ヶ峰大合戦之図	大判錦絵三枚続	慶応２年（1866）	山口屋藤兵衛
20	山本勘助猛猪を撃つ	大判錦絵三枚続	明治元年（1868）	近江屋久助
21	江戸の花子供遊の図	大判錦絵三枚続	安政５年（1858）	角本屋金次郎
22	仮寝のきぬぎぬ	大判錦絵三枚続	万延元年（1860）	丸屋甚八
23	当勢勇の花	大判錦絵三枚続	万延元年（1860）	角本屋金次郎
24	四代目尾上菊五郎　追善絵	大判錦絵二枚続	万延元年（1860）	不詳
25	江戸のはな　美立花くらへ　お祭り佐七　家橘	大判錦絵	文久元年（1861）	角本屋金次郎
26	正札附俳優手遊	大判錦絵三枚続	文久元年（1861）	岐阜屋清七
27	十三代目市村羽左衛門の弁天小僧菊之助	大判錦絵二枚続	文久２年（1862）	岐阜屋清七
28	はなの夕立	大判錦絵三枚続	文久２年（1862）	大黒屋吉之助
29	見立十二史　子　清水義高　河原崎権十郎	大判錦絵	元治元年（1864）頃	岐阜屋清七
30	五代目板東彦三郎のすけの局　二代目沢村訥升の源義経　五代目大谷友右衛門の新中納言平知盛	大判錦絵三枚続	慶応３年（1867）	伊勢兼
31	狂画将基尽し	大判錦絵三枚続	安政６年（1859）	角本屋金次郎
第二章　葛藤するリアリズム　　慶応２年～明治５年（1866～72）				
32	英名二十八衆句　姐妃の於百	大判錦絵	慶応２年（1866）	佐野屋富五郎
33	英名二十八衆句　因果小僧六之助	大判錦絵	慶応２年（1866）	佐野屋富五郎
34	英名二十八衆句　団七九郎兵衛	大判錦絵	慶応２年（1866）	佐野屋富五郎
35	英名二十八衆句　勝間源五兵衛	大判錦絵	慶応２年（1866）	佐野屋富五郎
36	英名二十八衆句　御所五郎蔵	大判錦絵	慶応２年（1866）	佐野屋富五郎
37	英名二十八衆句　由留木素玄	大判錦絵	慶応３年（1867）	佐野屋富五郎
38	英名二十八衆句　福岡貢	大判錦絵	慶応３年（1867）	佐野屋富五郎
39	英名二十八衆句　遠城喜八郎	大判錦絵	慶応３年（1867）	佐野屋富五郎
40	英名二十八衆句　古手屋八郎兵衛	大判錦絵	慶応３年（1867）	佐野屋富五郎
41	英名二十八衆句　白井権八	大判錦絵	慶応３年（1867）	佐野屋富五郎
42	英名二十八衆句　稲田九蔵新助	大判錦絵	慶応３年（1867）	佐野屋富五郎
43	英名二十八衆句　直助權兵衛	大判錦絵	慶応３年（1867）	佐野屋富五郎
44	英名二十八衆句　笠森於仙	大判錦絵	慶応３年（1867）	佐野屋富五郎
45	英名二十八衆句　高倉屋助七	大判錦絵	慶応３年（1867）	佐野屋富五郎
46	［落合芳幾］　英名二十八衆句　天日坊法策	大判錦絵	慶応２年（1866）	佐野屋富五郎

47	［落合芳幾］　英名二十八衆句　十木伝七	大判錦絵	慶応２年（1866）	佐野屋富五郎
48	［落合芳幾］　英名二十八衆句　鞠ヶ瀬秋夜	大判錦絵	慶応３年（1867）	佐野屋富五郎
49	［落合芳幾］　英名二十八衆句　遠城治左エ門	大判錦絵	慶応３年（1867）	佐野屋富五郎
50	［落合芳幾］　英名二十八衆句　濱島正兵衛	大判錦絵	慶応３年（1867）	佐野屋富五郎
51	［落合芳幾］　英名二十八衆句　佐野次郎左エ門	大判錦絵	慶応３年（1867）	佐野屋富五郎
52	［落合芳幾］　英名二十八衆句　げいしゃ美代吉	大判錦絵	慶応３年（1867）	佐野屋富五郎
53	［落合芳幾］　英名二十八衆句　国澤周治	大判錦絵	慶応３年（1867）	佐野屋富五郎
54	［落合芳幾］　英名二十八衆句　仁木直則	大判錦絵	慶応３年（1867）	佐野屋富五郎
55	［落合芳幾］　英名二十八衆句　西門屋啓十郎	大判錦絵	慶応３年（1867）	佐野屋富五郎
56	［落合芳幾］　英名二十八衆句　春藤治郎左エ門	大判錦絵	慶応３年（1867）	佐野屋富五郎
57	［落合芳幾］　英名二十八衆句　鬼神於松	大判錦絵	慶応３年（1867）	佐野屋富五郎
58	［落合芳幾］　英名二十八衆句　鳥井又助	大判錦絵	慶応３年（1867）	佐野屋富五郎
59	［落合芳幾］　英名二十八衆句　邑井長庵	大判錦絵	慶応３年（1867）	佐野屋富五郎
60	東錦浮世稿談　幡随院長兵衛	大判錦絵	慶応３年（1867）	玉明堂
61	東錦浮世稿談　若嶋権右ヱ門	大判錦絵	慶応３年（1867）	増田屋銀次郎
62	武勇雪月花之内　吉野の雪	大判錦絵三枚続	慶応３年（1867）	木屋宗治郎
63	武勇雪月花之内　五條の月	大判錦絵三枚続	慶応３年（1867）	木屋宗治郎
64	武勇雪月花之内　生田森　ゑびらの梅	大判錦絵三枚続	慶応３年（1867）	木屋宗治郎
65	豊臣昇進録　嶋左近友之　斎藤大八郎利次	大判錦絵三枚続	明治元年（1868）頃	万屋孫兵衛
66	美談武者八景　鶴岡の暮雪	大判錦絵三枚続	明治元年（1868）	佐野屋富五郎
67	清盛入道布引滝遊覧悪源太義平霊討難波次郎	大判錦絵竪三枚続	明治元年（1868）	近江屋久助
68	誠忠義心伝　十二　矢多五郎右エ門藤原助武	大判錦絵	明治元年（1868）	増田屋銀次郎
69	誠忠義心伝　二十七　倉橋伝介清原武幸	大判錦絵	明治元年（1868）	増田屋銀次郎
70	魁題百撰相　森力丸	大判錦絵	明治元年（1868）	大橋屋弥七
71	魁題百撰相　会津黄門景勝	大判錦絵	明治元年（1868）	大橋屋弥七
72	魁題百撰相　薄田隼人	大判錦絵	明治元年（1868）	大橋屋弥七
73	魁題百撰相　駒木根八兵衛	大判錦絵	明治元年（1868）	大橋屋弥七
74	魁題百撰相　冷泉判官隆豊	大判錦絵	明治元年（1868）	大橋屋弥七
75	魁題百撰相　秀頼公北之方	大判錦絵	明治元年（1868）	大橋屋弥七
76	魁題百撰相　辻弥兵衛盛昌	大判錦絵	明治元年（1868）	大橋屋弥七
77	魁題百撰相　小幡助六郎信世	大判錦絵	明治元年（1868）	大橋屋弥七
78	魁題百撰相　鷲池平九郎	大判錦絵	明治元年（1868）	大橋屋弥七
79	魁題百撰相　佐久間大学	大判錦絵	明治元年（1868）	大橋屋弥七
80	魁題百撰相　滋野与左ヱ門	大判錦絵	明治２年（1869）	大橋屋弥七
81	魁題百撰相　小寺相模	大判錦絵	明治元年（1868）頃	大橋屋弥七
82	魁題百撰相　鳥井彦右ヱ門元忠	大判錦絵	明治元年（1868）頃	大橋屋弥七
83	豪傑奇術競	大判錦絵三枚続	明治２年（1869）	政田屋兵吉
84	豪傑奇術競	大判錦絵三枚続	明治２年（1869）	政田屋兵吉
85	一魁随筆　燕人張飛	大判錦絵	明治５年（1872）	政田屋兵吉
86	一魁随筆　真田左衛門尉幸村	大判錦絵	明治５年（1872）	政田屋兵吉
87	一魁随筆　山姥 怪童丸	大判錦絵	明治６年（1873）	政田屋兵吉
88	一魁随筆　朝比奈三郎義秀	大判錦絵	明治５～６年（1872～73）	政田屋兵吉
89	一魁随筆　西塔ノ鬼若丸	大判錦絵	明治５～６年（1872～73）	政田屋兵吉
90	東海道名所図絵　神奈川　横浜遠景	大判錦絵	明治元年（1868）頃	大橋屋弥七
91	東海道名所図絵　鞠子　名物とろろ汁	大判錦絵	明治元年（1868）	大橋屋弥七
92	東京尾張町之図	大判錦絵三枚続	明治２年（1869）	政田屋兵吉
93	東京名勝高輪　蒸気車鉄道之全図	大判錦絵三枚続	明治４年（1871）	山城屋甚兵衛
94	諸国武者八景　函館港	大判錦絵	明治４年（1871）	万屋孫兵衛
95	諸国武者八景　陸前白川	大判錦絵	明治４年（1871）	万屋孫兵衛

第三章　転生・降臨―“大蘇”蘇りの時代　　明治6年～明治14年(1873～81)				
96	競勢酔虎伝　大矢内竜吾	大判錦絵	明治7年(1874)	政田屋兵吉
97	競勢酔虎伝　大矢野作左衛門	大判錦絵	明治7年(1874)	政田屋兵吉
98	皐月の雨	大判錦絵三枚続	明治7年(1874)頃	松井栄吉
99	徳川治蹟年間紀事　五代常憲院殿綱吉公	大判錦絵三枚続	明治8年(1875)頃	万屋孫兵衛
100	徳川治蹟年間紀事　十五代徳川慶喜公	大判錦絵三枚続	明治8年(1875)頃	万屋孫兵衛
101	安政五年三月三日水府ノ脱士等芝愛宕ノ山上へ集会ニ及ビ旧主ノ鬱憤ヲ散ゼン為大老彦根候ヲ撃殺ト雪中ニ密計ヲ評定シ余波ノ宴ヲ催ス図	大判錦絵三枚続	明治9年(1876)	熊谷庄七
102	名誉八行之内　義　加藤主計頭清正	大判錦絵	明治11年(1878)	森本順三郎
103	名誉八行之内　悌　常盤御前	大判錦絵	明治11年(1878)	森本順三郎
104	大日本名将鑑　源三位頼政　猪早太	大判錦絵	明治11年(1878)	船津忠次郎
105	大日本名将鑑　最明寺時頼入道	大判錦絵	明治11年(1878)	船津忠次郎
106	大日本名将鑑　平惟茂	大判錦絵	明治12年(1879)	船津忠次郎
107	大日本名将鑑　素戔烏尊 稲田姫	大判錦絵	明治13年(1880)	船津忠次郎
108	大日本名将鑑　天照皇大神	大判錦絵	明治15年(1882)	船津忠次郎
109	大日本史略図会　天照皇大神	大判錦絵三枚続	明治12年(1879)	綱島亀吉
110	大日本史略図会　第一代神武天皇	大判錦絵三枚続	明治13年(1880)	荒川（山口屋）藤兵衛
111	大日本史略図会　第廿二代雄略天皇	大判錦絵三枚続	明治12年(1879)	綱島亀吉
112	大日本史略図会　第八十代安徳天皇	大判錦絵三枚続	明治13年(1880)	森本順三郎
113	矢嶋大合戦之図	大判錦絵三枚続	明治14年(1881)	船津忠次郎
114	義経記五條橋之図	大判錦絵三枚続	明治14年(1881)	森本順三郎
115	不知薮八幡之実怪	大判錦絵三枚続	明治14年(1881)	小林鉄次郎
116	新容六怪撰　平相国清盛入道浄海	大判錦絵三枚続	明治15年(1882)	船津
117	郵便報知新聞　第五百七号	大判錦絵	明治8年(1875)	恵比寿屋庄七
118	郵便報知新聞　第五百卅二号	大判錦絵	明治8年(1875)	恵比寿屋庄七
119	郵便報知新聞　第六百五十一号	大判錦絵	明治8年(1875)	恵比寿屋庄七
120	西郷隆盛切腹図	大判錦絵三枚続	明治10年(1877)	大倉孫兵衛
121	隆盛龍城攻之図	大判錦絵三枚続	明治10年(1877)	大倉孫兵衛
122	西郷隆盛霊幽冥奉書	大判錦絵	明治11年(1878)	船津忠次郎
123	日本武名伝	大判錦絵三枚続	明治12年(1879)	福田熊次郎
124	明治小史年間紀事　皇后宮西京行啓鉄道館発車之図	大判錦絵三枚続	明治9年(1876)	大倉孫兵衛
125	東京三盛ノ内　隅田堤花見	団扇絵	明治11年(1878)	村川惣工門
126	見立三光之内　近江石山　秋ノ月	団扇絵	明治12年(1879)	村川惣工門
127	見立多以尽　手があらひたい	大判錦絵	明治11年(1878)	井上茂兵衛
128	見立多以尽　いっふくのみたい	大判錦絵	明治11年(1878)	井上茂兵衛
129	美人七陽華　正五位柳原愛子	大判錦絵	明治11年(1878)	井上茂兵衛
130	東京自慢十二ヶ月　一月　初卯妙義詣　柳ばし　はま	大判錦絵	明治13年(1880)	井上茂兵衛
131	新柳二十四時　午後十二時	大判錦絵	明治13年(1880)頃	森本順三郎
132	全盛四季 春 荏原郡原村立春梅園	大判錦絵三枚続	明治17年(1884)	秋山武右衛門
133	全盛四季 夏 根津花やしき大松楼	大判錦絵三枚続	明治16年(1883)	秋山武右衛門
134	全盛四季 冬 根津花やしき大松楼	大判錦絵三枚続	明治16年(1883)	秋山武右衛門
135	東京開化狂画名所　浅茅が原　化地蔵近眼の親父をおどす / 新吉原　娼妓の股庫へ神楽舞込	中判錦絵二丁掛	明治14年(1881)	綱島亀吉
136	芳年略画　応挙之幽霊 / 雪舟活画	中判錦絵二丁掛	明治15年(1882)	船津忠次郎
137	歌舞伎戯画　明がらす雪ぜめ / 五右エ門山門の場	中判錦絵二丁掛	明治18年(1885)	福田初次郎
138	芳年存画	大判錦絵三枚続	明治17年(1884)	秋山武右衛門

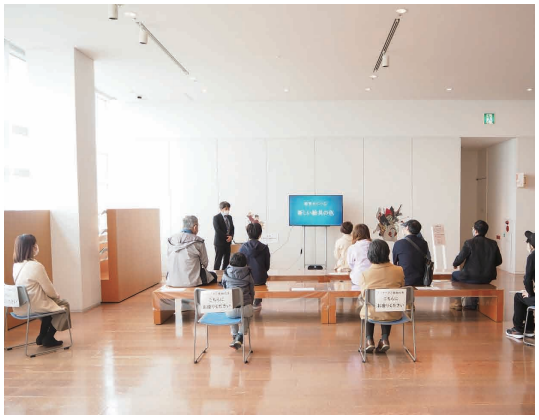
第四章　“静”と“動”のドラマ　　明治15年～明治25年(1882～92)				
139	皇国二十四功　贈正一位菅原道真公	大判錦絵	明治14年(1881)	津田源七
140	皇国二十四功　尾上の召仕お初	大判錦絵	明治14年(1881)	津田源七
141	皇国二十四功　傾城宮城野　妹しのぶ	大判錦絵	明治14年(1881)	津田源七
142	皇国二十四功　大石内蔵之助良雄	大判錦絵	明治14年(1881)	津田源七

143	皇国二十四功　佐藤四郎兵衛忠信	大判錦絵	明治14年(1881)	津田源七
144	皇国二十四功　弼宰相春衡	大判錦絵	明治20年(1887)	津田源七
145	芳年武者无類　弾正忠松永久秀	大判錦絵	明治16年(1883)	小林鉄次郎
146	芳年武者无類　源牛若丸　熊坂長範	大判錦絵	明治16年(1883)	小林鉄次郎
147	芳年武者无類　畠山庄司重忠	大判錦絵	明治16年(1883)	小林鉄次郎
148	芳年武者无類　相模次郎平将門	大判錦絵	明治16年(1883)頃	小林鉄次郎
149	芳年武者无類　平相国清盛	大判錦絵	明治18年(1885)頃	小林鉄次郎
150	芳年武者无類　八幡太郎義家	大判錦絵	明治19年(1886)	小林鉄次郎
151	芳年武者无類　船田入道義昌・左中将新田義貞	大判錦絵	明治19年(1886)	小林鉄次郎
152	芳年武者无類　左兵衛佐源頼朝	大判錦絵	明治19年(1886)	小林鉄次郎
153	藤原保昌月下弄笛図	大判錦絵三枚続	明治16年(1883)	秋山武右衛門
154	東名所墨田川梅若之古事	大判錦絵三枚続	明治16年(1883)	秋山武右衛門
155	平清盛炎焼病之図	大判錦絵三枚続	明治16年(1883)	秋山武右衛門
156	偐紫田舎源氏	大判錦絵三枚続	明治17年(1884)頃	秋山武右衛門
157	大坂軍記之内　半田寺山敗将日本号鎗傷	大判錦絵三枚続	明治17年(1884)頃	秋山武右衛門
158	曽我時致乗裸馬駆大磯	大判錦絵三枚続	明治18年(1885)	福田保
159	護国女太平記	大判錦絵三枚続	明治19年(1886)頃	秋山武右衛門
160	くら美良喜	大判錦絵三枚続	明治24年(1891)	秋山武右衛門
161	金太郎捕鯉魚	大判錦絵竪二枚続	明治18年(1885)頃	松井栄吉
162	田舎源氏	大判錦絵竪二枚続	明治18年(1885)頃	松井栄吉
163	奥州安達がはらひとつ家の図	大判錦絵竪二枚続	明治18年(1885)	松井栄吉
164	芳流閣両雄動	大判錦絵竪二枚続	明治18年(1885)	松井栄吉
165	一ノ谷合戦	大判錦絵竪二枚続	明治18年(1885)頃	松井栄吉
166	松竹梅湯嶋掛額	大判錦絵竪二枚続	明治18年(1885)	松井栄吉
167	俊寛僧都於鬼界嶋遇々康頼之赦免羨慕帰都之図	大判錦絵竪二枚続	明治19年(1886)頃	松井栄吉
168	魯智深爛酔打壊五台山金剛神之図	大判錦絵竪二枚続	明治20年(1887)	松井栄吉
169	平維茂戸隠山鬼女退治之図	大判錦絵竪二枚続	明治20年(1887)頃	松井栄吉
170	袴垂保輔鬼童丸術競図	大判錦絵竪二枚続	明治20年(1887)	長谷川常次郎
171	浪裡白跳張順黒旋風李逵江中戦図	大判錦絵竪二枚続	明治21年(1888)	松井栄吉
172	羅城門渡辺綱鬼腕斬之図	大判錦絵竪二枚続	明治21年(1888)	松井栄吉
173	清玄堕落之図	大判錦絵竪二枚続	明治22年(1889)頃	松井栄吉
174	芳年漫画　浦嶋之子帰国従龍宮城之図	大判錦絵二枚続	明治19年(1886)	小林鉄次朗
175	芳年漫画　舎那王於鞍馬山学武術之図	大判錦絵二枚続	明治21年(1888)	小林鉄次朗
176	新撰東錦絵　於富与三郎話	大判錦絵二枚続	明治18年(1885)	綱島亀吉
177	新撰東錦絵　於富与三郎話　(画稿)	紙　鉛筆・水彩 18.3×29.2cm		
178	新撰東錦絵　義士夜討之図	大判錦絵二枚続	明治18年(1885)	綱島亀吉
179	新撰東錦絵　義士夜討之図　(画稿)	紙　鉛筆・水彩 18.9×41.0cm		
180	新撰東錦絵　長庵札ノ辻ニテ弟ヲ殺害之図	大判錦絵二枚続	明治19年(1886)	綱島亀吉
181	新撰東錦絵　佐野次朗左衛門の話	大判錦絵二枚続	明治19年(1886)	綱島亀吉
182	新撰東錦絵　田宮坊太郎之話	大判錦絵二枚続	明治19年(1886)	綱島亀吉
183	新撰東錦絵　生嶋新五郎之話	大判錦絵二枚続	明治19年(1886)	綱島亀吉
184	新撰東錦絵　鬼神於松四郎三朗を害す図	大判錦絵二枚続	明治19年(1886)	綱島亀吉
185	月百姿　祇園まち	大判錦絵	明治18年(1885)頃	秋山武右衛門
186	月百姿　朝野川晴雪月　孝女ちか子	大判錦絵	明治18年(1885)	秋山武右衛門
187	月百姿　雨後の山月　時致	大判錦絵	明治18年(1885)	秋山武右衛門
188	月百姿　吉野山　夜半月　伊賀局	大判錦絵	明治19年(1886)	秋山武右衛門
189	つきの百姿　大物海上月　弁慶	大判錦絵	明治19年(1886)	秋山武右衛門
190	月百姿　信仰の三日月　幸盛	大判錦絵	明治19年(1886)	秋山武右衛門
191	月百姿　烟中月	大判錦絵	明治19年(1886)	秋山武右衛門
192	月百姿　源氏夕顔巻	大判錦絵	明治19年(1886)	秋山武右衛門

193	つき百姿　垣間見の月　かほよ	大判錦絵	明治19年(1886)	秋山武右衛門
194	月百姿 はかなしや波の下にも入ぬへし　つきの都の人や見るとて　有子	大判錦絵	明治19年(1886)	秋山武右衛門
195	月百姿　朧夜月　熊坂	大判錦絵	明治20年(1887)	秋山武右衛門
196	月百姿　朧夜月　熊坂　(変り摺)	大判錦絵	明治20年(1887)	秋山武右衛門
197	つき百姿　盆の月	大判錦絵	明治20年(1887)	秋山武右衛門
198	つき百姿　盆の月　(校合摺)	55.0×44.0	明治20年(1887)頃	
199	月百姿　月明林下美人来	大判錦絵	明治21年(1888)	秋山武右衛門
200	つきの百姿　月宮迎　竹とり	大判錦絵	明治21年(1888)	秋山武右衛門
201	月百姿　忍岡月　玉渕斎	大判錦絵	明治22年(1889)	秋山武右衛門
202	月百姿　玉兎　孫悟空	大判錦絵	明治22年(1889)	秋山武右衛門
203	つきの百姿　雪後の暁月　小林平八郎	大判錦絵	明治22年(1889)	秋山武右衛門
204	月百姿　梵僧月夜受桂子	大判錦絵	明治24年(1891)	秋山武右衛門
205	月百姿　梵僧月夜受桂子　(校合摺)	55.0×44.0	明治24年(1891)頃	
206	新形三十六怪撰　蒲生貞秀臣土岐元貞甲州猪鼻山魔王投倒図	大判錦絵	明治23年(1890)	佐々木豊吉
207	新形三十六怪撰　蒲生貞秀ノ臣土岐大四郎元貞甲州猪鼻山ニ仁王投倒図 (画稿)	紙　墨・朱 33.9×24.5cm	明治23年(1890)頃	
208	新形三十六怪撰　老婆鬼腕を持去る図	大判錦絵	明治22年(1889)	佐々木豊吉
209	新形三十六怪撰　老婆鬼腕を持去る図　(版木)	39.0×27.3	明治22年(1889)頃	
210	新形三十六怪撰　小町桜の精	大判錦絵	明治22年(1889)	佐々木豊吉
211	新形三十六怪撰　布引滝悪源太義平霊討難波次郎	大判錦絵	明治22年(1889)	佐々木豊吉
212	新形三十六怪撰　内裏に猪早太鵺を刺図	大判錦絵	明治23年(1890)	佐々木豊吉
213	人物　(素描)	紙　鉛筆・水彩 17.8×13.0cm	明治18年(1885)頃	
214	新形三十六怪撰　清姫日高川に蛇体と成る図	大判錦絵	明治23年(1890)	佐々木豊吉
215	新形三十六怪撰　地獄太夫悟道の図	大判錦絵	明治23年(1890)	佐々木豊吉
216	骸骨　(素描)	紙　墨 27.2×21.2cm		
217	新形三十六怪撰　二十四孝狐火之図	大判錦絵	明治25年(1892)	佐々木豊吉
218	新形三十六怪撰　おもゐつつら	大判錦絵	明治25年(1892)	佐々木豊吉
219	近世人物誌　金瓶大黒の娼妓 今紫　やまと新聞附録第六	大判錦絵	明治20年(1887)	やまと新聞社
220	風俗三十二相　うるささう　寛政年間　処女之風俗	大判錦絵	明治21年(1888)	綱島亀吉
221	風俗三十二相　いたさう　寛政年間　女郎の風俗	大判錦絵	明治21年(1888)	綱島亀吉
222	風俗三十二相　けむさう　享和年間　内室之風俗	大判錦絵	明治21年(1888)	綱島亀吉
223	風俗三十二相　しなやかさう　天保年間　傾城之風俗	大判錦絵	明治21年(1888)	綱島亀吉
224	風俗三十二相　みたさう　天保年間　御小性之風俗	大判錦絵	明治21年(1888)	綱島亀吉
225	風俗三十二相　めがさめさう　弘化年間　むすめの風俗	大判錦絵	明治21年(1888)	綱島亀吉
226	風俗三十二相　かゆさう　嘉永年間　かこゐものの風ぞく	大判錦絵	明治21年(1888)	綱島亀吉
227	風俗三十二相　遊歩がしたさう　明治年間　妻君之風俗	大判錦絵	明治21年(1888)	綱島亀吉
228	演劇改良　吉野拾遺　四條縄手楠正行討死之図	大判錦絵三枚続	明治19年(1886)	松井栄吉
229	一ツ家　五代目尾上菊五郎	大判錦絵三枚続	明治23年(1890)	秋山武右衛門
230	弁慶　九代目市川団十郎	大判錦絵三枚続	明治23年(1890)	秋山武右衛門
231	雪月花の内　雪　岩倉の宗玄　尾上梅幸	大判錦絵三枚続	明治23年(1890)	秋山武右衛門
232	雪月花の内　月　毛剃九右衛門　市川三升	大判錦絵三枚続	明治23年(1890)頃	秋山武右衛門
233	雪月花の内　花　御所五郎蔵　市川左団次	大判錦絵三枚続	明治23年(1890)	秋山武右衛門
234	葛の葉狐　九代目市川団十郎	大判錦絵三枚続	明治24年(1891)	佐々木豊吉
235	於御浜御殿徳川大樹　御舩手西瓜合戦上覧之図	大判錦絵三枚続	明治22年(1889)頃	佐々木豊吉

別章　肉筆画・下図類など				
236	大蘇芳年像　金木年景画	大判錦絵	明治25年(1892)	秋山武右衛門
237	猿田彦命	一幅、紙本墨画淡彩	明治元年(1868)頃	
238	家康之図	一幅、絹本着色	明治18年(1885)頃	
239	富士山	一幅、紙本墨画	明治18年(1885)頃	

240	鍾馗	一幅、絹本墨画淡彩	明治23年(1890)
241	小説挿絵　(画稿)	紙　墨	
242	小説挿絵　(画稿)	紙　墨	
243	小説挿絵　(画稿)	紙　墨	
244	筆を執る弟子　(素描)	紙　鉛筆	
245	西洋婦人　(素描)	紙　墨	
246	百面相　(素描)	紙　墨	慶応元年(1865)頃
247	エリーレーンの仁　(下絵)	紙　墨	明治17年(1884)頃
248	『錦絵修身談』　巻二	和綴本一冊	明治17年(1884)
249	長寿の宴　(画稿)	紙　墨	
250	火消し　(版下絵)	紙　墨	
251	看虚百覧怪　累　(画稿)	紙　墨	明治13年(1880)
252	姫　(画稿)	紙　墨	
253	徳川治蹟年間紀事　(画稿)	紙　墨	明治7年(1874)
254	近世奇説年表　(版下絵)	紙　墨	
255	伊勢海老に鼠　(画稿)	紙　墨	
256	鶏　(画稿)	紙　墨	
257	月に杜鵑　(画稿)	紙　墨	
258	鯉　(画稿)	紙　墨	
259	鳩　(画稿)	紙　墨	
260	亀　(画稿)	紙　墨	
261	宗吾霊像　(画稿)	紙　墨	
262	宗吾霊像	紙　木版墨摺	
263	〈川中嶋合戦之図〉出版御届	紙　墨	
特別展示	羽衣　月岡玉瀞画　　浄興寺（上越市）蔵	絹本彩色 115.8×41.2cm	不明



イベント

美術鑑賞講座　会場：講堂

開催日	時間	関連展覧会名	講座名	講師	内容	参加者数
9月5日㈯ ※5月23日㈯から期日変更	14:00～15:30	サンダーソンアーカイブ ウィリアム・モリスと英国の壁紙展	ウィリアム・モリスを知っていますか？	藤田裕彦（当館学芸課長）	近代デザインの先駆者であり、多くの才能に恵まれたウィリアム・モリス。彼の多方面に渡る仕事を紹介。	15
10月17日㈯ ※6月13日㈯から期日変更	14:00～15:30	コレクション展第３期	生誕110年 佐藤哲三	松矢国憲（当館専門学芸員）	作品に溢れる郷土への愛情や温もりに私たちも共感させられる。生誕110年を迎え、改めて郷土の作家を見返す。	31
1月16日㈯	14:00～15:30	—	ナビ派 VS 浮世絵	平石昌子（当館専門学芸員）	ドニ、ボナールなど「ナビ派」の芸術家が、いかに浮世絵と対峙し、新たな美を生みだしていったのかを紹介。	14
2月6日㈯	14:00～15:30	コレクション展第４期	《ヴェネツィア鳥瞰図》—500年前のヴェネツィアを空から眺める	松本奈穂子（当館美術学芸員）	当時の街の様子が、最先端の高い技術をもって正確に描写された《ヴェネツィア鳥瞰図》を、じっくりと細かく見る。	21
2月27日㈯	14:00～15:30	コレクション展第４期	“対話”から読み解く—橋本龍美のおぢぞうさん—	宮下東子（当館専門学芸員）	加茂市出身の日本画家・橋本龍美の作品を中心に、過去の対話型鑑賞からとびだした多様な解釈を紹介。	11

計92名

ワークショップ

開催日	時間	関連展覧会名	ワークショップ名	講師	会場	内容	参加者数
9月13日㈰ ※5月17日㈰から期日変更	①11:00～12:30 ②14:00～15:30	サンダーソンアーカイブ ウィリアム・モリスと英国の壁紙展	木版画ワークショップ－多色で摺り体験！	たかだみつみ氏（木版画家）	ロビー	木版で色を摺り重ねて、植物模様のコースターを作る。モリスが大切にした手仕事を実際に体験。	9

計9名

映画鑑賞会　会場：講堂

開催日	時間	関連展覧会名	タイトル	内容	参加者数
10月24日㈯	14:00～16:00	コレクション展第３期	雨月物語	1953年／日本／97分	12
12月19日㈯	14:00～16:00	—	若草物語	1949年／アメリカ／122分	11
1月23日㈯	14:00～16:00	—	ローマの休日	1953年／アメリカ／118分	19
2月20日㈯	14:00～15:00	コレクション展第４期	にいがた偉人伝 竹谷富士雄／阿部展也／三浦小平二	2016年／日本／各20分	7

計49名

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、４月25日㈯に予定していた企画展「サンダーソンアーカイブ ウイリアム・モリスと英国の壁紙展」記念講演会「ウィリアム・モリスのインテリアを訪ねる旅」（講師：松下由里氏・群馬県立近代美術館 次長兼学芸係長）は中止とした。
※講堂でのイベントは、すべて定員35名、事前申込制とした。

館外活動・地域との連携

出前講座

本年度は出前講座に力を入れ、学校のみならず公民館など一般向けにもアピールできるようメニューを揃えるなど準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染症流行の影響により、周知は行わなかった。その一方で、本年度来館を計画していた学校団体から、その代替として出前講座を求められ、出張授業を実施した。

No.		月　日	時　　間	対　　象	内　　容	コマ数	受講者数	担当者
1	一般	10月17日㈯	13:30～15:00	三条市大島公民館 自分づくり「ときめき成人講座」第6回	「大人のための印象派入門」	1	7	平石
2	学校	7月29日㈬	9:30～10:15 10:35～11:20 11:25～12:10	長岡市立柿小学校 低学年児童27名＋職員３名 中学年児童33名＋職員３名 高学年児童41名＋職員３名	「“みる”ってたのしい!!」 「聞こえてきますか？」 「作者からのメッセージ」	3	110	宮下
3	学校	11月４日㈬	9:30～10:15	小千谷市立和泉小学校　５年生 12＋２名	グループワークによる対話型鑑賞	1	12	宮下
4	学校	11月６日㈮	10:35～11:20	小千谷市立吉谷小学校　５年生 17＋２名	グループワークによる対話型鑑賞	1	17	宮下
5	学校	11月10日㈫	14:05～14:50 14:55～15:40	小千谷市立東小千谷小学校 ５年生　50＋２名	グループワークによる対話型鑑賞	2	50	宮下
6	学校	11月11日㈬	10:40～11:25	小千谷市立南小学校　５年生 19＋1名	グループワークによる対話型鑑賞	1	19	宮下
7	学校	11月17日㈫	9:30～10:30	小千谷市立片貝小学校　５年生 36+1名	グループワークによる対話型鑑賞	1	36	伊澤
8	学校	11月20日㈮	14:00～14:45	小千谷市立千田小学校　５年生 19＋２名	グループワークによる対話型鑑賞	1	19	伊澤
9	学校	12月８日㈫	10:35～11:20	小千谷市立東山小学校　５年生 ９＋1名	グループワークによる対話型鑑賞	1	9	伊澤

合計12コマ　279名

新潟アートリンク

NIIGATAアートリンク2020

■会議の開催

第一回：2020年６月２日㈫14:00　新潟市美術館

第二回：2020年10月20日㈫14:00　新潟県立近代美術館

第三回：2021年１月27日㈬14:00　新潟市新津美術館

■普及部会

第一回：2020年７月９日㈭14:00　新潟市新津美術館

第二回：2020年11月18日㈬14:00　新潟県立近代美術館

第三回：2021年２月18日㈬14:00　新潟市美術館

担当　松本奈穂子

刊行物・鑑賞資料

刊行物名	概　　要	仕　　様	発行部数	発行日	内　　容
R２年度 年間スケジュール	令和２年度の企画展とコレクション展の日程及び内容、年間のイベントなどをまとめたもの	225×376mm（展開サイズ） 蛇腹４つ折り	35,000部	2020年 4月1日	展覧会スケジュール／開館カレンダー／利用案内／交通案内／共催展／イベント情報／施設貸出／小さなお子さんをお連れの方、障害者の方へのご案内／ミュージアムショップKINBI／カフェ「SAKURA TERRACE」／新潟県立万代島美術館の展覧会／友の会のご案内
新潟県立近代美術館だより「雪椿通信」53号 ※新型コロナウイルスの影響で内容に大きな変更が生じたため発行中止	美術館からの情報発信として一般来場者向けに編集したもの	A5判 蛇腹４つ折り （予定）	5,000部 （予定）		特集1 三沢厚彦 ANIMALS IN NAGAOKA／特集２ 久保田成子―新潟生まれの不屈のアーティスト／コレクション展示室より／館長所感／編集部からのひとこと
平成31・令和元年度年報	平成31・令和元年度の活動報告	108頁	電子データ	2021年 2月12日	
企画展「ウィリアム・モリスと英国の壁紙展」鑑賞資料	企画展来場者向けの鑑賞資料	A3判二つ折り モノクロ（リソグラフにて印刷）		2020年 4月4日	壁紙だけじゃない！ウィリアム・モリスの濃い～ぃ生涯／用語&人物解説

作品解説会

来館者サービスの一環として、展覧会への理解を深め、より充実した鑑賞の機会となるように、学芸員による作品解説会を行った。参加者がなかった解説会及び新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止にした解説会については、記録から除いた。

企画展（日曜日　14:00～）
コレクション展（土曜日　11:00～）

【企画展】

展覧会名 期日	人数
Viva Video! 久保田成子展	
3月28日	15
企画展合計	15

【コレクション展】

展覧会名 期日	人数
近代美術館の名品	
7月25日	7
8月 1日	4
8月15日	10
8月22日	2
8月29日	13
9月 5日	3
9月12日	4
9月19日	1
10月 3日	9
第2期小計	53
近代美術館の名品 生誕110年　佐藤哲三と蒲原の画家達 中村忠二　詩情と激情	
10月17日	6
10月24日	4
10月31日	4
11月 7日	3
11月14日	3
11月21日	2
11月28日	4
12月12日	5
12月19日	7
第3期小計	38
近代美術館の名品 名画　世界一周 〈前期〉ルネサンスの版画　〈後期〉水彩画の世界	
1月16日	4
1月23日	13
2月 6日	1
2月13日	1
2月20日	7
2月27日	5
3月 6日	1
3月13日	5
3月20日	5
3月27日	3
第4期小計	45
コレクション展合計	136

団体の受入れ

団体の来館者を受入れ、希望があった団体には作品解説等を行った。
2020年度団体観覧対応実施一覧。（把握できた団体のみ記載）

＊印は解説等を行った団体

●一般団体

コレクション展 第2期

9月 4日㈮	新潟県職員労働組合	＊10名
計1団体	小　計	10名

コレクション展 第3期

10月13日㈫	阪急交通社	20名
10月15日㈭	阪急交通社	20名
11月12日㈭	長岡市三島郡美術教育研究会	＊17名
11月27日㈮	新発田阿賀北地区保護司会	20名
計4団体	小　計	77名

●大学

コレクション展 第2期

9月15日㈫	長岡造形大学	＊19名

コレクション展 第3期

10月31日㈯	上越教育大学学部生及び大学院生	＊13名
11月18日㈬	長岡造形大学	＊56名
計3団体	小　計	88名
総合計		175名

学校教育との連携

●図工・美術、および部活動での利用
学校のカリキュラムで来館した学校等団体に展覧会鑑賞の機会を提供した。
新型コロナウイルス感染症流行の影響により、学校の教育課程による観覧は激減した。その一方で、これまではなかった県内や近隣県からの修学旅行での観覧が数多くを占めた。
また、感染防止の観点から、これまで当館で推奨してきた対話型鑑賞が実施困難となり、これに代わるものとしてコレクション展のワークシートを作成し対応した。

[ワークシートによる鑑賞]

（児童・生徒59名＋引率4名）

コレクション展 第3期

10月29日㈭	長岡市立中之島中央小学校	3年生	59名	4名

[作品解説の実施]

（児童・生徒277名＋引率32名）

コレクション展 第2期

7月22日㈬	新潟県立長岡明徳高等学校	社会人クラス	7名	1名
8月 5日㈬	新潟県立長岡工業高等学校 美術部	1～3年生	4名	1名
8月11日㈫	新潟県立長岡工業高等学校 美術部	1・2年生	10名	3名
9月 3日㈭	長岡フレンドリールーム	小学生・中学生	13名	5名
10月12日㈭	山形県 朝日町立朝日中学校	3年生	44名	7名

コレクション展 第3期

11月 5日㈭	糸魚川市立青海小学校	5年生	20名	4名

コレクション展 第4期

3月11日㈭	上越市立春日中学校	2年生	63名	5名

Viva Video! 久保田成子展

3月23日㈫	直江津中等教育学校	1年生	116名	6名

[展覧会鑑賞のみ]

（児童・生徒95名＋引率23名）

コレクション展 第2期

7月 3日㈮	三条市立栄北小学校	6年生	15名	2名
9月29日㈫	佐渡市立高千小学校	6年生	9名	3名
9月29日㈫	佐渡市立金泉小学校	6年生	8名	2名
10月 1日㈭	五泉市立川東中学校	3年生	33名	5名
10月 2日㈮	上越市立高志小学校	6年生	22名	2名

コレクション展 第3期

10月16日㈮	長岡市立東北中学校	特別支援学級	8名	9名

●教員研修会の受入れ
要望があった場合、学校教員の研修会の会場として館の施設を提供。研修会の講師を引き受けた。（館外で実施した研修会については、「調査・研究」の「講演・講義等」項を参照のこと）

11月12日㈭	長岡市三島郡美術教育研究会 （講師：宮下東子）	17名

観覧料免除

新潟県立近代美術館規則第13条の規定に基づき、学校教育活動として観覧する場合の生徒及び小中学校・特別支援学校・高等学校の引率者、心身障がい者及びその介助者等に対し、観覧料を免除した。

また、学校からの要請があった場合、その内容に応じて解説・案内・レクチャーなどを行った。

月	期間	日数	開催企画展名称	企画展									コレクション展									月計
				学校等						障がい者	介助	合計	学校等						障がい者	介助	合計	
				小中			高校						小中			高校						
				校数	児童・生徒	引率	校数	生徒	引率				校数	児童・生徒	引率	校数	生徒	引率				
4	1～3	3											0	0	0	0	0	0	1	0	1	65
	4～17	12	ウィリアム・モリス展	0	0	0	0	0	0	42	11	53	0	0	0	0	0	0	9	2	11	
5	12～14	3											0	0	0	0	0	0	1	1	2	235
	15～31	15	ウィリアム・モリス展	0	0	0	0	0	0	127	28	155	0	0	0	0	0	0	67	11	78	
6	2～14	12											0	0	0	0	0	0	11	2	13	24
	23～30	7											0	0	0	0	0	0	8	3	11	
7	1～31	27											1	(15)	2	1	7	1	19	10	39	39
8	1～30	27											0	0	0	2	14	4	36	12	66	66
9	1～30	26											3	(30)	10	0	0	0	34	7	51	51
10	1～4	4											3	(99)	14	0	0	0	5	0	19	65
	13～31	17											2	(68)	12	0	0	0	25	9	46	
11	1～29	25											1	(20)	4	0	0	0	14	4	22	22
12	1～20	18											0	0	0	0	0	0	13	3	16	16
1	5～31	24											0	0	0	0	0	0	12	4	16	16
2	2～28	24											0	0	0	0	0	0	24	8	32	32
3	2～19	16											1	(61)	5	0	0	0	12	3	20	110
	20～31	10	久保田成子展	1	(115)	6	0	0	0	39	8	53	1	(115)	6	0	0	0	26	5	37	
合計		270		1	(115)	6	0	0	0	208	47	261	12	(408)	53	3	21	5	317	84	480	741

＊小学校・中学校及び特別支援学校の児童生徒は観覧料無料のため、免除者数には含まない。（表中カッコ書きの数値）
＊新型コロナウイルス感染拡大防止のため以下の期間を臨時休館とした。
コレクション展：4/18～5/10（5/11は月曜休館のため5/12再開）
企画展：4/18～5/14（5/15再開）

博物館実習

【趣　旨】

学芸員資格取得を目指す学生等のための博物館実習を実施し、2期9名の実習生を受け入れた。美術館学芸員の諸業務に関する講義のほか、各分野の作品の取り扱いについて実習を行った。後半には「展覧会計画」として、展覧会を計画･立案、図面や要項の作成、展示、撤収までのひととおりの流れを体験する演習を行った。学芸業務を実際に体験させることに重点をおいた。

【実習期間】

(1) 9月3日㈭～9月11日㈮　※土・日を除く計7日間
(2) 9月24日㈭～10月2日㈮　※土・日を除く計7日間

【実習生の所属および受け入れ人数】

(1) 帝京大学　1名
　長岡造形大学　4名
(2) 秋田公立美術大学　1名
　長岡造形大学　3名
　合計9名

【カリキュラム】

月　日	時限	内　容	担　当
9月3日㈭ 9月24日㈭	1	開講式／オリエンテーション／館内見学	館長・副館長／松本
	2	講義：博物館運営に関わる法律・現在の博物館を取り巻く状況	藤田
	3	講義：作品の調査研究	松矢
	4	実習：展覧会計画(1) テーマ検討	松本･伊澤･平石
9月4日㈮ 9月25日㈮	1	講義：学芸課の業務 展覧会の企画から	藤田
	2	実習：展覧会計画（2） テーマ検討、作品選定	松本･伊澤･平石
	3	実習：作品の取り扱い・点検（平面作品）※保存修復含	松矢・松本
	4		
9月7日㈪ 9月28日㈪ （休館日）	1	講義：ミュージアムエデュケーション	宮下
	2		
	3	実習：作品の取り扱い・展示（工芸）	藤田
	4	実習：展覧会計画（3） 作品選定	松本･伊澤･平石
9月8日㈫ 9月29日㈫	1	実習：作品の取り扱い・展示（軸・屏風）	宮下
	2		
	3	実習：展覧会計画（4） 要項作成	松本･伊澤･平石
	4		
9月9日㈬ 9月30日㈬	1	実習：作品の取り扱い・展示（彫刻）	伊澤
	2	講義：総務課の業務（含館内で働く人々）	後藤
	3	実習：展覧会計画（5） リスト確定・図面作成	松本･伊澤･平石
	4		
9月10日㈭ 10月1日㈭	1	講義：作品の収集・分類・保管／データベース管理	平石／濱田
	2	実習：展覧会計画（6） パネル・キャプション等作成	松本･伊澤･平石
	3		
	4		
9月11日㈮ 10月2日㈮	1	実習：展覧会計画（7） 作品搬入、展示作業	松本･伊澤･平石
	2		
	3		
	4	実習：展覧会計画（8） 展示講評、撤収作業／閉講式	学芸課／館長・副館長

8時50分出勤　実習場所は会議室を基本とする
①9:00～10:20（80分）　②10:40～12:00（80分）
③13:10～14:30（80分）④14:50～16:10（80分）

担当　松本奈穂子

イベント

※新型コロナウイルス感染対策の観点から、館外の人材の招聘や、狭い空間に多くの人が一定時間滞在するようなイベントの開催を見合わせた。

刊行物

刊行物名	概　　要	仕　様	発行部数	発行日	内　　容
令和２年度年間スケジュール	令和２年度の企画展の日程及び内容などをまとめたもの。	A４判 巻き三つ折り	50,000部	2020年 ４月1日	展覧会予定／開館カレンダー／観覧料免除／小さなお子様・障害者向け施設案内／友の会案内／ミュージアムショップ案内／新潟県立近代美術館の企画展／交通案内／駐車場案内
新潟県立万代島美術館ニュース「B.island」No.19	美術館からの情報発信として一般来館者向けに編集したもの。	A3判二つ折り（A4判）4頁	5,000部	2020年 4月1日	2020年度の展覧会ピックアップ－ルート・ブリュック 蝶の軌跡／ 2020年度の展覧会／新潟県立近代美術館の企画展／「乙女のデザイン 大正イマジュリイの世界」より一研究ノート「佐々木林風について」、担当雑感／事業報告一所蔵品展「コレナニ!?びじゅつ～アートいろいろ見かたイロイロ～」／ 2019年度企画展イベントピックアップ
新潟県立近代美術館　研究紀要第19号	学芸員による研究報告	A４判 104頁	400部	2021年 3月18日	・長嶋圭哉「日本画家・田村豪湖の人物と作品について」 ・伊澤朋美「熊岡美彦作《半裸像》《ホーレダム下絵(二)》について」 ・英文要旨 ・澤田佳三「萬鐵五郎の「混沌」一禅を視点とする解釈」 ・松矢国憲「江口草玄の書の雑誌『ひびき』について」

作品解説会

来館者サービスの一環として、展覧会の会期中に展覧会への理解を深め、より充実した鑑賞の機会となるよう学芸員による作品解説会等を行った。

企画展

ルート・ブリュック　蝶の軌跡

期日	人数
10月24日㈯	21名
11月1日㈰	18名
11月8日㈰	20名
11月21日㈯	28名
11月29日㈰	18名
（5回）	
小計	105名

企画展

芳年
激動の時代を生きた鬼才浮世絵師

期日	人数
3月27日㈯	48名
（4回）	
小計	48名

総合計　9回
153名

団体の受入れ

団体来館のうち、希望に応じて作品解説や施設紹介等を行った。一覧は把握した団体のみを記載。

＊印は解説等を行った団体

●一般団体

THE ドラえもん展 NIIGATA 2020

6月13日㈯	こころ楽々	13名
6月19日㈮	KINGO カレッジ	10名
7月 4日㈯	アートキャンプ新潟	6名
7月11日㈯	こころ楽々	5名
7月11日㈯	放課後等デイサービス　みいむ	10名
7月17日㈮	ほっとサポートしんえい	5名
7月22日㈬	ほっとサポートしんえい	4名
7月23日㈭	放課後等デイサービス　オハナさきがけ	10名
7月23日㈭	関川村教育委員会	11名
8月 6日㈭	ネクサス・わかば	5名
8月 6日㈭	地域活動支援センター　1UP	7名
8月 7日㈮	放課後等デイサービス　ひなた	13名
8月 7日㈮	アートキャンプ　ミイム	9名
8月11日㈫	放課後等デイサービス　オハナさきがけ	16名
8月11日㈫	ここまま	6名
8月18日㈫	放課後等デイサービス　みいむ	11名
8月19日㈬	のぞみの家　福祉会　さんさん館	7名
8月22日㈯	就労移行支援事業所　ラボラホ	11名
8月22日㈯	放課後等デイサービス　エコキッズアカデミー	17名
計19団体	小　計	176名

ルート・ブリュック　蝶の軌跡

10月14日㈬	たちばな　イオン新潟西店	9名
10月17日㈯	こころ楽々	6名
10月24日㈯	こころ楽々	4名
10月30日㈮	NPOにいがた　ジョブサポートセンター	8名
11月28日㈯	こころ楽々	5名
12月 2日㈬	新潟市小学校教育研究会　＊	36名
計6団体	小　計	68名

岡本太郎展　太陽の塔への道

12月19日㈯	こころ楽々	5名
1月 5日㈫	放課後等デイサービス　みいむ	7名
1月23日㈯	こころ楽々	5名
1月24日㈰	こころ楽々	13名
1月30日㈯	デイワークス中之島	12名
1月31日㈰	地域活動支援センター　1UP	16名
2月 6日㈯	こころ楽々	6名
2月24日㈬	名代そば由屋	12名
2月27日㈯	こころ楽々	8名
3月 5日㈮	中央区サンロード	5名
計10団体	小　計	89名

芳年　激動の時代を生きた鬼才浮世絵師

3月31日㈬	アートキャンプ　えるも	6名
計1団体　小計		6名

●幼稚園・保育園

THE ドラえもん展 NIIGATA 2020

			（引率）
7月7日㈫	物見山はじめ保育園	10名	（2名）
8月5日㈬	サロン･ド･ひまわり上近江保育園	6名	（2名）
計2団体	小　計		20名

合計　38 団体　359名

学校教育との連携

●図工・美術の授業及び部活動での利用－展覧会の鑑賞
学校のカリキュラム等で来館した学校団体に展覧会の鑑賞の機会を提供した。
特に希望のあった学校団体に関しては、学芸員による作品解説を行った。

[学芸員による作品解説を行った学校]　550名
（児童・生徒511名＋引率者39名）

ルート・ブリュック　蝶の軌跡

10月24日㈯	新潟県立新潟向陽高等学校	4名（1名）
10月30日㈮	長岡市立上川西小学校　（6年）	66名（6名）
11月12日㈭	糸魚川市立西海小学校　（6年）	18名（5名）
11月20日㈮	長岡市立浦瀬小学校　（6年）	17名（5名）
12月　4日㈮	新潟県立大手高等学校	40名（3名）

岡本太郎展　太陽の塔への道

12月22日㈫	新潟県立新潟商業高等学校（2年）	120名（6名）
12月23日㈬	新潟県立新潟商業高等学校（2年）	160名（6名）
12月24日㈭	新潟県立新潟商業高等学校（2年）	80名（4名）
2月　9日㈫	新潟大学附属特別支援学校	6名（3名）

[展覧会鑑賞のみの学校]　202名
（児童・生徒182名＋引率者20名）

THE ドラえもん展 NIIGATA 2020

6月27日㈯	新潟県立新潟青陵高等学校	7名（1名）
7月16日㈭	鹿島学園高等学校	13名（1名）
7月22日㈬	精華学園高等学校新潟中央校（1～3年）	12名（3名）
8月　4日㈫	新潟市立南浜中学校　（1～3年）	11名（1名）
8月　6日㈭	村上市立荒川中学校　（1～3年）	18名（1名）
8月　6日㈭	北越高等学校	6名（2名）
8月18日㈫	新潟市立東石山中学校　（1～2年）	8名（1名）
8月20日㈭	上越市立直江津東中学校（1～3年）	19名（2名）

ルート・ブリュック　蝶の軌跡

10月15日㈭	みなかみ町立月夜野中学校（2年）	20名（1名）
10月26日㈪	十日町市立中条中学校	3名
10月30日㈮	佐渡市立高千中学校	3名
11月　6日㈮	新潟工科専門学校　（1年）	20名
11月　6日㈮	糸魚川市立青海小学校	5名（1名）
11月25日㈬	精華学園高等学校グリッター フリースクール	5名（3名）

岡本太郎展　太陽の塔への道

1月31日㈰	新潟県立江南高等学校	22名（1名）
2月22日㈪	精華学園高等学校新潟中央校	10名（2名）

●校外学習・総合学習
学校教育、特に中学校の校外学習及び総合学習での利用に供した。希望のあった場合は目的に応じて施設や職業に関する質問への対応や案内を行った。

[学芸員による解説を行った学校]　0名
（児童・生徒0名＋引率者0名）

該当なし

[展覧会鑑賞のみの学校]　8名
（生徒5名＋引率者3名）

ルート・ブリュック　蝶の軌跡

10月15日㈭	新潟市立大形中学校（2年）	5名（3名）

観覧料免除

新潟県立近代美術館規則第13条の規定に基づき、学校教育活動として観覧する場合の生徒及び小中学校・特別支援学校・高等学校の引率者、心身障害者及びその介助者等に対し、観覧料を免除した。

また、学校からの要請があった場合、その内容に応じて解説・案内・レクチャーなどを行った。

展覧会名	会期	日数	学校等						障害者	介助	合計
			小中・特			高校					
			校数	児童・生徒	引率	校数	生徒	引率			
THE ドラえもん展 NIIGATA 2020	4月1日～8月23日	109	4	(56)	5	8	50	7	1,156	345	1,563
ルート・ブリュック　蝶の軌跡	10月10日～12月6日	52	8	(137)	18	2	44	3	262	56	383
岡本太郎展　太陽の塔への道	12月19日～3月7日	68	1	(6)	3	3	392	19	920	266	1,600
芳年展　激動の時代を生きた鬼才浮世絵師	3月20日～3月31日	11	0	(0)	0	0	0	0	46	7	53
合　計		240	13	(199)	26	13	486	29	2,384	674	3,599

＊小学校、中学校及び特別支援学校（初等部・中等部）の児童生徒は観覧料無料のため、合計には含まない。（表中カッコ書きの数値）
＊4/18 ～ 5/10は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休館。

夏休み期間 観覧料免除者数（再掲）

展覧会名	期間	日数	校数	生徒
THE ドラえもん展 NIIGATA 2020	8月2日～8月19日	10	4	12

サポートメンバー
（新潟県立万代島美術館ボランティア組織）

新潟県立万代島美術館では、美術館と県民とをより親しく結びつけることを目的として、新潟県立万代島美術館サポートメンバーを組織している。本年度は下記のとおり活動を行った。

【ねらい】

1　来館者に生涯学習の機会と場を提供する。
2　美術館の活動を共有し、美術館への関心と関わりを深めることにより、美術館の愛好者を増大する。

【登録人数】（Ｒ３年３月現在）

６名

【活動内容】

展覧会に付随するイベント運営への協力。万代島美術館の活動や展覧会業務で必要な活動への協力。

・広報活動(ポスター、チラシ、年間スケジュールの発送作業)への協力

【課題】

コロナ禍により活動の機会が減少した。今後は必要な対策を取った上で、徐々に活動の機会を増やしていきたい。

博物館実習

【趣　旨】

学芸員資格取得を目指す学生のために博物館実習を実施し、４名の実習生を受け入れた。各分野についての講義の他、作品の点検・取扱いの指導も行った。研究課題として所蔵品を使った展覧会企画を一人ずつ発表し、学芸員の仕事について学んだ実習の総まとめとした。なお、各講義において新型コロナウイルス対策を徹底し、実習生の通勤が公共交通機関の混雑時間帯に重ならないよう、実習内容の一部を在宅での研究課題に振り替えて実施した。

【実習期間】

10月22日㈭～29日㈭

【実習生の所属および受入人数】

新潟大学　　２名
新潟産業大学　１名
東京農業大学　１名　　合計４名

【カリキュラム】

月日	曜日	時限	内　容	担　当
10月22日	木	1	開校式／館長挨拶／オリエンテーション／施設案内	館長･長嶋（課員）
		2	万代島美術館の現状と課題	桐原
		3	研究課題（課題説明、テーマ・作品検討）	長嶋（池田）
		4	研究課題（テーマ・作品決定）	（在宅実習）
10月23日	金	1	展覧会の企画・運営／総論	桐原
		2	作品の点検・取扱い（平面）	澤田
		3	展示室案内・企画展見学	今井
		4	研究課題（資料作成）	（在宅実習）
10月26日	月	1	調査研究／作品収集／保存・修復	澤田
		2	教育普及事業／刊行物／ホームページ／データベース	今井
		3	研究課題（進捗状況確認、資料作成）	長嶋（池田）
		4	研究課題（資料作成）	（在宅実習）
10月27日	火	1	友の会・サポートメンバー／作家資料の保管	池田
		2	連携・協働（アートリンク）／広報／所蔵品貸出	長嶋
		3	作品の点検・取扱い（立体・写真）	桐原
		4	研究課題（資料作成）	（在宅実習）
10月28日	水	1	総務担当の業務について（予算・人事等）	和田
		2	受付・監視の仕事	嘱託員
		3	作品の点検・取扱い（日本画）	長嶋
		4	研究課題（スライド作成）	（在宅実習）
10月29日	木	1	研究課題（発表準備･配布資料準備）	長嶋（池田）
		2	課題発表・講評	館長･学芸
		3	閉校式	館長･長嶋

※10:10出勤　　実習場所：準備室
①10:10～11:30（80分）　②11:50～13:10（80分）
③14:15～15:35（80分）　④15:55～17:15（80分）

担当：長嶋圭哉、池田珠緒

新潟県立近代美術館

【調　査】

展覧会関連

濱田真由美　久保田成子展作品調査　新潟市内　4月21日

松矢国憲　平等院展作品調査　平等院　8月27-28日

伊澤朋美　三沢厚彦展作品調査及び資料閲覧　御殿場及び東京国立博物館資料館　10月19-20日

松矢国憲・伊澤朋美
正倉院展作品調査　松坂屋美術館　11月10日

藤田裕彦・伊澤朋美（21日のみ）
三沢厚彦展作品調査　あべのハルカス美術館
11月20-21日

作品・作家調査

松矢国憲　江口草玄関連作品調査　金沢市個人宅
9月10日

松矢国憲・山本未知雄
作品調査　長岡市個人宅　10月8日

藤田裕彦　目黒順三郎関連調査　新潟市個人宅　11月25日

【研究紀要】

新潟県立近代美術館研究紀要　第19号　2021年3月
松矢国憲　「江口草玄の書の雑誌『ひびき』について」
伊澤朋美　「熊岡美彦作《半裸像》《ホーレダム下絵(二)》について」

【寄　稿】

藤田裕彦　新潟日報「今週のイチオシ　会田誠著・『げいさい』」9月6日

松矢国憲　新潟日報「展覧会へようこそ　生誕110年佐藤哲三と蒲原の画家達」10月10日

【講演・講義等】

宮下東子　村上市岩船郡中学校教育研究会美術部研修会「鑑賞と教育」 11月5日

【研　修】

松本奈穂子　第2期メディア研修会　生涯学習推進センター
8月18日

飯田美輝夫　広報スキルパワーアップ研修　県庁行政庁舎
10月13日

【審査等】

松矢国憲　上越市美術資料収集委員会　小林古径記念美術館
9月11日（書面審査）・3月22日

藤田裕彦　長岡造形大学3年・絵画・版画ゼミ進級展示作品講評会　ショップイン大手　1月29日

【会議等】

NIIGATAアートリンク2020連絡会議

松本奈穂子・山本未知雄・藤田裕彦
第1回　新潟市美術館　6月2日
第3回　新潟市新津美術館　1月27日
松本奈穂子・山本未知雄・藤田裕彦・宮下東子
第2回　近代美術館　10月20日

NIIGATAアートリンク普及部会

宮下東子・飯田美輝夫・伊澤朋美
第1回　新潟市新津美術館　7月9日
第2回　近代美術館　11月18日
第3回　新潟市美術館　2月18日

展覧会関連

濱田真由美　久保田成子展ウェブ会議　4月13日、4月25日、5月12日、5月15日、6月3日、6月22日、6月23日、6月25日、6月26日、6月29日、7月22日、8月11日、8月19日、9月8日、9月17日、9月24日、9月28日、10月2日

松矢国憲　「よみがえる正倉院宝物」全体会議　奈良国立博物館　7月27日

松矢国憲　平等院展ウェブ会議　TeNYテレビ新潟3階会議室　9月23日

松矢国憲・藤田裕彦
平等院展ウェブ会議　TeNYテレビ新潟3階会議室　2月16日

【学校等広報活動】

山本未知雄・飯田美輝夫・齋藤今日子（万代島美術館長）
三条市小中学校教頭会（30名）　三条市役所栄庁舎　8月5日

山本未知雄・飯田美輝夫・桐原浩（万代島美術館業務課長）
胎内市教頭会（10名）　胎内市役所黒川庁舎
9月9日

山本未知雄・飯田美輝夫･今井有（万代島美術館業務課長代理）
新潟市中学校教頭会（60名）　新潟市白根アグリパーク　9月11日

山本未知雄　小千谷市小・中・特別支援学校教頭会（16名）
小千谷市立小千谷小学校集会室　9月23日

飯田美輝夫・池田珠緒（万代島美術館主任学芸員）
新発田市教頭会（35名）　新発田市役所豊浦庁舎
9月25日

飯田美輝夫　柏崎市教頭会（32名）　柏崎市産業文化会館
9月29日

山本未知雄・飯田美輝夫
長岡市教頭会（92名）　長岡市立劇場
9月30日

飯田美輝夫　十日町市・津南町小中学校教頭会（32名）
十日町市博物館集会室　10月８日

飯田美輝夫・今井有（万代島美術館業務課長代理）
新潟市小学校教頭会総務会（20名）
新潟市陸上競技場会議室　10月15日

山本未知雄・長嶋圭哉（万代島美術館主任学芸員）
燕市・弥彦村合同小中特別支援学校教頭会（22名）　弥彦総合文化会館　10月15日

山本未知雄・長嶋圭哉（万代島美術館主任学芸員）
見附市小中学校教頭会（13名）
見附市役所　10月15日

山本未知雄　聖籠町教頭会（４名）　聖籠町立山倉小学校
12月８日

山本未知雄　阿賀野市立教頭会（12名）
阿賀野市立水原小学校　12月８日

飯田美輝夫・桐原浩（万代島美術館業務課長）
五泉市教頭会（13名）　五泉市立図書館
12月10日

新潟県立万代島美術館

【調　査】

展覧会関連

池田珠緒　岡本太郎展関連調査　秋田市立千秋美術館
7月16日-7月18日

今井有　ルート・ブリュック展関連調査　新潟市内
10月26日

澤田佳三　福富太郎の眼展関連文献調査
近代美術館　12月25日
新潟県立図書館　1月28日、2月10日

長嶋圭哉　芳年展関連調査
作家調査　浄興寺（上越市）　12月9日
文献調査　長岡市立中央図書館　3月4日

作品調査

長嶋圭哉　竹内蘆風関連調査
瑞音院（長岡市）　5月26日
個人宅（長岡市）　7月30日、8月28日、1月13日
田村豪湖関連調査
長徳寺（新発田市）　9月21日
平等寺（沼田市）　10月3日
宗現寺（新潟市）　11月2日
寶林寺、十二神社（南魚沼市）　11月25日
個人宅（南魚沼市）　1月13日

澤田佳三　野見山暁治関連調査　個人宅（東京都）
11月16日

桐原浩　目黒順三郎関連調査　個人宅（新潟市）
11月25日

作家調査

澤田佳三　萬鐵五郎文献調査　新潟県立図書館　7月21日

長嶋圭哉　田村豪湖文献調査
長岡市立中央図書館　8月28日、11月25日、1月13日
新潟県立文書館　10月7日

桐原浩　水島爾保布文献調査
新潟市立中央図書館　1月13日、1月29日
新潟県立図書館　3月9日

池田珠緒　個展視察（杉原伸子×中村一政展、楓画廊、新潟市）　1月15日

その他調査

今井有　美術教育関連文献調査　新潟県立図書館
1月22日

【研究紀要】

新潟県立近代美術館研究紀要　第19号　2021年3月
澤田佳三　「萬鐵五郎の「混沌」―禅を視点とする解釈」
長嶋圭哉　「日本画家・田村豪湖の人物と作品について」

【寄　稿】

桐原浩　新潟日報　「展覧会へようこそ　星野健司彫刻展 女戦士たちの帰還　納得と違和 生命感の源」
10月15日

今井有　新潟日報　「展覧会へようこそ　ルート・ブリュック 蝶の軌跡　「用」不問 造形美を追求」
10月29日

澤田佳三　近代画説　第29号　「萬鐵五郎の雲と自画像―禅を視点とする解釈」（研究発表要約）
12月19日

池田珠緒　新潟日報　「展覧会へようこそ　岡本太郎展 太陽の塔への道　未来礼賛への異議 今に」
2月11日

桐原浩　ZENBI 全国美術館会議機関紙 第19号　「コロナ禍中での新潟県立美術館の対応」　3月1日

【講演・講義等】

池田珠緒　にいがた県政出前講座「お出かけ美術講座」
胎内市中央公民館　3月15日

【会議等】

NIIGATAアートリンク2020連絡会議

今井有・長嶋圭哉
第1回　新潟市美術館　6月2日
第2回　近代美術館　10月20日
第3回　新潟市新津美術館　1月27日

NIIGATAアートリンク普及部会

今井有・池田珠緒
第1回　新潟市新津美術館　7月9日
今井有　第2回　近代美術館　11月18日
今井有・桐原浩
第3回　新潟市美術館　2月18日

展覧会関連

澤田佳三　福富太郎の眼展全体会議　東京ステーションギャラリー　6月26日

その他

桐原浩　全国美術館会議第35回学芸員研修会「アフターコロナに向けて～美術館運営支援を考える」
3月5日（オンライン開催）

美術品の収集

令和２年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、新潟県美術品収集委員会を開催せず、美術品の収集は行わなかった。

美術品の修復

分野	作家名	作品名	制作年	修復内容	修復者	修復期間
工芸	16世紀のフランドルの工房	サヴェージ・ガーデン	1580年頃	展示具変更	森絵画保存修復工房（神奈川県）	令和３年 2月25、26日
素描	田畑あきら子	作品 No.1	1961年	マット装交換	有限会社はにわ（長岡市）	令和３年３月31日
素描	田畑あきら子	作品 No.2	1964年	マット装交換	有限会社はにわ（長岡市）	令和３年３月31日
素描	田畑あきら子	作品 No.3	1964年	マット装交換	有限会社はにわ（長岡市）	令和３年３月31日
素描	田畑あきら子	作品 No.4	1964年	マット装交換	有限会社はにわ（長岡市）	令和３年３月31日
素描	田畑あきら子	作品 No.5	1964年	マット装交換	有限会社はにわ（長岡市）	令和３年３月31日
素描	田畑あきら子	作品 No.6	1965年	マット装交換	有限会社はにわ（長岡市）	令和３年３月31日
素描	田畑あきら子	作品 No.9	1965年	マット装交換	有限会社はにわ（長岡市）	令和３年３月31日
素描	田畑あきら子	作品 No.10	1965年	マット装交換	有限会社はにわ（長岡市）	令和３年３月31日
素描	田畑あきら子	作品 No.11	1966年	マット装交換	有限会社はにわ（長岡市）	令和３年３月31日
素描	田畑あきら子	作品 No.12	1966年	マット装交換	有限会社はにわ（長岡市）	令和３年３月31日
素描	田畑あきら子	作品 No.13	1966年	マット装交換	有限会社はにわ（長岡市）	令和３年３月31日
素描	田畑あきら子	作品 No.14	1966～67年	マット装交換	有限会社はにわ（長岡市）	令和３年３月31日
素描	田畑あきら子	作品 No.15	1966～67年	マット装交換	有限会社はにわ（長岡市）	令和３年３月31日
素描	田畑あきら子	作品 No.16	1966～67年	マット装交換	有限会社はにわ（長岡市）	令和３年３月31日
素描	田畑あきら子	作品 No.17	1967～68年	マット装交換	有限会社はにわ（長岡市）	令和３年３月31日
素描	田畑あきら子	作品 No.18	1967年	マット装交換	有限会社はにわ（長岡市）	令和３年３月31日
素描	田畑あきら子	作品 No.19	1967年	マット装交換	有限会社はにわ（長岡市）	令和３年３月31日
素描	田畑あきら子	作品 No.20	1967年	マット装交換	有限会社はにわ（長岡市）	令和３年３月31日
素描	田畑あきら子	作品 No.21	1968年	マット装交換	有限会社はにわ（長岡市）	令和３年３月31日
素描	田畑あきら子	作品 No.22	1968年	マット装交換	有限会社はにわ（長岡市）	令和３年３月31日
素描	田畑あきら子	作品 No.23	1968年	マット装交換	有限会社はにわ（長岡市）	令和３年３月31日
素描	田畑あきら子	作品 No.24	1968年	マット装交換	有限会社はにわ（長岡市）	令和３年３月31日
素描	田畑あきら子	作品 No.25	1968年	マット装交換	有限会社はにわ（長岡市）	令和３年３月31日
素描	田畑あきら子	作品 No.26	1968年	マット装交換	有限会社はにわ（長岡市）	令和３年３月31日
素描	田畑あきら子	作品 No.27	1968年	マット装交換	有限会社はにわ（長岡市）	令和３年３月31日
素描	田畑あきら子	作品 No.28	1968年	マット装交換	有限会社はにわ（長岡市）	令和３年３月31日
素描	田畑あきら子	作品 No.29	1968年	マット装交換	有限会社はにわ（長岡市）	令和３年３月31日
素描	田畑あきら子	作品 No.30	1968年	マット装交換	有限会社はにわ（長岡市）	令和３年３月31日
素描	田畑あきら子	作品 No.31	1969年	マット装交換	有限会社はにわ（長岡市）	令和３年３月31日
素描	田畑あきら子	作品 No.32	1968年	マット装交換	有限会社はにわ（長岡市）	令和３年３月31日
素描	田畑あきら子	作品 No.33	1969年	マット装交換	有限会社はにわ（長岡市）	令和３年３月31日
素描	田畑あきら子	作品 No.34	1969年	マット装交換	有限会社はにわ（長岡市）	令和３年３月31日
素描	田畑あきら子	作品 No.35	1969年	マット装交換	有限会社はにわ（長岡市）	令和３年３月31日
素描	田畑あきら子	作品 No.36	1969年	マット装交換	有限会社はにわ（長岡市）	令和３年３月31日
素描	田畑あきら子	作品 No.37	1969年	マット装交換	有限会社はにわ（長岡市）	令和３年３月31日
素描	田畑あきら子	作品 No.38	1969年	マット装交換	有限会社はにわ（長岡市）	令和３年３月31日
素描	田畑あきら子	作品 No.39	1969年	マット装交換	有限会社はにわ（長岡市）	令和３年３月31日
素描	田畑あきら子	作品 No.40	1969年	マット装交換	有限会社はにわ（長岡市）	令和３年３月31日
素描	田畑あきら子	作品 No.41	1964年	マット装交換	有限会社はにわ（長岡市）	令和３年３月31日

美術品の燻蒸

平成31年度（令和元年度）の収集品等を燻蒸し、収蔵庫に収めた。

分野	作家名	作　品　名
日本画	木村武山	巣立
日本画	下村観山	普賢文殊
日本画	寺崎廣業	白牡丹
日本画	山元春挙	峡谷清流図・深山風雪図
洋画	池山阿有	炉ばた
工芸	板谷波山	青磁竹節香炉
工芸	二代 宮川香山	八幡古瓦
版画	小林ドンゲ	堀口大學詩集『夕の虹』所載版画６点
版画	小林ドンゲ	銅版画集『小林ドンゲ蔵書票作品集』
版画	小林ドンゲ	銅版画集『雨月物語』
素描	小林ドンゲ	スケッチブック『沖に立つ虹』下絵
素描	小林ドンゲ	スケッチブック『小林ドンゲ蔵書票作品集』下絵
素描	小林ドンゲ	堀口大學詩文集『秋黄昏』表紙原版５点
資料	久保田成子	マルセル・デュシャンとジョン・ケージ
資料	堀口大學	小林ドンゲ宛書簡　他９点
資料	堀口大學	詩集『沖に立つ虹』特別装幀本
資料	堀口大學	森谷均宛はがき

燻蒸者	株式会社サニーサニター（新潟県）
実施期間	令和３年１月29日～２月５日
使用薬剤	エキヒュームＳ
燻蒸方法	包み込み燻蒸処理

美術品の貸出

令和２年度　作品貸出（近代美術館所管作品）

展覧会名	貸出先（住所）	会　　期	作家名	作品名
「長沢明展　オワリノナイフーケイ」	新潟市美術館	令和２年４月25日～６月７日 ※新型コロナのため4/25 ～ 5/11 臨時休館	長沢明	BOOKBOARD-Blue
			長沢明	Melodical Note
「開館50周年　超・名品展」	兵庫県立美術館	令和２年６月２日～６月７日 ※新型コロナのため会期短縮	加山又造	月と駱駝
「没後40年　宇田荻邨展」	三重県立美術館	※新型コロナのため開催中止	宇田荻邨	鷹ヶ峰
「クールベと海　―フランス近代　自然へのまなざし」	山梨県立美術館	令和２年９月11日～11月３日	ギュスターヴ・クールベ	エトルタ海岸、夕日
	ふくやま美術館	令和２年12月19日～令和３年２月21日	コンスタン・トロワイヨン	リンゴの取り入れ
「生誕100年記念　日本画家・横山操展―その画業と知られざる顔―」	富山県水墨美術館 新潟市新津美術館	令和２年９月18日～11月３日 令和３年１月23日～３月21日	横山操	炎々桜島
			横山操	網
			横山操	燈台
			横山操	月嶺
			横山操	曇れる丘
			横山操	波濤
			横山操	流星
			横山操	湖映
			横山操	富士
			横山操	秋
			横山操	伊豆
			横山操	林
			横山操	潮来の夕
			横山操	親不知夜雨
「日本の美術を貫く 炎の筆〈線〉」	府中市美術館	令和２年９月19日～11月23日	安田靫彦	佐久良比東
			土田麦僊	牽牛花
「京都の美術250年の夢」	京都市京セラ美術館	令和２年10月10日～12月６日	江口草玄	川

管 理・運 営

新潟県立近代美術館

コレクション展観覧者数

期間		第1期 4/1～6/14 (66日間) ※実質45日間	第2期 6/23～10/4 (91日間)	第3期 10/13～12/20 (60日間)	第4期 1/5～3/31 (74日間)	合計 (年間291日)
個人	一般	344	1,734	770	843	3,691
	大学・高校生	25	127	59	91	302
	小計	369	1,861	829	934	3,993
団体	一般	0	20	60	0	80
	大学・高校生	0	0	0	0	0
	小計	0	20	60	0	80
無料		150	388	365	475	1,378
免除		105	186	84	105	480
合計		624	2,455	1,338	1,514	5,931

※4/18～5/10は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館。　(5/11は月曜休館のため5/12再開)
＊中学生以下は無料に含む。
＊無料には友の会会員を含む。

企画展観覧者数

企画展名 期間 区分		ウィリアム・モリス展 4/4～5/31(51日間) ※実質27日	久保田成子展 3/20～3/31(10日間)	合計
個人	一般	2,981	280	3,261
	大学・高校生	141	30	171
	小計	3,122	310	3,432
団体	一般	4	1	5
	大学・高校生	66	6	72
	小計	70	7	77
前売		606		606
無料		1,061	315	1,376
免除		208	53	261
合計		5,067	685	5,752

企画展名	ウィリアム・モリス展	久保田成子展	合計
図録販売数(冊)	635		635
音声ガイド使用数(台)			0

※4/18～5/14は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館。
＊中学生以下は無料に含む。

共催展

展覧会名	会期	日数	観覧者数
第51回 新潟県ジュニア美術展覧会「長岡展」	1/6～1/14	8	1,163
計		8	1,163

総観覧者数

	コレクション展	企画展	共催展	合計
観覧者数	5,931	5,752	1,163	12,846

新潟県立万代島美術館

企画展観覧者数

展覧会名		THE ドラえもん展 NIIGATA 2020	ルート・ブリュック 蝶の軌跡	岡本太郎展 太陽の塔への道	芳年 激動の時代を生きた 鬼才浮世絵師	合計
期間		4/1～8/23 (109日間)	10/10～12/6 (52日間)	12/19～3/7 (68日間)	3/20～3/31 (11日間)	
個人	一般	21,612	3,817	19,865	598	45,892
	大高生	1,401	233	1,503	74	3,211
	小計	23,013	4,050	21,368	672	49,103
団体	一般	3	42	52	24	121
	大高生	37	41	49	3	130
	小計	40	83	101	27	251
前売(一般のみ)		2,656	0	0	0	2,656
招待		1,679	1,134	1,755	141	4,709
無料		12,228	491	1,600	53	14,372
免除		1,563	383	2,659	57	4,662
合計		41,179	6,141	27,483	950	75,753

※4/18～5/10は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館。(5/11は月曜休館のため5/12再開)
＊中学生以下は無料に含む。

講堂・ギャラリーの貸出

県民の文化活動の促進に資するため、新潟県立近代美術館講堂及びギャラリー使用要項に則り、講堂は１日につき27,600円、ギャラリーは１日につき18,000円、講座室は１日につき4,300円で貸し出した。

講堂使用状況

使用日	日数	行　事　名	内　容	利用者人数
10/15	半日	中越吹奏楽連盟　理事会	会議	31
11/3	半日	たねだピアノ教室・玉橋ピアノ教室発表会	ピアノの発表会	60
11/8	半日	ピアノ発表会	ピアノの発表会	23
11/22	半日	吉澤ピアノ教室発表会	ピアノ演奏	61
12/20	半日	ピアノ発表会	ピアノの発表会	36
2/19	半日	中越吹奏楽連盟第４回理事会	会議	33
3/2	半日	HACCP（ハサップ）研修会	衛生管理の説明会	13
3/7	半日	カワイ・ドルチェの会　ピアノ発表会	ピアノの発表会	34
3/27	半日	ムジカ・あんとにあーの　ピアノ発表会	ピアノの発表会	32
3/28	1日	ピアノ発表会	ピアノの発表会	35

以上　10件（延べ日数…5.5日）　　合計人数　358

ギャラリー使用状況

期　間	日数	展　示　会　名	内　容	利用者人数
7/9～7/12	4日	栗山浩三40周年写真展	写真作品の発表・展示の利用	230

以上　1件（延べ日数…4日）　　合計人数　230

講座室使用状況

期　間	日数	展　示　会　名	内　容	利用者人数
8/5	半日	新潟県立病院リハビリテーション技師会	会議	10
10/22	1日	安全・衛生管理者、推進委員連絡会議	会議	13

以上　2件（延べ日数…1.5日）　　合計人数　23

新潟県立近代美術館

企画展

展　覧　会　名	展覧会開催期間	入場者数	回答者	回収率
ウィリアム・モリスと英国の壁紙展	4月4日～5月31日	5,067	76	1.50%
Viva Video! 久保田成子展	3月20日～3月31日（6月6日）	685	11	1.61%
合　　計		5,752	87	1.51%

※全体会期のうち、令和２年度の数を抽出。

Ⅰ　企画展の感想

展　覧　会　名	大変満足	まあまあ満足	やや不満	かなり不満	無回答
ウィリアム・モリスと英国の壁紙展	80.3%	17.1%	0.0%	0.0%	2.6%
Viva Video! 久保田成子展	72.7%	27.3%	0.0%	0.0%	0.0%
平　　均	76.5%	22.2%	0.0%	0.0%	1.3%

Ⅱ　来館のきっかけ

展　覧　会　名	新　聞	テレビ	ラジオ	街頭ポスター	雑　誌	インターネット	友の会だより	知　人	その他	無回答
ウィリアム・モリスと英国の壁紙展	8.3%	22.9%	0.0%	29.4%	3.7%	19.2%	0.9%	4.6%	6.4%	4.6%
Viva Video! 久保田成子展	9.1%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%	27.3%	27.3%	9.1%
平　　均	8.7%	20.6%	0.0%	14.7%	1.9%	14.2%	0.5%	16.0%	16.9%	6.9%

Ⅲ　当館への来館回数

展　覧　会　名	初めて	2回以上	5回以上	10回以上	無回答
ウィリアム・モリスと英国の壁紙展	9.2%	31.6%	22.4%	32.9%	3.9%
Viva Video! 久保田成子展	27.3%	36.4%	18.2%	9.1%	9.1%
平　　均	18.3%	34.0%	20.3%	21.0%	6.5%

（お住まい）

展　覧　会　名	長岡市	新潟市	県　内	県　外	無回答
ウィリアム・モリスと英国の壁紙展	42.1%	25.0%	26.3%	2.6%	3.9%
Viva Video! 久保田成子展	18.2%	18.2%	54.5%	9.1%	0.0%
平　　均	30.2%	21.6%	40.4%	5.9%	2.0%

（年　代）

展　覧　会　名	小･中学生	高校・大学生	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70才以上	無回答
ウィリアム・モリスと英国の壁紙展	3.9%	6.6%	0.0%	13.2%	13.2%	13.2%	17.1%	14.5%	6.6%	11.8%
Viva Video! 久保田成子展	27.3%	0.0%	0.0%	27.3%	0.0%	18.2%	18.2%	9.1%	0.0%	0.0%
平　　均	15.6%	3.3%	0.0%	20.3%	6.6%	15.7%	17.7%	11.8%	3.3%	5.9%

コレクション展

展覧会名	展覧会開催期間	入場者数	回答者	回収率
第１期	4月1日～6月14日	624	30	4.81%
第２期	6月23日～10月4日	2,455	63	2.57%
第３期	10月13日～12月20日	1,338	24	1.79%
第４期	1月5日～4月4日	1,644	49	2.98%
合　　計		6,061	166	2.74%

※第4期については令和3年度分（4月1日～ 4月4日）も含めて集計した。

Ⅰ　コレクション展の感想

展覧会名	大変満足	まあまあ満足	やや不満	かなり不満	無回答
第１期	83.3%	10.0%	3.3%	0.0%	3.3%
第２期	63.5%	30.2%	4.8%	1.6%	0.0%
第３期	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%
第４期	83.7%	12.2%	2.0%	0.0%	2.0%
平　均	78.5%	17.3%	2.5%	0.4%	1.3%

Ⅱ　来館のきっかけ

展覧会名	新　聞	テレビ	ラジオ	街頭ポスター	雑　誌	HP, インターネット	友の会だより	知　人	その他	無回答
第１期	9.5%	9.5%	2.4%	11.9%	4.8%	28.6%	2.4%	19.0%	9.5%	2.4%
第２期	7.2%	7.2%	0.0%	4.3%	2.9%	27.5%	4.4%	10.2%	36.2%	0.0%
第３期	7.7%	0.0%	0.0%	11.5%	3.9%	38.4%	3.9%	19.2%	15.4%	0.0%
第４期	15.0%	1.7%	0.0%	11.7%	0.0%	31.6%	0.0%	23.3%	15.0%	1.7%
平　均	9.9%	4.6%	0.6%	9.9%	2.9%	31.5%	2.7%	17.9%	19.0%	1.0%

Ⅲ　当館への来館回数

展覧会名	初めて	２回以上	５回以上	10回以上	無回答
第１期	10.0%	23.3%	16.7%	50.0%	0.0%
第２期	46.0%	22.2%	11.1%	19.0%	1.6%
第３期	29.2%	20.8%	16.7%	33.3%	0.0%
第４期	28.6%	24.5%	14.3%	32.7%	0.0%
平　均	28.5%	22.7%	14.7%	33.8%	0.4%

（お住まい）

展覧会名	長岡市	新潟市	県　内	県　外	無回答
第１期	53.3%	13.3%	26.7%	3.3%	3.3%
第２期	33.3%	15.9%	27.0%	23.8%	0.0%
第３期	29.2%	20.8%	33.3%	16.7%	0.0%
第４期	44.9%	10.2%	34.7%	8.2%	2.0%
平　均	40.2%	15.1%	30.4%	13.0%	1.3%

（年　代）

展覧会名	小･中学生	高校・大学生	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70才以上	無回答
第１期	0.0%	6.7%	0.0%	16.7%	10.0%	16.7%	6.7%	36.7%	3.3%	3.3%
第２期	3.2%	20.6%	0.0%	14.3%	3.2%	7.9%	9.5%	25.4%	7.9%	7.9%
第３期	0.0%	8.3%	0.0%	12.5%	4.2%	8.3%	25.0%	33.3%	8.3%	0.0%
第４期	8.2%	6.1%	4.1%	6.1%	10.2%	10.2%	12.2%	30.6%	6.1%	6.1%
平　均	2.9%	10.4%	1.0%	12.4%	6.9%	10.8%	13.4%	31.5%	6.4%	4.3%

新潟県立万代島美術館

展　覧　会　名	会　　期	入館者数	アンケート回収数	アンケート回収率
THEドラえもん展 NIIGATA 2020	4月1日～8月23日 (4月18日～5月10日臨時休館)	41,179	491	1.2%
ルート・ブリュック　蝶の軌跡	10月10日～12月6日	6,141	140	2.3%
岡本太郎展　太陽の塔への道	12月19日～令和3年3月7日	27,483	578	2.1%
芳年　激動の時代を生きた鬼才浮世絵師	令和3年3月20日～3月31日(5月5日)	950	126	13.3%
合　　計		75,753	1,335	4.7%

※全体会期のうち、令和２年度の数を抽出

展覧会の感想

展　覧　会　名	良かった	まあまあ良かった	やや不満	不満	無回答
THEドラえもん展 NIIGATA 2020	78.4%	13.8%	3.3%	1.4%	3.1%
ルート・ブリュック　蝶の軌跡	89.3%	7.9%	0.0%	0.7%	2.1%
岡本太郎展　太陽の塔への道	85.3%	11.6%	1.0%	0.2%	2.2%
芳年　激動の時代を生きた鬼才浮世絵師	88.9%	7.1%	1.6%	0.0%	2.4%
平　　均	85.5%	10.1%	1.5%	0.6%	2.5%

作品や作家についての解説

展　覧　会　名	適度な量である	量が少ない	量が多い	その他	無回答
THEドラえもん展 NIIGATA 2020	68.0%	14.5%	3.1%	0.6%	13.2%
ルート・ブリュック　蝶の軌跡	79.3%	12.1%	0.7%	2.1%	7.1%
岡本太郎展　太陽の塔への道	76.5%	14.9%	1.2%	2.1%	7.8%
芳年　激動の時代を生きた鬼才浮世絵師	64.3%	15.1%	17.5%	0.8%	3.2%
平　　均	72.0%	14.2%	5.6%	1.4%	7.8%

展　覧　会　名	わかりやすい	難しい	簡単すぎる	無回答
THEドラえもん展 NIIGATA 2020	74.1%	17.1%	2.4%	6.7%
ルート・ブリュック　蝶の軌跡	72.1%	8.6%	0.0%	18.6%
岡本太郎展　太陽の塔への道	68.0%	8.5%	1.7%	20.6%
芳年　激動の時代を生きた鬼才浮世絵師	69.0%	18.3%	0.8%	11.9%
平　　均	70.8%	13.1%	1.2%	14.5%

展覧会についてどのようにお知りになりましたか

展　覧　会　名	ポスター・チラシ	新聞	テレビ	ラジオ	雑誌・フリーペーパー	知人	友の会便り	web	その他	無回答
THEドラえもん展 NIIGATA 2020	18.9%	10.4%	62.3%	2.6%	3.1%	13.6%	1.0%	17.9%	5.3%	1.8%
ルート・ブリュック　蝶の軌跡	42.1%	7.1%	3.6%	0.7%	2.9%	20.0%	0.0%	28.6%	8.6%	2.1%
岡本太郎展　太陽の塔への道	47.4%	15.6%	41.0%	7.3%	3.5%	11.8%	0.5%	11.9%	3.3%	2.2%
芳年　激動の時代を生きた鬼才浮世絵師	67.5%	2.4%	3.2%	0.0%	2.4%	8.7%	1.6%	16.7%	5.6%	1.6%
平　　均	44.0%	8.9%	27.5%	2.7%	3.0%	13.5%	0.8%	18.8%	5.7%	1.9%

お客様ご自身について

（1）性別

展　覧　会　名	男性	女性	回答しない
THEドラえもん展 NIIGATA 2020	45.8%	51.3%	2.8%
ルート・ブリュック　蝶の軌跡	25.7%	69.3%	5.0%
岡本太郎展　太陽の塔への道	45.0%	52.6%	4.1%
芳年　激動の時代を生きた鬼才浮世絵師	37.3%	60.3%	2.4%
平　　均	38.0%	58.0%	4.0%

（2）年代

展　覧　会　名	中学生以下	高校生	大学生	左記以外の10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答
THEドラえもん展 NIIGATA 2020	39.9%	2.9%	2.2%	1.6%	10.2%	14.3%	13.6%	7.1%	3.9%	1.4%	2.2%
ルート・ブリュック　蝶の軌跡	5.0%	0.7%	9.3%	0.0%	10.0%	14.3%	20.0%	15.7%	14.3%	5.7%	3.6%
岡本太郎展　太陽の塔への道	11.9%	2.9%	8.3%	0.2%	6.7%	7.1%	14.4%	22.7%	14.4%	9.3%	2.1%
芳年　激動の時代を生きた鬼才浮世絵師	5.6%	3.2%	9.5%	0.0%	11.9%	13.5%	23.0%	19.0%	7.9%	4.8%	1.6%
平　　均	15.6%	2.4%	7.3%	0.5%	9.7%	12.3%	17.8%	16.1%	10.1%	5.3%	2.4%

（3）お住まい

展　覧　会　名	新潟市内	新潟市以外の下越地区	佐渡地区	中越地区	上越地区	県外・海外	無回答
THEドラえもん展 NIIGATA 2020	50.5%	11.2%	1.2%	18.7%	3.3%	7.8%	6.1%
ルート・ブリュック　蝶の軌跡	47.9%	7.9%	0.7%	11.4%	2.9%	21.5%	7.9%
岡本太郎展　太陽の塔への道	54.3%	14.0%	1.7%	18.9%	1.9%	3.8%	5.2%
芳年　激動の時代を生きた鬼才浮世絵師	48.4%	11.9%	2.4%	22.2%	0.8%	10.3%	4.0%
平　　均	50.3%	11.3%	1.5%	17.8%	2.2%	10.9%	5.8%

（4）当館へは主としてどんな交通手段でおいでになりますか

展　覧　会　名	自家用車	徒歩・自転車	バス	タクシー	電車	貸切バス	その他	無回答
THEドラえもん展 NIIGATA 2020	79.2%	10.2%	7.1%	1.4%	4.3%	0.0%	0.6%	1.8%
ルート・ブリュック　蝶の軌跡	55.0%	30.0%	19.3%	2.1%	12.1%	0.0%	2.1%	2.1%
岡本太郎展　太陽の塔への道	66.4%	12.6%	14.0%	1.0%	7.8%	0.2%	1.6%	2.6%
芳年　激動の時代を生きた鬼才浮世絵師	64.3%	16.7%	14.3%	0.8%	5.6%	0.0%	3.2%	1.6%
平　　均	66.2%	17.4%	13.7%	1.3%	7.5%	0.1%	1.9%	2.0%

（5）万代島美術館に来たのは何回目ですか

展　覧　会　名	初めて	2～4回目	5回以上	無回答
THEドラえもん展 NIIGATA 2020	39.3%	36.0%	22.2%	2.0%
ルート・ブリュック　蝶の軌跡	28.6%	25.0%	43.6%	2.9%
岡本太郎展　太陽の塔への道	28.7%	35.6%	33.0%	2.4%
芳年　激動の時代を生きた鬼才浮世絵師	19.0%	27.0%	53.2%	0.8%
平　　均	28.9%	30.9%	38.0%	2.0%

（6）当館に限らず年に何回展覧会に来ますか

展　覧　会　名	1回以下	2～4回目	5回以上	無回答
THEドラえもん展 NIIGATA 2020	37.5%	45.4%	14.5%	2.6%
ルート・ブリュック　蝶の軌跡	18.6%	40.7%	36.4%	4.3%
岡本太郎展　太陽の塔への道	26.0%	50.2%	21.8%	3.6%
芳年　激動の時代を生きた鬼才浮世絵師	8.7%	61.9%	28.6%	0.8%
平　　均	22.7%	49.6%	25.3%	2.8%

（7）どんなジャンルの展覧会を望みますか

展　覧　会　名	日本画	洋画	西洋洋画	彫刻	版画	工芸	書	写真	デザイン	現代美術	県人作家	アジアの美術	絵本	アニメーション・マンガ	その他	無回答
THEドラえもん展 NIIGATA 2020	17.9%	12.4%	17.1%	10.6%	7.1%	10.6%	5.5%	23.2%	22.6%	16.9%	1.8%	3.5%	28.7%	63.3%	5.3%	4.5%
ルート・ブリュック　蝶の軌跡	40.0%	44.3%	54.3%	30.7%	30.0%	40.0%	12.9%	32.1%	40.7%	38.6%	10.0%	21.4%	31.4%	27.1%	3.6%	3.6%
岡本太郎展　太陽の塔への道	39.4%	29.6%	37.2%	26.0%	16.6%	22.0%	11.6%	27.3%	25.3%	27.9%	9.5%	11.8%	24.6%	28.2%	8.1%	4.5%
芳年　激動の時代を生きた鬼才浮世絵師	63.5%	34.1%	55.6%	23.8%	27.8%	21.4%	7.9%	27.0%	27.0%	26.2%	9.5%	12.7%	27.8%	36.5%	3.2%	0.0%
平　　均	40.2%	30.1%	41.1%	22.8%	20.4%	23.5%	9.5%	27.4%	28.9%	27.4%	7.7%	12.4%	28.1%	38.8%	5.1%	3.2%

組織及び業務

新潟県立美術館の業務【20年4月現在】

■新潟県立近代美術館条例（平成5年3月31日　新潟県条例第24号）（抜粋）

（設置）第1条　博物館法（昭和26年法律第285号）第18条の規定に基づき、県民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、新潟県立美術館（以下「美術館」という）を長岡市千秋3丁目に設置する。

2　前項に規定する美術館には、教育委員会の定めるところにより、分館として新潟県立万代島美術館（以下「万代島美術館」という。）を設置する。

（事業）第2条　美術館は、次に掲げる事業を行う。

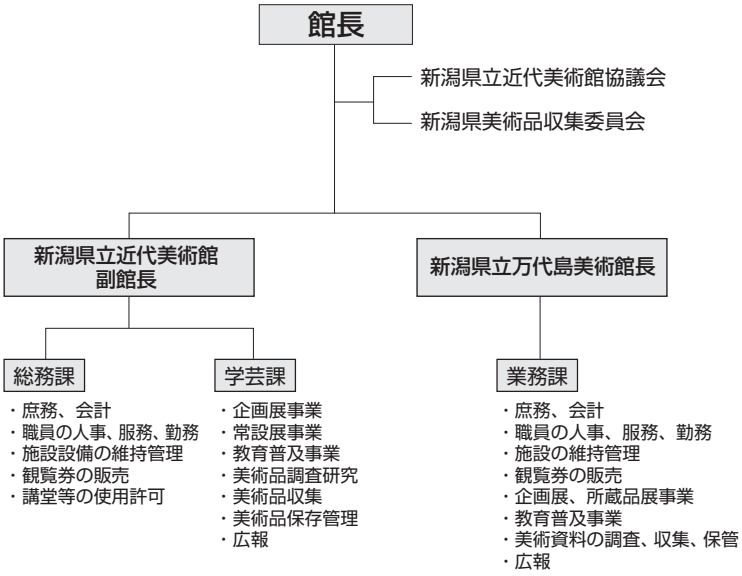
⑴　美術品、美術に関する資料等（以下「美術品等」という）の収集、保管及び展示

⑵　美術品等の利用に関し必要な説明、助言、指導等

⑶　美術品等の調査及び研究

⑷　美術品等に関する講演会、講習会、映写会等の主催及びその開催の援助

⑸　前各号に掲げるもののほか、美術館の目的を達成するために必要な事業



職　員

新潟県立近代美術館

	館長	木村　哲郎
	副館長	伊藤　剛行
●総務課	総務課長	後藤　　淳
	主査	重高　優子
	主査	稲田　道子
	会計年度任用職員	藤井　幸子
	会計年度任用職員	太田　昌子
●学芸課	学芸課長	藤田　裕彦
	専門学芸員	松矢　国憲
	専門学芸員	宮下　東子
	専門学芸員	平石　昌子
	副参事	山本未知雄
	副参事	飯田美輝夫
	主任学芸員	濱田真由美
	主任学芸員	伊澤　朋美
	美術学芸員	松本奈穂子
	会計年度任用職員	砂山　冴貴
	会計年度任用職員	入沢さおり
	会計年度任用職員	小黒　麻理
	会計年度任用職員	南　　景子
	会計年度任用職員	磯部　玲子
	会計年度任用職員	丸山　典子
	会計年度任用職員	江口　朝子

新潟県立万代島美術館

	館長	齋藤今日子
●業務課	業務課長	桐原　　浩
	課長代理	和田　正樹
	専門学芸員	澤田　佳三
	課長代理	今井　　有
	主査	丸山智意子
	主任学芸員	池田　珠緒
	主任学芸員	長嶋　圭哉
	会計年度任用職員	田村真珠美
	会計年度任用職員	河瀬　久代
	会計年度任用職員	中嶋　美幸
	会計年度任用職員	堀越安紀子
	会計年度任用職員	吉澤　　碧
	会計年度任用職員	上田　志乃（R2.10.1～）

新潟県立近代美術館

【施設概要】

〈名　　称〉新潟県立近代美術館
〈所 在 地〉新潟県長岡市千秋3丁目278-14
〈設　　計〉㈱日本設計
造園設計　㈱日本設計・㈱日本造園
設計期間　1990年9月～ 1991年2月
〈監　　理〉新潟県土木部都市整備局営繕課
㈱日本設計
〈施　　工〉大成・吉原・小杉特定共同企業体
電気工事　六興・大原・長岡特定共同企業体
空調工事　三建・日立・越後特定共同企業体
衛生工事　ナカムラ・北陸特定共同企業体
ガス工事　北陸瓦斯㈱
昇降機工事　日本オーチスエレベーター
備品工事　㈱高島屋
植栽工事　北陸緑化、ニューガーデン、
長生園、宮川苑、吉茂造園、
鈴木造園、新潟造園土木、
長岡ガーデン、川崎農園、
グリーン産業、松本造園
工事期間　1991年7月29日～1993年5月31日

〈総工事費〉　9,859,851千円
支出内訳
建築工事費　7,442,809千円
造園工事費　1,216,187千円
電気工事費　　79,654千円
展示工事費　1,121,201千円

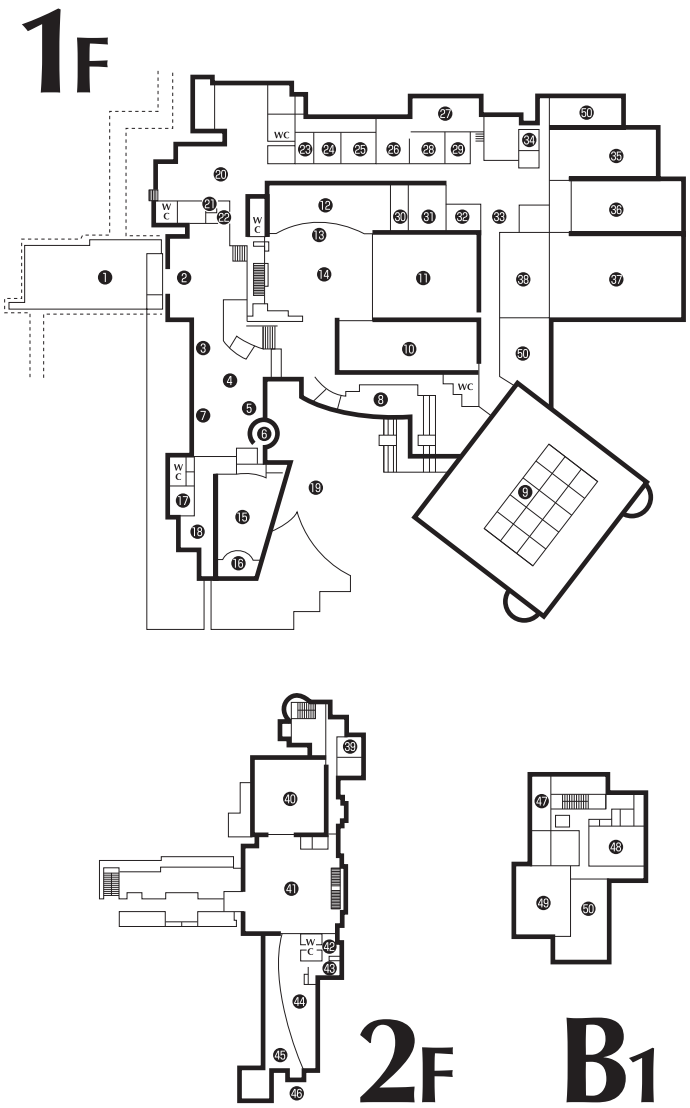
〈改修施工〉
建築工事　㈱大石組
電気工事　大原電業㈱
空調工事　㈱長岡総合設備

〈改修施工工事費〉
928,909,045千円
改修期間　2018年7月2日～ 2019年11月30日

〈主体構造〉　鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造、
プレストレストコンクリート梁
基礎・地業　PHC杭
〈規　　模〉　地下１階、地上２階、塔屋１階
軒高　　13.0m
最高高　19.250m
主なスパン　3.9m
階高　　5.7m
〈面　　積〉　敷地面積　33,800㎡
建築面積　9,133㎡
延床面積　10,723㎡
地下－機械室・電気室　716㎡
１階－展示室・収蔵庫・講堂・
事務室・他　8,873㎡
２階－レストラン・県民ギャラリー
1,064㎡
屋階－ELV機械室
地域地区　市街化調整区域
〈面積配分〉
導入部門　1,356㎡
（エントランスホール636㎡、ロビー 576㎡、ほか）
展示部門　2,674㎡
（常設展示室391㎡＋472㎡＋265㎡、
企画展示室1,332㎡　ほか）
教育普及部門　384㎡
（講堂234㎡、講座室53㎡、ハイビジョン67㎡、ほか）
収蔵部門　1,746㎡
（収蔵庫第一292㎡、第二575㎡、
第三267㎡、作業室49㎡、ほか）
調査研究部門　272㎡
（研究室83㎡、資料保管室61㎡、書庫128㎡）
管理事務部門　416㎡
（事務室133㎡、会議室70㎡、館長室55㎡、ほか）
設備・機械　1,017㎡
（熱源機械室、電気室、空調機械室、ほか）
他共用部門　2,858㎡
（廊下、階段、ほか）
〈展示室の環境〉
室の明るさ　70～150lux＋局部照明
（メンテナンス時：200lux）
照明方法　全体照明（ダウンライト・間接）
スポットライトによる局部照明
光源の種類　LED
温度・湿度　夏季／23℃・55%
冬季／22℃・55%
〈主な設備〉
空調方法　個別式（単一ダクト方式・FCU方式）
熱源：ガス・電気
熱源機器／ガス冷温水発生機2台
冷房能力／237.5USRT
暖房能力／52,300kCal/h
冷却塔／2,810,000kCal/h
空調機器／全空気方式　空冷ヒート
ポンプエアコンファン
給排水衛生　給　水／上水直結
給　湯／中央式（ガス）、
個別式（電気）
排　水／屋内合流、屋外下水道放流
給排水　BIF床上受水槽（FRP40㎥）
排水槽／有効0.76㎥
電　気　受　電／3相3線　50Hz　6.6kV
660kW
発電機／3φ3W　50Hz　6.6kV
375kVA
非常保安動力／300kVA
非常保安電灯（スコット）／50kVA
変圧器／1,400kVA7台
防　災　消火／屋内消火栓、屋外消火栓、
ハロゲン化物消失
排煙／自然排煙
屋内消火栓　粉末消火器　ハロン
消火設備　ハロン消火器　連結散
水設備　屋外消火栓
昇降機　乗用ELV／750kg積
（30m／分）1台
人荷用ELV／3,000kg積
（30m／分）1台
駐車場　屋内2台、屋外165台
〈主な外部仕上〉
屋　根　アルミクラッド鋼板立ハゼ葦
外　壁　四丁掛精炻器質タイル（割肌）
二丁掛精炻器質タイル
建　具　アルミサッシュ電解二次着色
ステンレスサッシュ H.L.仕上
外　構　御影石ブロック＋陶製ブロック舗装
〈主な内部仕上〉
エントランスホール
天井／コンクリート打放し
壁／御影石こぶ出し仕上
床／御影石ジェットバーナー仕上
展示室　天井／P.B.E.P
壁／ガラスクロスE.P
床／タイルカーペット
収蔵庫　天井・壁／スプルス
床／ナラ縁甲板張
講　堂　天井／
壁／四丁掛精炻器質タイル＋P.B.E.P
床／カーペット
研究室・事務室
天井／岩綿吸音板
壁／ビニールクロス貼
床／タイルカーペット

【施設の配置】

❶キャノピー
❷エントランスホール
❸ロビー
❹ミュージアムショップ
❺データベース室
❻ハイビジョンギャラリー
❼レファレンス
❽企画展示室ロビー
❾企画展示室
❿展示室１
⓫展示室２
⓬展示室３
⓭常設展示室ロビー
⓮中庭
⓯講堂
⓰ステージ
⓱講座室
⓲講堂ロビー
⓳屋外展示スペース
⓴事務室
㉑乳児室
㉒ロッカー室
㉓応接室
㉔館長室
㉕会議室
㉖研究室
㉗書庫
㉘資料保管室
㉙倉庫
㉚フィルム保管室
㉛撮影室
㉜作業室
㉝荷解室
㉞燻蒸室
㉟収蔵室１
㊱収蔵室３
㊲収蔵室２
㊳展示備品倉庫
㊴ギャラリー控室
㊵ギャラリー
㊶アトリウム上部
㊷レストラン事務室
㊸厨房
㊹レストラン
㊺吹抜
㊻テラス
㊼ドライエリア
㊽電気室
㊾熱源機械室
㊿空調機械室



新潟県立万代島美術館

【施設概要】

〈機能別延床面積〉

	内訳	用途等	面　積
展示室 1,433.09㎡		美術品等の企画展示	1,433.09㎡
収蔵 130.2㎡	収蔵庫	美術品等の保管	102.05㎡
	収蔵庫前室	収蔵庫の温室度を安定させる	28.15㎡
専用エレベーター 27.59㎡		地下１階より美術品を搬入	27.59㎡
管理 573.94㎡	事務室	学芸員、一般事務の執務室	72.66㎡
	資材倉庫	文書・書籍カタログ等の収納	32.75㎡
	準備室	展示作業用の作品移動ケース置場等	95.56㎡
	荷解室	美術品の開梱・点検場所	107.58㎡
	休憩室	嘱託員の休憩場所	10.04㎡
	応接室	来賓等の応接	13.99㎡
	トイレ	職員・来館者用	92.58㎡
	空調機械室	美術館専用の空調機械設置	120.15㎡
	ボンベ庫	ハロン消火設備用ボンベ庫(予)	28.63㎡
共通 630.44㎡	ロビー	来館者の導入、休憩及びインフォメーション等	279.63㎡
	廊下等	来館者の通路、避難経路など	321.84㎡
	乳児室	乳児のために使用	6.35㎡
	ロッカー･ルーム	来館者の利便のために手荷物を保管	22.62㎡
B1F 164.19㎡	専用エレベーター(B1F)	美術品の搬入用	26.23㎡
	専用エレベーター機械室	専用エレベーター用の機械設置	13.42㎡
	専用荷捌スペース	美術品の荷捌スペース	124.54㎡
合計			2,959.45㎡

〈建築概要〉

1．全体概要

種　　別／複合ビル内包型　公立美術館

所 在 地／新潟県新潟市万代島5番1号

工事期間／平成12年10月3日～平成15年3月30日

敷地面積／103,128.93㎡（万代島－団地認定敷地全体）

建築面積／6,017.37㎡

延床面積／52,585.54㎡（うち、美術館2,959.45㎡）

構造種別／鉄骨鉄筋コンクリート造

階　　高／美術館フロア6.3m

2．建築主体

設　　計／鹿島建設株式会社一級建築士事務所

監　　理／鹿島建設株式会社一級建築士事務所

施　　工／鹿島・大成・福田・五洋・本間・東亜共同企業体

3．仕上げ（美術館部分のみ）

屋　　根／鉄筋コンクリート下地断熱アスファルト防水押え、コンクリート鋼製根太組天然スレート敷

外　　壁／プレキャストコンクリート下地アルミスパンドレル張り、アルミカーテンウォールふっ素樹脂焼付塗装、プレキャストコンクリートカーテンウォールふっ素樹脂常乾塗装

内　　装／（設備概要を参照のこと）

4．電気設備

電力引込／３相３線6.6Kv50Hz
　　２回線受電、地中引込

受 変 電／１階サブ変電所、キュービクル式受変電設備

非常用電源／発電機１台、ディーゼル1000KVA、
　　蓄電池400AH

電話設備／電話配管（機器、配線は別）

放送設備／非常放送兼用アンプ 1160W、130回線、
　　美術館業務用アンプ80W、5回線

5．空調設備

熱　　源／全体熱源：冷温水発生器（ガス焚）
　　240RT×2台
　　収 蔵 庫：空冷ヒートポンプ

空 調 機／コンパクトエアハン7台
　　単一ダクト

換　　気／個別換気
　　給気ファン1台、排気ファン15台

制御機構／24時間中央温湿度管理システム

6．昇降機

乗　　用／ロープ式　210m／分　定員20名1,350kg
　　4基（うち、車椅子仕様1基）

荷 物 用／油圧式
　　15m／分　3,000kg　1基

テーブルリフター／
　リフト　　0.9m
　テーブル　2.0m×2.0m　3,000kg

〈設備概要〉

1．展示室概要

壁 仕 上／不燃プラスターボード、ガラスクロス表面仕上げ

床 仕 上／フローリング（ダグラスファー）

可 動 壁／不燃プラスターボード、ガラスクロス表面仕上げ
　　L4.0m×H4.5m：30枚、L2.0m×H4.5m：26枚、L2.4m×H4.5m：4枚

固定展示ケース／2箇所

（外側）スチール製・高透過ガラススチール製・アクリル焼付塗装、高透過ガラス・重量キャスター・アジャスター付、シリンダー錠付

（内側）低ホルマリン合板、クロス張り、エアタイト、寸法D18.0m、W1.2m、H4.5m

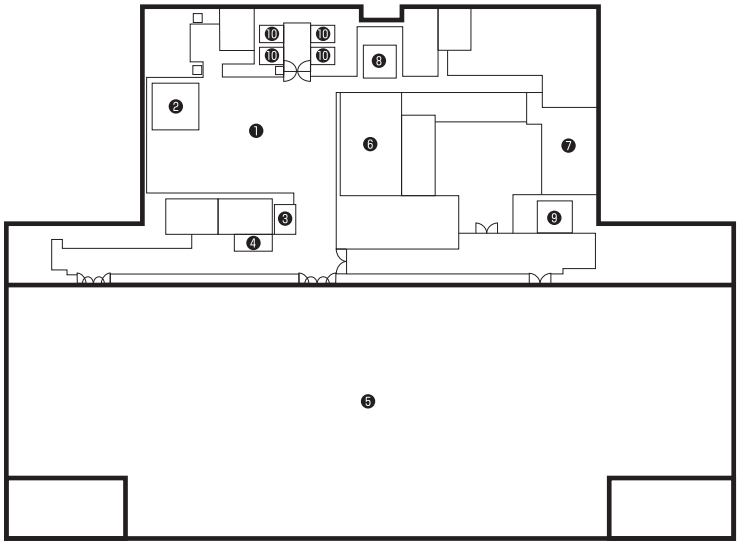
照　　明／全て美術館用UV／IRカットフィルター付
　　ベース照明：ハロゲンウォールウォッシャー
　　200W
　　展示照明：ローボルトハロゲン（12V50W）
　　ケース内照明：高効率照明器具（32W）及びローボルトハロゲン（12V50W）

設定温湿度／春・夏期：23℃、60%
　　秋・冬期：20℃、50%
　　（変動率±3℃、±10%以内）

2．収蔵庫概要
床 仕 上／フローリング
壁 仕 上／ゼオライトパネル（天井共）
内部寸法／L11.5m、W7.5m、天井H3.5m
入口寸法／H3.0m、W3.0m
収蔵庫内作品固定方法／収蔵棚
収蔵庫扉の構造及び仕様／スチール製
耐火2時間扉
照　　明／高効率照明器具（32W）
美術館用UV／IRカットフィルター付
空　　調／恒温恒湿パッケージ2台　単一ダクト（VAV）
設定温湿度／春・夏期：20℃、60%
秋・冬期：20℃、60%
（変動率±2℃、±5%以内）
3．搬入口関連概要
専用搬入口寸法／H3.8m、W5.0m
高位置の接岸ドック／地上からの高さ0.7m
可動接岸ドック／0～0.9mレベルまで
油圧式リフト／最大重量3,000kg
クレート／最大重量3,000kg
搬入可能なクレーンの最大サイズ／
H3.0m、W3.0m、D3.0m
セキュリティ／画像センサー機械警備
荷解室への立入管理／カードリーダー方式電気錠
昇降機内部寸法／L3.0m、W3.0m、
天井H3.0m
4．防災設備
消火設備／湿式スプリンクラー
展示室、準備室、荷解室及び収蔵庫はハロン消火
感知器の種類／自動煙感知
火災警報への伝達／発信機、非常電話
補助消火栓／搬入場所１基、その他４基
連結送水管／その他２基
消 火 器／搬入場所：粉末ABC
展示室：ハロンガス
その他：粉末ABC及びハロンガス
5．防犯設備
監視設備／ITVモニター、ITVカメラ15台
（美術館14台、EV1台）
機械警備設備／画像センサー＋スピーカ
警備会社／SECOM株式会社
使用警報機の種類／画像センサー及び
水銀スイッチ
警報入電場所／館内中央監視盤及び
美術館事務室
盗難防止ケースの種類／
ガラス・ケース及び壁面固定ケース全てにシ
リンダー錠付

【施設の配置】

❶エントランスホール
❷ミュージアムショップ
❸情報コーナー
❹乳児室
❺展示室
❻収蔵庫
❼事務室
❽ロッカー・自販機
❾作品専用エレベーター
❿エレベーター



新潟県立近代美術館協議会

【委　員】（委嘱当時）

（平成30年８月１日から令和２年７月31日まで）

●学校教育関係者

渡邉　敏尚（新潟市立木戸中学校教頭／新潟県美術教育連盟理事／新潟市水と土の芸術祭こどもプロジェクトコーディネーター）

田中　幸男（新潟県立小千谷西高等学校教諭／新潟県高等学校文化連盟・工芸専門部門顧問）

●社会教育関係者

竹内　伊澄（元新潟県社会教育委員／元上越市社会教育委員／歯科衛生士／上越市民芸能祭協議会副会長／いずみジャズダンス主宰）

●家庭教育の向上並びに学術及び文化の発展に資する活動を行う者

西條和佳子（特定非営利法人ワーキングウイメンズアソシエーション常任理事）

村田　利紀（公募）

早川由香吏（公募）

●学識経験者

岡塚　章子（東京都江戸東京博物館都市歴史研究室長）

◎丹治　嘉彦（新潟大学教育学部教授）

○松本　健義（上越教育大学大学院学校教育研究科教授）

丸山恵理子（新潟県美術家連盟事務局次長）

※◎は会長　○は副会長

（令和２年８月１日から令和４年７月31日まで）

●学校教育関係者

稲生　一徳（阿賀町立阿賀津川中学校校長／下越美術教育研究会理事／新潟県中学校教育研究会美術部会全県部長）

山下　幸治（新潟県立柏崎総合高等学校教頭／新潟県高等学校文化連盟監事）

●社会教育関係者

小田　智美（村上市教育委員会学校教育課・教育支援センター嘱託指導主事／新潟県生涯学習協会／下越・新潟地区社会教育主事等会／元村上市立朝日中学校長／元新潟県少年自然の家所長）

●家庭教育の向上並びに学術及び文化の発展に資する活動を行う者

○西條和佳子（特定非営利活動法人ワーキングウイメンズアソシエーション常任理事）

中村　直美（公募）

●学識経験者

大森　慎子（新潟市歴史博物館学芸担当次長）

◎丹治　嘉彦（新潟大学教育学部教授）

五十嵐史帆（上越教育大学大学院学校教育研究科教授）

本間　公司（新潟県美術家連盟事務局次長／新潟県彫刻会会長／新潟市美術協会副会長／アトリエ本間主宰）

※◎は会長　○は副会長

【日程及び内容】

第１回新潟県立近代美術館協議会（書面開催）

日程：令和２年５月１日㈮　※開催通知送付日

内容：事務局送付資料（令和元年度評価シート、活動報告書、評価分野と執筆担当・作成手順・作業スケジュール 等）への書面回答をもって開催とした。

第２回新潟県立近代美術館協議会

日程：令和２年11月２日㈪　13:30～15:30

会場：新潟県立万代島美術館

内容：⑴　新潟県立近代美術館協議会の概要

⑵　会長及び副会長の選任

⑶　「令和元年度県立近代美術館協議会評価報告書」について

⑷　令和２年度県立美術館の事業計画と中間報告

⑸　今後の予定ほか

第３回新潟県立近代美術館協議会（書面開催）

日程：令和３年２月８日㈪　※開催通知送付日

内容：事務局送付資料（令和２年度評価シート中間報告、活動報告書、評価分野と執筆担当、作業スケジュール 等）への書面回答をもって開催とした。

令和２年度
新潟県立近代美術館協議会評価報告書
美術館の自己評価に対する委員評価

第１章　県立近代美術館の自己評価に対する総括的所見

（１）美術館運営の全般に関して

新潟県立近代美術館および万代島美術館における社会的使命として、新潟県固有の文化の価値を見直し、併せて未来に継承すべきコレクションの充実と研究、活用、普及を通じて、多様な美術館活動を開発、提供し、想像力溢れる人材の育成に取り組み、地域の人々と協働しながら、県民の誇りとなる新潟県の文化を発信することがその大きな柱となっている。本年度、これらの使命に関して両美術館ともその成果を上げることが出来たと言える。特に、新型コロナウイルス感染拡大が収まらない中、企画展の延期等を余儀なくされ、期待を寄せていた県民に対して期待に添えない形にはなったが、それでも鑑賞者の安全を担保し展覧会をしっかり披露できたことは賞賛に値する。

しかしながら、この新型コロナの影響により、今までの美術館運営が奪われてしまったことは疑いのない事実である。このコロナが収束することを見据えて、人々の悩みや苦しみそして抑圧から解放されることの一助となること、そしてこれらを土台として新たな新潟県立近代美術館、万代島美術館となるべく準備することが求められる。

（2）目標設定のあり方について

それぞれの美術館ともに評価対象領域として、各館で開催される展覧会、ワークショップを含めた教育普及活動、作品収集と調査研究等がそれにあたる。これらの評価に対して、展覧会観覧者数、友の会活動、ワークショップが上げられるが、それに加え新たな企画等が評価指標となる。（ここで注意しなければいけないのが、入館者数は施設やそれぞれの事業における指標とはなるが、けっして目標ではない。）また、この目標値だけに留まらず、新型コロナの感染拡大が収まった後、新たな美術館とは？に対して、多領域の方々から積極的な意見を受け入れる姿勢が求められる。

（3）目標に対する達成状況について

今年度の企画展については新型コロナの感染拡大が続く中、来館者の安全確保の観点から通常とは違う形で両館とも意欲的な展覧会を実施できたことは、丁寧に準備を行いそして他の研究機関等との協力があったが故の結果であり、大いに評価できるのではないか。特に近代美術館で開催された「Viva Video!　久保田成子展」では作品の所有者が主に海外在住であることから、美術館にて直接指示を受けることが出来ずオンラインでのやり取りとなり相当な苦労があったと思われる。しかしながら、それらの障害を乗り越えきちんとした展示形態となったことは大いに評価できる。

また、近代美術館にて開催予定であった「三沢厚彦展」が延期となり、万代島美術館にて開催予定であった「デザインあ展」に至っては開催見送りとなってしまい、開催を楽しみにしていた県民には残念な結果となってしまった。体験型の展覧会として位置付けられている「デザインあ展」は美術館の新たな可能性を感じてもらうためにも、同様の企画を含めて復活を望まれる。

教育普及等関連分野については、展覧会同様に新型コロナの感染拡大の影響から、講演会、ワークショップなどの教育普及事業がほぼほぼ中止となった。ただし、これらをマイナスに捉えるのではなく、ポストコロナを見据えワークシートの作成やコレクション展のテーマ毎のプレスリリースの作成、WEBコンテンツの充実など、これまで取り組んでこなかった新しいアピール法に目を向けることができたのは今後の美術館の方向性を示すきっかけとなったに違いない。

調査・研究・収集・保存・発信の分野では、特に学芸課だけではく、全職員が協力しての資料整理等の体制は近代美術館のアドバンテージであると思う。また、新潟県ゆかりの作家の調査・研究は特に重要であり、この領域の調査・研究は特に継続して欲しいと思われる。

環境・施設に関しては、ミュージアムショップの設置を強く希望する。展覧会後に来場者がカタログ等のグッズを購入することは、単に展覧会の思い出となるだけでなく次の展覧会に足を運んでもらうきっかけにもなるはず。コロナ禍で難しいところだが、是非ともミュージアムショップの再開を望む。

第２章　分野別に見た自己評価に対する委員評価

【1　展覧会に関する評価】

（1）実施目標に対する達成状況について

両館ともに、コロナ禍における様々な困難の中、企画展の開催を行った。一時的に展覧会の中止や途中休館を余儀なくされたが、再開や次年度開催の努力を行い良い方向に進んだこと、また海外の関係者との協力による展覧会では、これまで以上に意思疎通や確認を綿密に行う必要もあり、通常よりかなり煩雑なコミュニケーションに前向きに取り組み質の良い展覧会を提供できたこと、運営面では観覧者への安全に配慮した対策を行い無事に開催できたことはいずれも高く評価できる。

そのうえで実施目標である展覧会の魅力のアピール、効果的な広報、満足度を高めることについては、いずれも各々の展覧会の内容に沿った工夫をして取り組み、アンケートでも実証されているように、効果を上げることができたことは、評価できる。

（2）今年度活動の取組内容の妥当性とその効果について

様々な世代、嗜好を考慮し片寄らないよう魅力的な展覧会のラインナップを心がけ実現していること、そこに館独自の工夫を加え新潟でのみ体験できる展覧会に仕上げていること、さらに学芸員の調査研究に基づいた企画展を着実に開催していることは、存在意義を来館者数に求められる館も多々ある中、美術館のあるべき姿を貫いていて、非常に高く評価できる。

目標の設定として、企画内容や作品の魅力を伝えること、来館者の満足度の向上を掲げて努力することは最も取り組むべき内容で、それにより質の高い展覧会も、新潟ならではの展示も多く鑑賞される機会を得て、初めて博物館の役割としての一般公衆の教養や調査研究、楽しみに資することが可能となる。今後も様々な方法を考案しながら取り組んで欲しい。

さらにコレクション展では、企画展の内容に積極的にリンクさせ、来館者の理解や関心を深め、広げる工夫をしているところは高く評価できる。このような展開ができるのも、コレクションの充実と質の高さゆえのことなので、今後も収集、調査研究についても積極的に行って欲しい。このことは、県内美術界のレベルアップにもつながり、また調査研究とコレクションを重視した活動は、県内美術館に対し美術館としての矜持を示すことにもなり、自覚を持ってリードしていってほしい。

（3）自己評価に対する総括

適宜冷静な判断により、正確に評価できていると思う。課題に関しては、いずれも自己の努力によって解決出来ない問題である。マイナスととらえず、柔軟な考えでじっくりと取り組む中で、今後糸口を見つけてゆけると良いと思う。

【2　教育普及等関連事業に関する評価】

（1）実施目標に対する達成状況について

コロナ禍の影響もあり、教育普及等関連事業が予定通りに実

施できなかったものの、一部の事業について形を変えて実施することができたことは一定の評価をしていいと考える。また、ＨＰやＳＮＳ、映像、配付資料など、非接触型媒体による教育普及活動を検討した点、その他可能な方法を模索した点など、ウィズコロナやポストコロナを見据えた活動のあり方や方向性を見出そうとした点が評価できる。

一方で、岡本太郎展のように企業や団体、大学等の専門機関とのコンソーシアム（共同事業体）を構築することにより、地域資源の活用やSDGsを踏まえた鑑賞教育（探究活動）ができる可能性も見られた。

このコロナ禍により、美術館の“教育効果”ではなく、“教育成果”を求められる時代になったことを強く感じた。

（２）今年度活動の取組内容の妥当性とその効果について

県予算が減額され、美術館や美術を通じた学びや交流に広がりをいかにもたせていくか、両館それぞれ工夫した取組が見られた。また、コロナ禍により、県内修学旅行の訪問先として近代美術館をコースに入れた学校の児童生徒が直接、本物の作品に触れる機会が見られた。

新しい生活様式やガイドラインを踏まえた鑑賞教育を推進していこうという姿勢が見られた。特に、全国の美術館の所蔵作品やワークショップのデジタルアーカイヴ化を推進することが求められている。令和元年度の評価に、「過去に教育普及活動として効果的であった活動例をアーカイヴとして参照できる体制が整った」との記述があったように、受け身の姿勢ではなく、情報を発信するとともに、Zoomなどを活用した実践を試みていくことが成果につながると考える。GIGAスクール（児童生徒が一人一台のタブレット端末を使用した同時双方向型教育）への対応が、県有施設管理等の課題の解決策になると考える。予算的に安価で、費用対効果は高い。学芸員の方には従来とは異なる進め方となるため、研修等が求められるが、対話型鑑賞法も可能であるし、デジタルなので細部など注視させることもできるし、今まで以上に美術や文化が普及されると考える。

コロナ禍のため、「対面による取組がなされなかった」という言い訳は、令和３年度はできないと考える。

（３）自己評価に対する総括

両館から提出された令和２年度教育普及等関連事業への自己評価はそれぞれ妥当である。

【３　調査・研究、収集・保存、発信に関する評価】

（１）実施目標に対する達成状況について

〇近代美術館

調査結果の発表など次年度につながる成果が見られおおよそ目標達成できていると評価できる。しかし、研究調査等は単年度で成果をまとめることは難しいので、具体的な目標を立てることにより、取組が確認しやすく、目標達成状況や今後の課題を確認しやすいと思われる。

〇万代島美術館

調査結果の発表など次年度につながる成果が見られおおよそ目標達成できている。論文・報告を４件行った点や、コロナ禍で講演会や講座等の開催がさまざまに制約を受ける中、ギャラリートークなどで成果を発表できたことは評価できる。

（２）今年度活動の取組内容の妥当性とその効果について

〇近代美術館

新型コロナ感染症の影響により予定変更される中でも、展覧会開催に向けた視察や事前調査による情報収集や、全職員の協力体制による資料整理など状況に合わせた柔軟な取組が見られた。このことにより館の特徴を生かした安全な展示と資料リストの作成の目処が立つなど、取組の効果と妥当性が認められる。

〇万代島美術館

新型コロナ感染症の影響により予定変更される中でも、ギャラリートークなどに取り組み、調査結果を論文・報告という形で公式HPにおいて広く発信するなど、講演会や講座等の開催に変えて、広く市民に向けた情報発信として妥当性も認められる。

（３）自己評価に対する総括

〇近代美術館

おおよそ客観的に評価できていると思われる。しかし、補助金申請等の取り組みについての考察が見えず、次年度以降の具体的な課題として引き継がれにくいと感じた。申請することで得られた成果（課題）について確認し、次年度以降につなげて欲しい。

〇万代島美術館

おおよそ客観的に評価できていると思われる。調査方法等が制限される中、研究計画の変更が余儀なくされたが、今後は、ポストコロナを見据えて、訪問調査に加え、他の調査の方法も検討する必要がある。

【４　環境・施設に関する評価】

（１）実施目標に対する達成状況について

〇近代美術館

厳しい予算状況下では、必要な修理箇所についての修理・補修を行うことは難しいと考えるが、引き続き協議を重ね、要求していただきたい。

ミュージアムショップについては「よみがえる正倉院宝物展」「高畑勲展」について特設での設置に向けて努力を続けていることを大いに評価する。

〇万代島美術館

新型コロナウイルス状況下において、ガイドラインに基づいた迅速な対策を講じるなどリスク管理の徹底で後半の事業がスケジュールどおり開催できたことやガラスケース

の速やかな修理など、来館者が安心して鑑賞できる環境を整えることができたことを高く評価する。

（2）今年度活動の取組内容の妥当性とその効果について

○両館について

迅速な感染症対策や施設設備･環境への工夫された対応、必要な要求の継続など、厳しい状況下において取り組むべきことがしっかりとなされていたと考える。

ミュージアムショップやレストランは美術館での豊かな時間を構成する要素でもあると考える。また､施設の修理･補修、緊急時の対応等も含め、環境整備・環境維持は、来館者が安心して作品を鑑賞したり心地よさを共有したりするために重要であり、利用者の増加、学びの広がりにもつながると考える。厳しい現状ではあるが、今後も愛される美術館を目指して環境･施設の充実に努めていただきたい。

○近代美術館

豊かな自然が魅力の美術館でもあり、手入れが行き届かずに魅力が半減するのではないかと心配する。職員の方々が努力されていることに感謝しつつ、美化ボランティアや美化サポーターなどの組織を作り、恒常的に美術館の環境を整えていく方法も効果的だと考える。

○万代島美術館

エントランスが寂しい感じを受ける。ガラス張りや景色の良さを生かし、季節や展示会に合わせたメッセージカードを展示するなどの工夫はどうだろうか。

（3）自己評価に対する総括

両館ともに取組に真摯に向き合い､成果や課題が明確である。両館の自己評価は妥当である。

【5　協働組織に関する評価】

（1）実施目標に対する達成状況について

○近代美術館

コロナ禍の下、友の会や長岡造形大学をはじめとする協働事業が見合わせとなったことは人命優先、安全安心第一を思えば、当然の結果だったと考える。

そのような中で、感染症対策を取りつつ実施可能な協働事業を積極的に検討していく姿勢を評価する。また、コロナ禍の収束後、来館者の復調を進めるためにも地域の人々との協働は大変重要である。

そこで、今後はオンラインの活用や美術館の広い空間や屋外の敷地を生かしたプログラムなど、協働事業の幅を広げる検討を進めて頂きたい。

新潟アートリンクについては、関係者が不特定多数ではなく参加４館に限定されていることが感染症対策上の強みである｡前年度から活動を行っている教育普及部会を軸に、平時だけでなく脅威の存在する中でも出来る取組を考えて頂きたい。

修学旅行におけるワークシートによる学習や出前講座の充実を評価する。子どもたちには本物に触れ、専門家の言葉に触れる機会が重要である。

ついては､コロナ禍が収束しても､美術館が修学旅行コースに組み込まれるよう働きかけてはどうか。地域や様々な団体と協働すれば、さらに魅力的な子ども向けのプログラムが生まれ、県内の美術教育や人材育成に繋がるかもしれない。

○万代島美術館

新潟アートリンクについては、コロナ禍においても情報交換や教育普及部会で次年度事業について企画検討が計画的に行われたことを評価したい。

しかし、感染症対策として在宅勤務やリモートワークが推奨されていた環境下、一度ぐらいはオンラインを利用して実施しても良かったのではないか。また、せっかく４館の学芸員が集っているのだから、各館の特徴や学芸員の専門性を反映させ、学芸員のチャレンジの場となることを期待する。

友の会については、近代美術館同様、対面での活動ができなかったことは感染症対策上、仕方のないことだったと考える。

しかし、友の会の会員にも、仕事でリモートを利用している人や、高齢者でもSNSを使っている人もいるだろう。今後はリアルとオンラインの併用も検討して頂きたい。

図書館や近隣店舗との協働は、相手にとっても、店舗の魅力向上や付加価値化に繋がる良い仕組みだと思う。このパターンを利用して、県民が美術館の情報と触れる機会を増やしてもらいたい。

また、教頭会での広報も子どもを通して家族に美術館の情報を発信し、若い親世代の美術館に対する関心が高まるよう継続をして頂きたい。

（2）今年度活動の取組内容の妥当性とその効果について

○近代美術館

コロナ禍のため、予定していた事業がほとんど出来なかったことは、感染症対策や人命優先を思えば当然のことであった。

事業主体としては、「できることならやりたい」と考えることもあっただろうが、弱者への配慮やリスクマネジメントの視点をもって決断をされたことは県立の組織として大変妥当だったと考える。

また、その渦中にあっても、アートリンクにおける教育普及部会の実施など、関係先にネガティブな影響を及ぼすことなく出来ることを考え、実施したことを高く評価したい。この経験を今後の協働事業に生かして頂きたい。

○万代島美術館

長岡市の中心部から離れた立地にある近代美術館とは違い、万代島美術館は新潟市の中心部にあり、近隣に公共施設や商業施設が多い立地にある。

今年度の協働事業は、それらの施設や店舗と積極的にか

かわりを持ち、繋がりを得たことが、立地を生かした取組として大変妥当であった。また、業種業態を問わず、協働の裾野を広げる可能性を表した点でも効果的だったと考える。

今後は、働き方改革の下で利用が進んでいるリモートを取り入れるなど、新たな取組も進めて頂きたい。

（3）自己評価に対する総括

自己評価については、両館とも妥当であると考える。近代美術館においてはコロナ禍のなかで出来ることを前向きに考える姿勢、万代島美術館においては立地を生かし、新たな協働方法に取り組む姿勢を高く評価したい。

コロナ禍で得た経験を次年度以降に大いに生かして頂きたい。

新潟県美術品収集委員会

【委　員】

前川　公秀（DIC川村記念美術館元顧問）
◎松本　　透（長野県立美術館長）
柳原　正樹（京都国立近代美術館長・富山県水墨美術館顧問）
郷　　晃（新潟大学名誉教授）
樋田豊次郎（東京都庭園美術館長）
山梨絵美子（東京文化財研究所 副所長 兼 文化財情報資料部長）
古田　　亮（東京藝術大学大学美術館准教授）

◎は収集委員長

新型コロナウイルス感染症拡大の状況を考慮し、令和２年度の委員会開催は中止とした。

新潟県立美術館友の会

新潟県立美術館友の会は、新潟県立近代美術館開館の翌年、平成６年４月８日に「新潟県立近代美術館友の会」として発足。平成15年、新潟県立万代島美術館の開館にともない二館共通の友の会組織となり、「新潟県立美術館友の会」と改称した。

広く美術を愛する人達を中心として、美術館の活動及び運営に協力するとともに、美術を通じて教養を豊かにし、会員相互の親睦を深め、芸術文化の普及、向上を図ることを目的として活動している。

【会費・会員の種類】

一般会員	一般	2,000円	222人
	学生他	1,000円	9人
ファミリー会員		4,000円	56人
特別会員	個人	30,000円	0人
	法人		20人
		計	307人

＊長岡造形大学学生（例年1,000名程度）については今年度会費免除とした

【会員の特典】

・会員証による近代美術館コレクション展、万代島美術館所蔵品の無料観覧
・近代美術館、万代島美術館の企画展を観覧できるモニター券の配布（モニター券1枚で一回観覧可）
・近代美術館、万代島美術館の企画展の優待観覧（団体料金）
・万代島ビル内の飲食店の割引
・友の会だより、美術館パンフレット等の配布
・近代美術館、万代島美術館の企画展開場式への参加

【役員体制】

会　　長　丸山　結香
副 会 長　上松　和義　　山本　正明
　　宮澤奈緒子
理　　事　八木　浩幸
監　　事　海津　博之　　堀　　岳彦
代 議 員　阿部美恵子　　大平　　剛
　　恩田　里士　　星野　佳人
　　髙橋　信雄　　佐藤　浩一
　　羽賀　　享　　原　　和彦
　　樋口　栄治　　保坂　　太
　　丸山　　智　　舛岡　武雄
　　久島　芳尚　　高石　恒一
　　中川　アイ　　金子かおる
　　金子　明子
名誉顧問　豊口　　協
顧　　問　平山　征夫　　馬場　省吾
相 談 役　徳永　健一

事 務 局　佐藤　夏代

【事業内容】

友の会独自事業および美術館との共催事業
◇６月30日　代議員会（書面決議）
◇９月13日　木版画ワークショップ
　　「多色で摺り体験！」
◇11月３日～30日　作品展（Web開催）
　　作品数：22点
◇友の会だより(速報版)　4回発行
◇Webでの情報発信（メルマガ等）

沿　革

《新潟県立近代美術館》

昭和63年度予算で美術館建設調査費計上
昭和63年12月
　「新潟県美術品収集基金条例」制定
平成元年10月
　新潟県美術館建設基本構想を策定
平成２年３月
　新潟県美術館建設基本計画を策定
平成２年３月
　県立近代美術館建設の設計者選考方式を指名設計競技（コンペ）に決定
平成２年３月
　指名設計競技の参加設計事務所５社を決定
平成２年７月
　県立近代美術館建設指名設計競技審査会開催
　㈱日本設計の作品が入選
平成２年８月
　設計業務の委託を㈱日本設計と契約
平成３年２月
　県立近代美術館建設の実施設計策定
平成３年５月
　県立近代美術館建設工事入札
　大成・吉原・小杉特定共同企業体等が落札
平成３年７月
　県議会で建設工事の契約承認
平成３年７月
　新潟県立近代美術館の建設着工
平成４年12月
　県立近代美術館建設本体工事完了・引き渡し
平成５年３月
　新潟県立近代美術館条例公布
平成５年４月
　新潟県立近代美術館発足
平成５年７月
　開館
平成30年２月
　新潟県立近代美術館改修工事設計業務の委託を㈱日本設計と契約
平成30年６月
　新潟県立近代美術館改修工事の実施設計策定
平成30年９月
　新潟県立近代美術館建設工事入札
　株式会社大石組・大原電業株式会社・株式会社長岡総合設備
　（株式会社長岡総合設備のみ11月契約）
平成30年９月
　新潟県立近代美術館改修工事着工
令和元年９月
　新潟県立近代美術館改修工事一部終了・再開館
令和元年11月
　新潟県立近代美術館改修工事完了・引き渡し

《新潟県立近代美術館万代島美術館》

平成12年８月
　新潟県新美術館基本構想を発表
平成13年２月
　新潟県新美術館基本計画を策定
平成14年４月
　新潟県新美術館開設準備室発足
平成14年８月
　新美術館の名称を一般公募により「新潟県立万代島美術館」と決定
平成15年３月
　朱鷺メッセ万代島ビル竣工
平成15年４月
　新潟県立近代美術館万代島美術館発足
平成15年７月
　開館

令和２年度
新潟県立近代美術館／新潟県立万代島美術館　年報

編集　新潟県立近代美術館／新潟県立万代島美術館

製作　株式会社滝沢印刷
発行　令和４年３月９日㈬

THE NIIGATA PREFECTURAL MUSEUM OF MODERN ART
新潟県立近代美術館
新潟県立万代島美術館
The Niigata **Bandaijima** Art Museum